

日本勤労者山岳連盟 第36回総会

未来のために、
平和と安全登山を目指そう！

2024年2月17（土）～18（日）
会場・ホテルコンチネンタル

決 議 ・ 決 定 集



日 本 勤 労 者 山 岳 連 盟

目 次

表 紙	P 1
目 次	P 2
発刊にあたって	P 3
総会議案 主な目的と主要な課題	P 4
第 36 期下期の活動総括と第 36 期上期の活動方針（1 号議案）	P 5～14
2024 年度の全国的な規模の集会・会議予定	P15
一般会計・特別会計、労山基金会計等の決算報告、安全対策基金活用状況一覧表、監査報告等の資料（2 号議案）	P16～ P34
2024 年度予算編成方針及び各種予算（2 号議案）	P35～P42
連盟費一覧表、都道府県別組織推移表、同組織動向表など	P43～P47
2023 年度加盟・脱退団体一覧	P48～P49
加盟団体一覧表	P50～P60
都道府県別・男女別 平均年齢	P61～P62
荣誉功劳賞 贈呈者一覧	P63～P71
労山基金 2023 年の集計	P72～P75
2023 年度 事故の概況（事故一報より）	P76～P82
趣意書検討委員会報告	P83
日本勤労者山岳連盟 趣意書	P84～P86
日本勤労者山岳連盟 規約	P87～P91
各部局および専門委員会に関する規定	P92～P93
一般財団法人山岳基金 定款	P94～P96
第 36 期 全国連盟 役員	P97～P98
住所・アドレス	P99
裏表紙	P100



第 36 回総会 決議・決定集の発刊にあたって

日本勤労者山岳連盟
理事長 川嶋 高志

前回の総会で全国役員が一新して2年が経った。この間、広報活動の要だった機関誌『登山時報』が月刊から季刊となり、機関紙『JWAF journal』を毎月発刊するようになった。経費節減はできたが、「全会員に情報を届ける」という目標はこれからだ。より分かりやすく正確に全国連盟の活動を知らせ、地方連盟と加盟団体（会・クラブ）の活動に役立てていただけるよう一層工夫していきたい。以下、昨今の社会情勢を鑑みながら、今総会での主だった論点を数項目挙げておこう。

まず、コロナ禍から日常生活が戻りつつある中で能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしている。全国理事会は、被災した会員への救援と被災地の復興支援のために、救援募金を呼び掛けた。わずか一か月で200万円を超える募金が集まったことは、労山会員に助け合いの精神が根付いていることを感じさせる。

次に、少子高齢化が進み、団塊の世代が後期高齢者世代へと移行するなかでも、昨年度は、地方連盟の半数が会員減をくい止めて会員数現状維持から増加となった。そのため山行が活発に行われ、遭難事故は過去最多を更新した。労山基金の役割は益々大きくなっているといえるだろう。基金は自分のためだけではなく、仲間のためにも、さらに広い視点では安全登山を普及するためにも、欠かすことができない。仲間との意思疎通を図ることにより、遭難対策、安全登山に繋げることができる。仲間との交流を通じて豊かで楽しい登山活動が広がっていく。会・クラブという組織の存在意義を問い直し、何をすべきなのか、いま一度原点に戻って考えてみよう。

45年前に作られた日本勤労者山岳連盟趣意書は、勤労者による新しい登山運動、登山の創造的発展を目標に掲げた。その精神は今でも燦然と輝いている。確かに、時代は流れ社会の変容も著しい。だからこそ、私たちは今、自立した「考える」登山をしようではないか。仲間を募り、どんな山登りをしたいのか、話し合おう。日々の山行の傍ら、私たちはどこへ向かっているのか、真摯に考えてみよう。

日本勤労者山岳連盟 第36回総会 議案

第36回総会の主な議題は、次のとおりである

- ・ 1号議案 第35期下期の活動総括と第36期上期（2024年度）の活動方針
- ・ 2号議案 第35期下期の財政活動総括と第36期上期の財政方針、予算案の策定
- ・ 3号議案 全国役員の選出、その他

今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

- （1）広範な登山者の要求実現と登山環境整備のための、組織強化と会員拡大を目指す活動について
- （2）コロナ禍後に、増え続ける遭難事故への対策と安全登山教育の拡充について
- （3）環境保全に取り組み、豊かな山岳自然を守る活動について
- （4）紛争の無い平和な社会を実現し、登山文化を継承・発展させる取り組みについて

<第1号議案>

第35期下期（2023年）の活動総括と第36期上期（2024年）の活動方針

1. 登山をめぐる情勢

1) 登山をめぐる社会情勢

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、感染者は発生し後遺障害も含めてマスクを外して安心できる状況ではない。インフルエンザの予防とともに健康管理にはより一層の注意が必要である。

ロシアによるウクライナへの侵攻が続いている中で、パレスチナでも紛争が激化し一般市民の犠牲が拡大している。地球温暖化による気候変動によって、地球上では大規模な災害の発生、ヒマラヤなどでは氷河が大規模に融解、山岳地域では希少動・植物が生存の危機に瀕している。地球温暖化をストップさせるため、昨年暮れに開かれたCOP28は、「化石燃料からの離脱」を初めて盛り込んだ成果文書を採択した。しかし、日本政府は化石燃料を使い続ける意向である。軍事費支出と温室効果ガス排出量の相関関係が国際的な議論になっていないのは問題であり、議論を進めていく必要がある。

円安の影響でガソリン高や生活必需品の値上げが続き、世帯収入が増えない生活者には厳しい状態が続いている。

2) 国内登山の情勢

山小屋をはじめとする宿泊施設では値上げとともに予約が必要になり、山行を計画する上で、新たな考慮が必要になってきた。国内主要山岳四団体で共同運用を開始した登山届出システム「コンパス」は、全都道府県との提携を目指している。「伊藤新道」の再開通など、新たな登山道整備も始まり登山者はコロナ前に戻ってきている。

しかし、山岳遭難事故は過去最高を更新して増え続け、ネット情報の氾濫と利用方法について課題となってきた。

2. 労山各分野の活動

1) 組織強化・拡大

労山の会員数は2023年11月末の組織数調査で556団体16616名となり、前年に比べ198名の減となった。この減数は2014年からの過去9年間最少の減数である。

2020年から激しいコロナ禍の中で、全国組織担当者会議を開いてきた。「対面集会」を開催することには多くの困難があったが、全国の仲間との直接交流は、悩みや困難を率直に語り、組織拡大に大きく展望を持ち実践している仲間の経験に耳を傾け、熱心に討議する中で、参加者を励まし、連帯を育て、労山の組織を大きくすることの意義を学び、その学んだ多くの経験を、各地方連盟がそれぞれに持ち帰り、各会・クラブと共に組織拡大に取り組み頑張った成果ともいえる。

第35期第1回評議会で組織部議案に、「全国が組織拡大の具体的方針を提言すべき」という発言があったが、その反面「会員拡大は各会の努力が集約されたもの。全国連盟の役割は増えている会の『ひけつ』を広く知らせていくこと。地方連盟・会・クラブが

独自に考えていくもの。全国連盟で請け負っても拡大はできない。」という発言も少なからずあった。会員数の減少が少なかったのは、その観点に沿って活動をおこなってきた地方連盟・会クラブの取り組みによるものといえる。

全体から個々の特徴をとらえると、198名の減数のうち、30名以上の減数が5地方連盟で合計201名。増数と減数無しの地方連盟が24で合計116名。48地方連盟の約半数(44%)の地方連盟が会員を増やしたことになった。

組織強化の取り組みについては、下記のような活動を進めてきた。

①組織担当者会議開催へのとりくみ

6月10日～11日福岡県連盟主管で開催した。参加者40名。レポート数10本。北海道道央、道北、埼玉、東京、千葉、石川、長野、愛知、岐阜、京都、和歌山、大阪、岡山、広島、山口、香川、愛媛、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、レポート参加(岩手、宮城、滋賀)の25地方連盟が参加した。レポート内容もよく活発な討論が交わされ、成功であった。詳細については「組織担当者会議報告集」を参照して頂きたい。

②地方連盟との情報交換を密にし、組織拡大に繋げる取り組み。

地方連盟の情報を収集して組織拡大問題を交換し議論してきた。組織拡大の成果として、一般市民を対象とした地方連盟の「登山学校・教室」の開催があることから、内容の詳細情報を聴き取り、掘む努力をし、情報として発信した。一方衰退していく団体の悩みを捉える努力もした。その中の一つとして、役員・後継者不足の問題は全ての会・クラブの存続にかかわる大きな課題となっている。

③全国連盟主催の集会・講習会等の中で多くの会員から情報収集をする取り組み。

地方連盟との懇談をもつ中で、情報収集や現状把握に努力した。

④直接的に、間接的に、労山の歴史・良さを語り、伝えていく取り組み。

日本勤労者山岳連盟という山岳団体の理念、平和と登山、等、地方連盟の集会等で訴えることが大事で、1地方連盟から「組織についての話をしたい」との講師要請があり、部員を派遣好評であった。

⑤困難な地方連盟を支援していく取り組み。

昨年「山の日」が沖縄開催で行われたので、2014年から9年ぶりにやっと沖縄県連盟との役員懇談を対面で取り組めたのは大きな成果であった。組織部長だけでなく、全国から会長、理事長の参加も得て充実した役員懇談会を持つことが出来た。その後、沖縄県連は20%の会員拡大をした。三重県連は2団体2名増の組織数となった。

⑥規約等の研修

組織担当者会議開催につき、この会議をより充実させるために「規約・規則」「平和と登山」「趣意書について」の学習会を3回にわたって行った。詳細な資料と実践に基づいた労山の歴史と解説・説明を学び、労山の組織部の役割についてよく理解でき有意義な研修会であった。

⑦HPへの取り組み

地方連盟からの申込があり対応してきた。

⑧労山リーフ活用の取り組み

労山リーフは4地方連盟に1000枚。1地方連盟にデータ提供をした。会・クラブへは18会で合計2980枚。総合計4548枚の発送をした。

2) 遭難対策の現状と課題

①国内の山岳遭難概況

2022年の警察庁による山岳遭難者数は3,506人。(前年+431人)発生件数は3,015件。(前年+380件)発生者数・遭難者数共に統計の残る昭和36年以降最多となった。死者・行方不明者は327人(前年+44人)となり増加したが、死亡・行方不明者327人の内26名(前年-2人)が行方不明者で前年より減少した。負傷者1,306人(37.3%)無事救出者1,873人(53.4%)。遭難者のうち60歳以上が1,486人と全体の50.7.3%。死亡・行方不明者では60歳以上が231人と全体の70.6%を占めている。40歳以上の中高年の登山志向は継続し、こうした傾向は過去5年間変わってなく65歳以上の前期高齢者の遭難者数も増加傾向にある。遭難の原因は、道迷いが最多で1,280人(36.5%)で、転倒、滑落、病気、疲労、転落が続いた。2022年は、転倒(602人17.2%)の事例が多く前年より増加した。その他として悪天候98人、野生動物による襲撃も38人いた。

②労山内の山岳遭難概況と対策

2023年は事故件数が361件、事故者数は366名と過去最高を更新した。死亡・行方不明者は7名となった。コロナ後に山行回数が増えたのか、分析を進めていく。

遭難対策部会での行事・集会について、2月「全国雪崩講習会」、7月「全国救助技術交流集会」、9月「若手クライミング講習会」、10月「全国登山学校担当者交流会」は予定通りの開催ができた。「全国雪崩講習会」は16名の参加で開催され、雪崩テキスト改訂版発行の内容確認の為の実技講習やビーコンパークの検証も実施した。「全国救助技術交流集会」は、北海道道央地区の主管で開催され、11地区連盟37名が参加した。道央地区救助隊により、最新の組織レスキュー技術の交流と兵庫・大阪の合同チームによるチームデモが行われた。

「若手クライミング講習会」は、受講生14名、講師・スタッフ11名の総勢25名で開催した。初日は所定の内容を行えたが、2日目は、雨の為マルチピッチの登攀が行われず東屋にて班ごとのに分かれての講習となった。講師間での技術指導に合意が図られず今後の課題となった。「全国登山学校担当者会議」は、23名の参加し、栃木県連の主管で開催された。初日は、ハイキングでのロープ使用について、UIAAの総合登山技術ハンドブックから内容紹介と各地で開催されている登山学校の状況や課題等が持ち寄られ参考になる内容や今後の課題が整理できた。2日目は、栃木県連所属の会で発生した岩場通過の為の岩登り講習会で、起きた滑落事故の検証を事故現場に行き、参加者全員で検証した。岩場通過の為の岩登り講習会の位置づけや安全対策、指導内容等再発防止の課題や提言を参加者で確認できた。

その他の活動として、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が取得した国際山岳連盟認定の上級夏山リーダー検定の講師養成講習会に2名がオブザーバー参加した。また、各県連での講習会・研修会に遭難対策部員や全国理事を講師派遣し遭難対策活動を行った。

3) 自然保護活動

①全国一斉クリーンハイク・清掃登山

第50回全国一斉クリーンハイク・清掃登山の活動は、コロナ禍が第5類に移行して1都2府21県で行われた。＊(別紙参照)全体で323コース、346会、5292名が参加、集めたゴミは可燃ゴミ1159kg、不燃ゴミ1780kg、合計2939kgに達した。

②全国自然保護担当者会議の開催

埼玉県連盟の主管で、2023年6月17～18日埼玉県長瀬の民宿長瀬荘に参加者33名Zoom13名で開催した。「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」を

テーマに記念講演を行った。地方連盟から 17 日 8 件 18 日 6 件の報告があり有意義な講座であった。会議終了後は宝登山ハイキングを行ない、交流を図った。

③古都・京都の山岳自然や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対の立場から取組みとして「北陸新幹線延伸計画の環境を破壊する問題点」を学ぶ自然保護セミナーが京都で 2 回開催され(128 名参加)、全国連盟や近畿ブロックから参加があった。現在環境アセスメントの途中で国の認可はされていない。反対の声を強めていくことが必要で、運輸機構宛署名への協力や京都市民に知らせるパレード等の取り組みに参加してきた。

④ライチョウ保護

労山の会員からライチョウ目撃情報は 17 件あった。そのうち 14 件は環境省「いきものログ」に投稿された。労山の投稿総数は 64 件で「生き物ログ」投稿の 40%に達した。

⑤リニア中央新幹線建設計画反対の立場から自然保護委員が事前調査として、7 月下旬に南アルプスの花とライチョウなどの生態調査を、12 月は荒川岳・千枚岳真下を通過する大井川源流部の流量調査を行った。

4) ハイキング分野の活動

①2021 年以来追求してきた「広域ハイキング委員会の確立」については、直近で静岡県連盟より選出し、ほぼ達成、現在、東京 3 名、埼玉 1 名、栃木 1 名、香川 1 名、岡山 1 名、愛知 1 名、北海道 1 名合計 10 名で構成している。

②2023 年 9 月 30 日～10 月 1 日奈良県連盟主管で「全国ハイキングリーダー学校」を開催、高齢者の体と登山を前面にかかげ、前奈良県立医科大学准教授の豊田ふみよ氏が講義、また福岡県連盟会長の荒木辰彦氏に「労山の歴史と平和と登山」について講義してもらった。受講者は当初の予定を大きく上回る 53 名、全国役員・スタッフを合わせて 68 名の集会となった。この取り組みは「高齢化対策」を前面にかかげたことがハイキング志向会員の要求に合致したのではないかと考えている。二日目の「スマホの登山アプリ活用のハイキング」は雨天で不十分な内容となったが、参加者の交流もできたという一面もあった。

③2022 年 8 月に大幅な改定をした第 5 版の「ハイキング ABC」はその後 4,300 部という大きな売れ行きをみせ、会員やハイキング愛好者に活用されている状況である。

④大型ハイキングクラブ内での「山筋ゴーゴー体操」など普及の活動は、当該クラブ等で多様な取組みを進めているという事もあり、具体的な活動には着手できなかった。

5) メディア局

①ホームページ

JWAF 公式ホームページはページの更新を年間約 60 回行なった。全国連盟ホームページの訪問者数は、2023 年の年間訪問数は約 18 万人と会員数が減少しているにも関わらず増加した。増加の原因は機関紙の JWAF journal の閲覧と季刊誌の登山時報にアクセスする会員が多かったことによる。多い月は 6 月の約 2 万人、大体ひと月 16,000 人前後が平均して訪れている。夏山を目指してアルプスの山小屋の割引やお得な情報を検索してのリサーチだが、最近は山小屋の割引を廃止するケースが増えており、コロナ以降の山小屋の経営環境が変わったためとみられる。

閲覧ページのトップスリーはトップページの新着情報、労山基金、各会・クラブのページがよくみられている結果となっている。

なお、ホームページから投稿された問い合わせメールは、全部で 208 件、労山基金に関するものが 105 件、次が一般的な事柄・事務連絡が 75 件、次いで登山時報、ホームページに関する順となっている。毎年労山基金に関する問い合わせが全部の半分を占めている。

②機関誌・紙編集委員会

登山時報、ろうさんニュース、全国連盟メールニュースを統廃合して、月刊「JWAF journal」と季刊「登山時報」の機関誌・紙へ円滑に移行した。これらの発行に向けた問題を検討するため、会長・理事長・副理事長・事務局長から構成される機関紙誌検討委員会を発足させた。計 3 回の会議を経て全国労山の機関誌・紙のあり方についての提案をだした。この提案を受けて、2023 年は労山三役、各専門部長、各委員長から構成される「機関紙誌編集委員会」を年 4 回開催し、円滑な発行に漕ぎつけた。

○月刊「JWAF journal」の位置づけは、全国連盟からのお知らせや全国連盟が何を行っているかを会員に理解してもらうことを目的として、2023 年 1 月号を皮切りに毎月発行した。月刊機関紙の発行形態は原則として電子媒体による配付を行ない、購読料は無料とした。A4 版 8 頁建てで毎月 25 日に発行し、JWAF 公式ホームページに掲載した。経費を抑えるために印刷は事務所で行い、発送は外部業者へ委託した。

※11 月号：各会・クラブ 1 部配布（566 部）、39 会 1833 部の印刷版

○季刊「登山時報」は、機関誌的位置づけと読み物の二律性を担う誌面を心がけた。発行時期は、春号・夏号・秋号・冬号の年 4 回発行した。発行日はそれぞれ 4 月 25 日、7 月 25 日、10 月 25 日、1 月 25 日とし、A4 版 40 ページの総カラー建てで、各会・クラブへ 1 部を配布した（購読料は連盟費に含む）。JWAF 公式ホームページにアップし、誰でも登山時報をダウンロードできるようにした。

なお、登山時報は電子媒体で閲覧する限り無料だが、紙媒体で購読する方には、購読料として年間 1,200 円（税込み、郵送料込）を徴収することにした。この場合、団体購読制度は採らず、直接購読会員へ送付した。

月刊誌「登山時報」の個人購読数は、季刊に移行して無料で閲覧できることもあって 165 部（秋号）と月刊誌の十分の一の購読数になっている。発行費用は予算の 200 万円以内に収めた。

6) 女性と登山

地方連盟が発行する機関誌や総会報告等で各地の女性部や女性委員会の取組について情報を集めたが、女性と登山についての全国的な取組は行わなかった。

7) 国際活動

カザフスタンで開催された第 1 回アジアトラッドロッククライミングカップに参加したが、滑落事故をおこしてしまい主催者をはじめ関係者に心配と負担をかけた。影響からネパールで開催のアジア山岳連盟総会にも欠席となった。

8) 海外委員会

①海外委員の増員を図った。

担当理事（武笠）→理事2名＋委員2名を5月25日に募り、計5名の委員となった。

②海外委員会を開催して毎月第2火曜日開催、JWAFジャーナルを委員内の輪番制、理事3名内の輪番制で原稿の作成ならびレジュメ作成・司会・議事録作成を取決めた。

委員会開催日：第1回 9月12日、第2回10月10日、第3回11月14日、第4回12月12日、第5回1月9日、第6回2月13日

※全国連盟事務所：武笠理事（埼玉）、オンライン：秋田理事（山梨）、清野理事（青森）、五十畑委員（長野・神奈川）、山中委員（埼玉）

③全国連盟事務局の力を借りてドロップボックス内に海外委員会フォルダを新規作成した。

④委員へのパスワード事務局から発行、委員がドロップボックスへアクセス可能となった。

海外委員会フォルダ内にサブフォルダを作成して海外登山計画書等を格納後、委員が共有できるように見える化をした。

⑤海外登山計画書提出状況を理事会へ報告した。

1月25日に確認し、総計209件、内訳6,000m以上：19件、6,000m未満：14件、トレッキング：106件、クライミング64件、山スキー6件

⑥その他

（1）海外集会名を検討し「海外山行交流集会」にして、開催予定を2024年11月とした。

（2）海外登山計画書一覧エクセル過去ファイル（2013年、2016年から2023年）を収集し、ドロップボックスへ収納した。

（3）海外山行調査用紙について、現在、結果の確認が取れていない状況を鑑み、高峰登山用紙、海外山行調査用紙【6000m未満の登山 クライミング(岩・ボルダー・沢・アイスクライミング) トレッキング(あるいは踏査) その他】を、HPへアップすることを確認した。

9) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

①山筋ゴーゴー体操を全会員へ普及するために講習会・養成講座未開催の地方連盟に要望を聞き講習会・養成講座を実施した。講習会は、島根・佐賀・埼玉で開催し78名、17の会が参加。養成講座は45名、16の会が参加。新サポーターは44名誕生。講習会等の際に労山作成のDVDは労山HPからインストール可能なことを知らせた。

②講習会・養成講座終了後に懇談会を実施し、色々な要望を聞くことができた。

③山筋テキスト改訂についての議論をした。

④山筋Tシャツ、テキストを普及した。

10) 登山界の共同の活動

沖縄で開催された第7回「山の日」記念全国大会に全国連盟から4名が参加し、沖縄県連役員との交流も行った。「山岳安全対策ネットワーク協議会」を国内の主要山岳4団体で設立して、運用が始まった登山届出システム「コンパス」は、未提携の地方自治体と新たな連携協定を結ぶことができた。10月に日本山岳SAR研究機構総会が兵庫県神戸市の神戸登山研修所で4年ぶりに対面で開催され、労山からは4名が出席した。

11) 他団体との共同行動、新日本スポーツ連盟など

新日本スポーツ連盟との役員懇談会（定期協議）は1月・5月と12月に開催し、香川県でスポーツ祭典を開催した。5月6日の原水爆禁止国民平和大行進の東京・夢の島出発式に6名が参加し、翌日は神奈川県連に労山旗を引き継いだ。8月19日の全日本民医連70周年記念式典に役員1名が出席した。

3. 各分野の活動方針

1) 組織強化拡大をめざす取り組み

①「平和と登山」全国集会を開催する。

登山には平和が欠かせない。一昨年の「全登研集会」でも開催要求が出ている。また、この集会の中で核兵器廃絶と核兵器禁止条約への日本政府の署名・批准を求める声明も出している。「平和でなければ登山が出来ない」「平和と登山」を掲げる労山だからこそ、この集会を開催する意義は大きい。

②「登山教室・登山学校の運営」に重点を置いた講座等を開催する。

③「若手労山フェス」を開催する。

若い層の実態把握や組織化は重要である。比較的若い層の発展の足掛かりとしていく。

④直接的に、間接的に労山の歴史・構成・趣意書等、労山の理念を語り、伝えていく。

⑤困難な地方連盟との懇談を持ち、支援する。

⑥HP・リーフレット等の活用を推進していく。

⑦組織強化・拡大活動に必要な組織部の学習・研修を行う。

2) 遭難事故防止の活動と教育活動

①地方連盟の遭難対策活動を支援

気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣を継続して充実させる。

②教育体制の充実

・「全国遭難対策担当者会議」の開催を東京で行い、転倒事故防止等の安全登山教育体制を強化する。

・中央登山学校「雪崩講習会」、「MFA講習会」を充実させ継続開催する。

③健康管理

・年代による心身の特性を知り健康状態の把握、健康づくりの必要性を啓発する。

・登山の運動生理学とトレーニング方法の啓発を行う。

④遭難対策に役立つ各種団体・会議・学会に継続して参加「日本山岳サーチ&レスキュー研究機構」、「全国山岳遭難対策協議会」、「日本雪氷学会」「日本山岳文化学会」「日本イカール委員会」「山岳安全対策ネットワーク協議会」などに参加する。

⑤遭難事故の原因分析

労山内外の山岳遭難事故の情報を収集・分析して、その結果を普及・活用していく。

⑥クライマーの交流によるレベルアップ・安全意識向上支援、若手クライミング講習会の開催を継続し、登山技術についての交流会も検討する。

⑦各都道府県連盟登山学校担当者の交流・情報交換・地方連盟での登山学校運営の課題や安全対策について、現状を把握する。

⑧ココヘリ救助隊の編成組織による研修会を開催し救助活動のより円滑な体制を確認する。各地方での研修会を広げて行きたい。

⑨遭難対策部会の研修会

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップを目的とした研修を開催する。沢登りの死亡事故が続いた現場で事故検証を行い、その後の安全対策等を確認し事故防止に繋げていく。

⑩（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会が取得した国際山岳連盟認定の上級夏山リーダー検定制度について、積極的に情報収集をしていく。

3) 自然保護活動

地球温暖化による気候変動は、山岳地帯の環境・植生などにも大きく影響を及ぼし、特別天然記念物のライチョウをはじめ希少動物の生存をも脅かしている。また、山岳自然を破壊する開発により自然破壊も目立っており、登山団体・登山者が自然破壊の開発行為を調査・告発し反対運動を取り組んでいくことが必要である。そして「登山活動を通して、自然を見る目をやしない、自然の変化をとらえ、山と地球環境保全に寄与」（自然保護憲章）していくことが求められている。

①「第51回全国一斉クリーンハイク・清掃登山」を5月26日及び6月2日に実施する。

②第26回全国自然保護講座を開催する。

③第22回全国自然保護集会を11月16日～17日に開催する。

④南アルプスの自然や環境を破壊する「リニア中央新幹線建設」に反対していく。

⑤古都・京都の山岳や環境を破壊する「北陸新幹線延伸計画」に反対していく。

⑥地方連盟と共同して山岳自然を破壊する大規模風力発電・メガソーラー発電計画に反対署名活動などを協力していく。

⑦ライチョウの保護の立場から登山者からの目撃情報を写真や動画で収集し実態把握につとめる。結果を研究機関や自治体関係機関に提供していく。

⑧「排泄物で山を汚染しない」ことを実践して、携帯トイレを携帯し活用を図るとともに使用紙の持ち帰りを徹底していく。トイレブースや回収ボックス設置について環境省や自治体に要請していく。

⑨山岳団体自然環境連絡会で各会の自然保護活動について情報交換をしていく。

4) ハイキング委員会

①ハイキング委員会の広域化についてはほぼ確立したが、可能であれば九州ブロック、東北ブロックからの選出を期待したい。

②2024年度は「全国ハイキング交流集会」を10月5日（土）～6日（日）静岡県連の主管で開催する。交流集会の内容については「コロナ禍を乗り越えて活動している」経験や「会員拡大で大きく前進している会・クラブ」の経験を前面にした交流集会とする。

③昨年より課題となっている「ハイキングセカンドステップ」の改定作業を進める。改定内容としては「平和と登山」についての加筆、「スマホアプリ活用のハイキング」「気象情報の各種電子機器からの収集」などを追加したものを考えている。又、各項目で当然、登山技術や装備の進展で変化している内容については補筆する。

④他部局との協力・共同の活動

全国遭対部や「山筋ゴーゴー体操推進委員会」との意見交換・協力・共同の活動を進め、高齢化対策や登山前のトレーニング、下山後のケアなど会員から出ている要望に対して応えていく活動にも努力する。

⑤広域委員会は当面、月1回ZOOMで開催する。対面での開催は半年に1回程度として、委員会予算を組む。

5) メディア局

①ホームページ

ホームページはコンテンツの内容はPC画面对応となっているので、「スマホ対応」の画面を新規に作成する。また、トップページの画面を整理し、目的のコンテンツに早く到達できるように階層を浅くしてする。

②機関誌・紙編集委員会

2024年度も引き続き、機関紙「JWAF journal」の毎月発行、季刊誌「登山時報」の季刊発行を円滑に行う。

○誌面の充実に向けては、地方連盟からの意見を取り入れて「全国連盟の行事・イベント」「地方連盟の行事・イベント」とバランスよく構成していく。さらに「魅力あり、興味のわく機関紙雑誌づくり」として、企画特集は山岳中の事故事例（山岳中における事故補償）、労山基金の優位性、花特集、岩山特集、紅葉などの読者の関心が高いアルパイン層向けの記事とバランスをとった内容を組んでいく。

○機関紙誌のデジタル化での無償配布も軌道にのったことから、次は登山時報の個人購読数の増加に取り組む。

○機関紙雑誌編集委員会の構成として現在の陣容に加え、地方連盟のメンバーを若干名追加して誌面の充実を図る。同じくホームページ委員会の確立を図り運営していく。

○発行費用について予算内での執行に努める。

6) 女性と登山

女性会員を対象に「女性と登山」「女性委員会」についてのアンケートを行い、その結果をふまえて今後の活動を検討する。

7) 国際部

7月に東京で開催予定のアジア山岳連盟創立30周年記念総会に参加し、運営に協力する。8月下旬にカザフスタンで国際交流トレッキングを行う。

8) 海外委員会

①海外委員会を開催して毎月第2火曜日開催、JWAFジャーナルを委員内の輪番制、理事3名内の輪番制で原稿の作成ならびレジュメ作成・司会・議事録作成していく。

②ドロップボックス内海外委員会のサブフォルダ入力を委員全員が出来るようにする。

2024年度海外登山計画書一覧（内訳：6,000m以上、6,000m未満、トレッキング、クライミング、山スキー）を委員全員で分担し、入力作成できるようにする。

- ③海外山行交流集会を11月の開催目標に向けて準備し、成功させる。
- ④委員会で選別して海外山行調査用紙を海外登山計画書提出者へメールで送付し、山行結果を確認できるようにして報告集を検討する。
- ⑤海外山行計画書提出状況を理事会へ総計件数ならび内訳件数を毎月、理事会へ報告する。

9) 山筋ゴーゴー体操推進委員会

- ①山筋ゴーゴー体操の全会員普及に取り組んでいく

地方連盟の要望に基づき、登山制作のDVDを活用しながら地方連盟と協力して講習会等を開催していく。

- ②山筋ゴーゴー体操テキストの改訂に取り組む。
- ③山筋ゴーゴー体操Tシャツの普及をしていく。

10) 自然災害等への支援活動について

「登山会員被災者支援委員会」の設置と災害支援規定、基金設立を引き続き検討する。

11) 他団体との共同行動について

山岳四団体で共同運用する「登山届システム」(山岳安全対策ネットワーク協議会)の運営に積極的に参加する。新日本スポーツ連盟、共済の今日と未来を考える懇話会、全国山の日協議会の活動には継続して協力する。2024年国民平和大行進に参加し、核兵器廃絶と核兵器禁止条約への日本国政府の署名・批准を求める。

2024 年度の全国的な規模の集会・会議予定

第 36 期上期（2024 年度）

機関会議・集会

第 36 回総会	2 月 17 日～18 日（東京・ホテルコンチネンタル）
全国遭難対策担当者会議	7 月 6 日～7 日（東京・全国連盟事務所）

行事・集会

第 38 回全国雪崩講習会	2 月 2 日～4 日（長野県・梅池高原）
平和と登山全国集会	6 月 29 日～30 日（東京・飯田橋）
若手登山フェス	9 月 7 日～8 日（八ヶ岳周辺）
若手クライミング講習会	10 月 5 日～6 日（長野県・小川山）
全国ハイキング交流集会	10 月 5 日～6 日（静岡県）
全国海外山行交流集会	11 月 9 日～10 日（東京・全国連盟事務所）
全国自然保護集会	11 月 16 日～17 日

国際会議・集会・行事

アジア山岳連盟（UAAA）創立 30 周年	7 月 24 日～26 日（新潟県）予定
アジア山岳連盟（UAAA）年次総会	7 月 27 日（新潟県）予定
カザフスタン国際交流トレッキング	8 月 23 日～31 日（カザフスタン・三大国立公園）

友好山岳団体との共同の集会・会議など

全国山岳遭難対策協議会	7 月 日（東京・文部科学省）
第 8 回「山の日」記念全国大会	8 月 10 日～11 日（東京都八王子市）

2023 年度決算の概要

財政部

<一般会計>

(収入)

- ・連盟費収入 全額納入された。
- ・事務所分担金では、1 階会議室貸出料がやや予算を上回った。
- ・カレンダー収支では、カレンダー売り上げが減少し、かかった費用をわずかに回収できない見込みである。次年度は、作成部数など、再考の必要がある。
- ・テキスト類では、「ハイキング A・B・C」「ハイキング セカンド・ステップ」「山筋ゴーゴー体操」のいずれもが、予算見積もりを大きく上回って、好調な売り上げである。ただし、「A・B・C」と「セカンド・ステップ」は、作成費用が先に計上され、在庫の資産計上は行っていない。このため、単年度だけの収支では、必ずしも実態を反映できていない。「山筋ゴーゴー体操」は、注文の都度、事務所で自前印刷するが、その印刷費は特に把握していないこともあって、年間 10 万円を超える収益をえた形となっている。
- ・「書籍・その他」では、国際山岳連盟（UIAA）発行のテキスト「登山技術ハンドブック」の売上額が大きい（仕入れ費用は、以前の年度に計上されている）。

(支出)

- ・部局／委員会活動費では、組織部と地方強化会議費が大きく予算オーバーした。組織部では 2023 年 6 月に福岡市で全国組織担当者会議を開催し、成功させた。その関係費用の増加等が原因で、理事会でも承認されている。地方強化会議費は、コロナ禍が終息し、各理事が活発に地方に出向いた結果である。
- ・事務局関係費では、費目によって多少の増減はあるが、費目全体としては、予算内での執行だった。また、旧「登山時報」終了をうけて、2023 年度から J W A F journal と、季刊「登山時報」の 2 つの発行を開始したが、ほぼ予算どおりで発行できた。
- ・事務所関係費で、固定資産税の納入を財団法人「山岳基金」に移行し、その分を当該在団に寄付する形としたが、労山事務所の土地評価額が上昇したことにより、税額が増加している。
- ・職員関係費では、正規職員 1 名が健康上の理由により年度途中で退職したため、当初予算からの差異が生じた。その分、アルバイトや定額給与職員、派遣職員などでカバーに努めている。
- ・退職給与引当預金支出が半額になっているのは、正規職員が 1 名減少したことによる。

(一般会計全体として)

会員数減少による連盟費収入減少が続いているが、2023 年度も、安定した事業と予算の執行を行うことができた。単年度収支では、職員関係費が減少したことが大きく、ほぼ収入と支出を均衡させることができた。しかし、職員減は事務局に大きな負担をかけており、連盟の事務処理体制を強化するための適切な人員強化はかっているところである。

<特別会計（安全対策基金）>

全体として、予算の枠内での執行を行った。

収入面では、「ココヘリ」からの会費の一部の割り戻しが、年間で約 87 万円の収入と、大きな貢献をしている。

支出面では、「登山技術講習会」のうち、山筋講習会・サポーター養成講習会で大きく予算オーバーした。今後は、担当委員会に、予算の枠組みを意識した講習会実施をお願いしたい。

「測定器他維持管理費」の予算オーバーは、兵庫県・百丈やぐらの測定器補修費で、全国理事会で承認済である。

新しく設けた「登山道整備補助金」（1 件につき上限 5 万円）では、宮城、福島、埼玉、京都、兵庫、愛媛の 6 県が活用した。

この結果、前期からの繰越金 859 万円をかなり消化し、次期への繰越金は約 442 万円と、半減した。

<機関誌会計（旧・登山時報）>

発行を停止した旧「登山時報」（月刊）に代わって、2023 年度からは、毎月発行の「JWAF journal」と、年 4 回発行の季刊「登山時報」を作成しており、季刊「登山時報」は一部有料購読者がいるが、これらはすべて、一般会計に計上されている。

したがって、会計科目の「機関誌会計」は 2023 年度で閉鎖する予定であった。しかし、担当事務局員が健康上の理由で急遽退職したことなどから、2023 年度中に旧「登山時報」の購読料収入を会計整理しきれなかった。このため、もう一年、この会計項目を存続し、整理をはかることとする。なお、計上されている赤字額は、以前に購読料として納入されている預り金で、解消される見込みである。

2023年度 一般会計決算書

2023年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	連盟費収入	27,970,200	27,970,200	0	100%	562団体、16814名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,560,000	2,594,000	△ 34,000	101%	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	労山基金より 100,000円×12ヶ月
	労山基金事務消費費	600,000	600,000	0	100%	労山基金より 50,000円×12ヶ月
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	100%	都連盟より 55,000円×12ヶ月
	会議室分担金	100,000	134,000	△ 34,000	134%	労山団体1回3,000円
4	カレンダー・テキスト収入	2,480,000	3,364,956	△ 884,956	136%	
	カレンダー連盟	1,800,000	1,726,930	73,070	96%	一部700+送料等
	カレンダー一般	70,000	47,540	22,460	68%	一部1,000+送料等
	ハイキングABC	300,000	716,236	△ 416,236	239%	一部300円、第5版発行
	セカンドステップ	130,000	188,750	△ 58,750	145%	一部400円
	山筋ゴーゴー体操	80,000	114,630	△ 34,630	143%	一部200円
	バッジ・腕章	0	22,200	△ 22,200	-	バッジ・腕章・旗
	書籍・その他	100,000	326,370	△ 226,370	326%	各種・労山発行の書籍・その他
	登山時報	0	222,300	△ 222,300	-	
5	雑収入	0	57,994	△ 57,994		
6	財政安定引当金取崩収入	621,000	621,000	0		
当期収入合計(A)		35,831,200	36,808,150	△ 976,950	103%	
前期繰越収支差額		6,504,244	6,504,244	0		
収入合計(B)		42,335,444	43,312,394	△ 976,950		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	会議費	2,340,000	2,753,145	△ 413,145	118%	
	総会	0	0	0	0%	
	評議会	2,300,000	2,736,413	△ 436,413	0%	
	理事会	40,000	16,732	23,268	42%	拡大理事会2回
2	部局・委員会活動費	1,850,000	1,999,934	△ 149,934	108%	
	ハイキング委員会	200,000	189,809	10,191	95%	委員交通費、通信費
	海外委員会	0	0	0	-	
	遭難対策部	30,000	0	30,000	0%	
	青年学生委員会	0	0	0	-	
	女性委員会	100,000	52,000	48,000	52%	日本婦人団体連合会会費
	自然保護委員会	100,000	5,528	94,472	6%	委員交通費、自然保護憲章発送費用
	メディア局	0	0	0	0%	
	組織部	300,000	376,881	△ 76,881	126%	労山リーフ発行、地方連盟用HP費用、部員学習会
	地方強化会議	200,000	371,381	△ 171,381	186%	地方連盟総会、会議参加交通費と宿泊費
	国際関係	800,000	874,802	△ 74,802	109%	UAAA年会費
	山筋ゴーゴー体操推進	120,000	129,533	△ 9,533	108%	委員交通費、通信費、会議費、合宿費用
3	渉外費・分担金	500,000	363,320	136,680	73%	新日本スポーツ連盟賛助金30万円、その他

Ⅱ 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
4	全国集会関係費	0	0	0	0%	
	ハイキング交流集会	0	0	0	0%	
	登山者自然保護集会	0	0	0	0%	
5	機関担当者会議	1,600,000	1,391,019	208,981	0%	
	組織担当者会議	800,000	929,458	△ 129,458	0%	
	自然保護担当者会議	800,000	461,561	338,439	0%	
6	機関誌関係費	160,000	160,000	0	100%	機関誌会計へ
7	事務局関係費	10,050,000	9,145,558	904,442	91%	
	水道光熱費	600,000	461,390	138,610	77%	水道代・電気代
	事務機リース料	2,600,000	2,424,729	175,271	93%	コピー印刷複合機×2台、パソコン、電話、LED一式、サーバー関連
	事務消耗費	400,000	400,345	△ 345	100%	コピー紙・印刷用紙・インク・トナー・文具等
	事務印刷費	600,000	639,514	△ 39,514	107%	封筒・複合機カウンター料金
	通信費	350,000	242,820	107,180	69%	郵送料、振込手数料
	電話料	250,000	208,768	41,232	84%	固定電話×1、FAX
	資料費	200,000	156,574	43,426	78%	新聞・書籍・資料購入・NHK受信料
	ホームページ・PC関係費	1,000,000	1,004,689	△ 4,689	100%	プロバイダー費、ホームページ費、WEB会議関連
	顧問料	600,000	594,000	6,000	99%	税理士顧問料、社会保険事務所包括受託報酬料
	雑費	150,000	163,289	△ 13,289	109%	ごみ処理券、電柱広告
	ニュース関係費	1,200,000	1,206,770	△ 6,770	101%	JWAFJournal印刷・送料
	会員証製作費	100,000	76,638	23,362	-	作成・発送
	季刊 機関誌 関係費	2,000,000	1,566,032	433,968	-	季刊・登山時報
8	事務所関係費	3,487,270	3,670,460	△ 183,190	105%	
	固定資産税額分寄付	850,000	1,037,200	△ 187,200	122%	一般財団法人山岳基金へ、土地・建物分
	建物保険料・警備費	420,000	415,990	4,010	99%	セコム警備費・火災保険料
	減価償却費引当金支出	2,217,270	2,217,270	0	100%	2023年度分減価償却相当額を労山基金会計へ
9	役員行動費	2,300,000	2,162,309	137,691	94%	会長・副会長・理事交通費・宿泊費
10	職員関係費	15,360,000	11,909,413	3,450,587	78%	
	職員給与	13,000,000	9,284,601	3,715,399	71%	職員2名(うち1名が年度途中退職)
	法定福利費	2,000,000	2,017,741	△ 17,741	101%	社会保険事業主負担、労働保険料
	福利厚生費	360,000	141,541	218,459	39%	通勤定期、健康診断
	臨時スタッフ	0	465,530	△ 465,530	-	派遣スタッフ
11	カレンダー・テキスト費	1,940,000	2,319,858	△ 379,858	120%	
	カレンダー	1,800,000	1,827,204	△ 27,204	102%	制作費、送料 3,100部
	ハイキングABC	30,000	419,877	△ 389,877	1400%	送料
	セカンドステップ	30,000	14,994	15,006	50%	送料
	山筋ゴーゴー体操	20,000	11,088	8,912	55%	送料
	バッジ・腕章	10,000	0	10,000	0%	腕章2種・各100枚作成
	その他書籍購入費	50,000	46,695	3,305	93%	登山詳細図等仕入れ、その他書籍発行料
12	特定預金支出	700,000	350,000	350,000	50%	
	退職金引当積立金支出	700,000	350,000	350,000	50%	
	財政安定積立金支出	0	0	0	-	
13	予備費	500,000	290,642	209,358	58%	
14	その他の支出	0	0	0	-	
当期支出合計(C)		40,787,270	36,515,658	4,271,612	90%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,956,070	292,492	△ 5,248,562		
次期繰越収支差額(B)-(C)		1,548,174	6,796,736	△ 5,248,562		

《 一 般 会 計 》

貸借対照表

2023年12月31日現在 (単位:円)

科目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	6,201,035		
現金	1,406,883		
普通預金	3,798,167		
郵便振替	995,985		
未収連盟費	218,160		
未収金	119,200		
前払金	875,914		
仮払金	1,099,930		
流動資産合計		8,514,239	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	535,390		
みずほ退職積立金	10,829,000		
三菱UFJ財政安定積立金	9,000,000		
その他の固定資産合計	20,364,390		
固定資産合計		20,364,390	
資産合計			28,878,629
【負債の部】			
流動負債			
未払金	22,125		
職員預り金	560,651		
預り金	1,134,727		
仮受金	0		
流動負債合計		1,717,503	
固定負債			
退職給与引当金	10,829,000		
財政安定引当金	9,000,000		
固定負債合計		19,829,000	
負債合計			21,546,503
【正味財産の部】			
正味財産			7,332,126
(うち当期正味財産増加額)			(240,400)
負債及び正味財産合計			28,878,629

正味財産増減計算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで (単位:円)

科目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	292,492		
退職給与引当預金増加額	700,000	992,492	
負債減少額			
増加額合計			992,492
【減少の部】			
資産減少額			
什器備品減価償却額	52,092	52,092	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	700,000	700,000	
減少額合計			752,092
当期正味財産増加額			240,400
前期繰越正味財産額			7,091,726
期末正味財産合計額			7,332,126

財産目録

2023年12月31日現在 (単位:円)

科目	金 額			備考
【資産の部】				
流動資産				
現金預金	6,201,035			
現金	1,406,883			
普通預金	3,798,167			
三菱東京UFJ銀行	3,626,371			飯田橋支店
ゆうちょ銀行	27,143			牛込支店
みずほ銀行	144,653			飯田橋支店
ゆうちょ銀行振替口座	995,985			牛込支店
〒連盟	20,499			連盟費
〒行分会計	238,910			
〒事務局	736,576			書籍・カレンダー
未収連盟費	218,160			香川県連
未収金	119,200			カレンダー等
前払金	875,914			
総会費用	11,814			賞状代
KDDIサーバー費用	58,080			2024年度分
事務所サーバー入替	779,240			
セコム火災保険料	26,780			
仮払金	1,099,930			
自然保護委員会	28,930			2022年度未精算
特別会計	300,000			
リクルートスタッフィング	294,000			人材派遣依頼預け金
短期掛け捨てプラン	477,000			概算保険料
流動資産合計		8,514,239		
固定資産				
その他の固定資産				
什器備品	535,390			
みずほ退職積立金	10,829,000			
東京三菱UFJ財政安定積立金	9,000,000			
その他の固定資産合計	20,364,390			
固定資産合計		20,364,390		
資産合計			28,878,629	
【負債の部】				
流動負債				
未払金	22,125			役員行動費
職員預り金	560,651			社会保険料
預り金	1,134,727			
連盟費	3,040			三重県連
Amazon登録	1			
義援金	966,742			
その他	2,411			
アルバイト源泉税	34,883			
短期掛けプラン保険料	127,650			
仮受金	-			
流動負債合計		1,717,503		
固定負債				
退職給与引当金	10,829,000			
財政安定引当金	9,000,000			
固定負債合計		19,829,000		
負債合計			21,546,503	
正味財産			7,332,126	

2023年度 特別会計決算書

2023年1月1日～12月31日

《安全対策基金》

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	労山基金振替収入	9,000,000	9,000,000	0	100%	基金払込金の20%ただし1,500万円を限度とする。(定款第4章11条の3)
2	雑収入	-	82	△ 82	-	預金利息
3	ココヘリ繰入金	850,000	871,926	△ 21,926	103%	ココヘリより繰入
当期収入合計(A)		9,850,000	9,872,008	△ 22,008	100%	
前期繰越収支差額		8,590,734	8,590,734	0		
収入合計(B)		18,440,734	18,462,742	△ 22,008		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	全国雪崩講習会	1,600,000	1,236,639	363,361	77%	
2	技術教育関係費	3,000,000	2,500,086	499,914	83%	
	登山技術講習会	800,000	1,485,388	△ 685,388	186%	山筋講座・講習会、若手クライミング講習
	役員・講師派遣費用	1,000,000	581,382	418,618	58%	地方連盟への役員・講師派遣交通費補助他
	MFA講習費	100,000	95,115	4,885	95%	
	ハイキング学校	300,000	172,996	127,004	58%	9月奈良県で開催
	学習資料作成費	500,000	0	500,000	0%	
	全国登山学校担当者交流会	300,000	165,205	134,795	55%	11月栃木県で開催
3	救助隊関係費	900,000	1,017,551	△ 117,551	113%	
	全国救助技術交流集会	800,000	799,751	249	-	
	全国救助技術研修会	0	0	0	0%	
	測定器他維持管理費	100,000	217,800	△ 117,800	218%	
4	遭難対策関係費	1,600,000	778,429	821,571	49%	
	全国山岳遭難対策協議会	20,000	0	20,000	0%	
	S&R研究機構	300,000	264,010	35,990	88%	事故調査分担金、研究支援金
	各学会参加費	80,000	5,000	75,000	6%	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	200,000	90,546	109,454	45%	
	器材購入費	100,000	0	100,000	-	
	岩場ゲレンデ環境整備費	300,000	200,000	100,000	67%	2か所
	ココヘリ補助金労山捜索隊	300,000	10,533	289,467	4%	
	登山道整備助成金	300,000	208,340	91,660	69%	6か所
5	地方協議会補助費	2,870,000	2,400,000	470,000	84%	
	ブロック雪崩講習会補助	1,650,000	1,200,000	450,000	73%	※1
	ブロック安全対策講習会補助	1,220,000	1,200,000	20,000	98%	※2
6	地方連盟登山学校・講習会補助	5,210,000	4,295,882	914,118	82%	※3
7	事務費	2,000,000	1,813,290	186,710	91%	遭難対策活動費・振込手数料その他
8	予備費	500,000	0	500,000	0%	ココヘリ登山時報掲載料
	雑費	100,000	0	100,000	0%	
当期支出合計(C)		17,780,000	14,041,877	3,738,123	79%	
当期収支差額(A)-(C)		△ 7,930,000	△ 4,169,869	△ 3,760,131		
次期繰越収支差額(B)-(C)		660,734	4,420,865	△ 3,760,131		

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック救助隊交流会補助:10万円×10ブロック

※3 20万円×5地方連盟(1,000人以上)+15万円×6地方連盟(600人以上～1,000人未満)
+12万円×5地方連盟(300人～600人未満)+10万円×18地方連盟(100人～300人未満)+8万円×15地方連盟(100人未満)

《 安全対策基金 》

貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書は
印刷版の決議・決定集を参照ください。

2023年(第35期下期) 機関誌会計決算書

2023年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	購読料	0	7,378	△ 7,378	-	
	団体購読	0	0	0	-	
	個人購読	0	7,378	△ 7,378	-	
2	編集助成金	160,000	160,000	0	100%	一般会計より精算費用
3	雑収入	0	8	△ 8		受取利息
当期収入合計(A)		160,000	167,386	△ 7,386	105%	
前期繰越収支差額		△ 120,468	△ 120,468	0		
収入合計(B)		39,532	46,918	△ 7,386		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	発送関係費	0	23,910	△ 23,910	-	月刊登山時報送料
2	雑費	39,532	25,346	14,186	64%	購読料返金振込手数料
当期支出合計(C)		39,532	49,256	△ 9,724	125%	
当期収支差額(A)-(C)		120,468	118,130	2,338		
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	△ 2,338	2,338		

《 機関誌会計 》

貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書は
印刷版の決議・決定集を参照ください。

労山基金運営委員会 第 35 期下期の総括

1. 加入者と運用の概況

労山基金個人の今期加入者数は 15,742 名（前年度比 53 名減）で、11 月末の会員数に対する加入比率は 93.1%（前年 93.6%）だった。労山基金の寄付金は、個人が 60,238,200 円（前年度比約 198 万円減）、団体は 864,000 円（前年度比 27,000 円増）の入金で、寄付金合計が 61,102,200 円（前年度 195 万円の減）となった。

交付件数は今年度 261 件 263 名（前年度比 20 件 19 名増）で、交付金額は 30,260,840 円（前年度比約 42 万円の減）、寄付金の総額に対する交付金の率は 49.5%の交付率となった。22 年度と比べると約 42 万円減少した。新型コロナウイルス禍の影響により慎重な登山活動が続いていた 1 昨年度と比べ登山活動が活発になり事故が増えた昨年度とあまり変わらない。今期の収入合計は寄付金、受取利息、減価償却引当金、その他を含め 65,451,833 円となり、交付金支払いや事務経費の支出合計は 62,474,902 円となった、差し引き 2,976,931 円を安全対策引当勘定に繰り入れた。

2. 交付内容の内訳と前年度比

死亡・行方不明者の推移は、2019 年度 4 名、20 年度 5 名、21 年度 5 名、22 年度 4 年連続して一桁台前半にとどまっていたが 22 年度は 7 名となり一桁台後半となった。2023 年度の死亡交付者数は 6 名で、死亡交付金 640 万円（前年度は 883 万円）だった。交付金額が昨年度と比べ死亡者の加入口数が少なかったためと思われる。

救助・搜索の交付金額は 5,292,830 円（前年度 1,356,165 円で前年度比 390%）と激増した。これは新型コロナの影響が弱まり海外登山増えたことが要因と思われる。救援者費用は 1 件交付額は 15,107 円。入通院の交付は 259 名（前年度比 21 名の増）で、交付金額は 22,220,400 円（前年度約 130 万円の減少。これは新型コロナの影響による慎重な登山活動から活発な活動に変化して来たためとおもわれる、。これまでの全加入者数に対する登山中の事故交付率の平均は 1.2%程度だったが、16 年度以降毎年上昇し 19 年度は 1.4%にピークを迎えたが、20 年度 1.15%、21 年度 1.24%、22 年度は 1.57%、更に 23 年度は 1.70%となり、つづけて 19 年度を上回った。

3 活動の概要

（1）交付申請の審議

事故一報、交付申請の遅れが数件あり厳正に審議した。遅れるに正当な理由があり、会が今後同じ間違いを起こさない為の対応策を会内に周知徹底することを条件に受理した。また、3 倍交付特典申請においては、コースを特定するために多大な労力を要した。昭文社の地図に該当がないものは公的な資料を要求して審査した。

（2）基金実務担当者会議の開催

2023 年 6 月 28 日全国向けオンラインで基金の担当者説明を行ない、188 名が参加した。

2023 年 11 月 8 日全国向けオンライン説明会を行ない、133 名が参加した。

（3）基金運営委員会学習会

2023 年 12 月 8 日基金運営委員会の学習会を全国連盟事務所で日帰りで行なった。

2023年(第35期上期) 労山山岳事故対策基金会計決算書

2023年1月1日～12月31日

I 収入の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	差異	比率	備考
1	個人寄付金	58,839,000	60,238,200	△ 1,399,200	102%	
	継続	55,029,000	55,344,000	△ 315,000	101%	
	新規	3,010,000	3,731,800	△ 721,800	124%	
	増し口(追加)	430,000	499,000	△ 69,000	116%	
	移籍	370,000	663,400	△ 293,400	179%	
2	団体寄付金	783,000	864,000	△ 81,000	110%	
3	受取利息	900,000	865,355	34,645	96%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	2,217,270	2,217,270	0	100%	一般会計より建物減価償却分繰入
5	その他収入	0	1,267,008	△ 1,267,008	-	
	有価証券運用益	0	737,008	△ 737,008	-	売買差額
	第一種基金	0	530,000	△ 530,000	-	連絡不通・返金不能分
6	安全対策引当金繰出収入	0	0	0	-	
当期収入合計		62,739,270	65,451,833	△ 2,712,563	104%	
前期繰越収支差額		0	0	0	-	
収入合計			65,451,833	△ 2,712,563		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	差異	比率	備考
1	交付金	31,031,000	30,289,675	741,325	98%	
	交付金	31,000,000	30,260,840	739,160	98%	
	交付雑費	31,000	28,835	2,165	93%	交付金の払込手数料
2	行事主催者賠償責任保険	0	128,350	△ 128,350	-	
3	安全対策基金支出	9,000,000	9,000,000	0	100%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,552,370	1,538,530	13,840	99%	地方連盟基金加入者数×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	10,049,348	10,454,257	△ 404,909	104%	
	職員関係費	6,849,348	6,829,981	19,367	100%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	臨時職員	3,200,000	3,624,276	△ 424,276	113%	パート職員
8	事務経費	3,060,440	3,020,030	40,410	99%	
	入力作業委託費	0	0	0	-	
	パソコン器材・事務用品費	400,000	442,612	△ 42,612	111%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト保守、OA機器他
	通信費	600,000	628,354	△ 28,354	105%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	250,000	141,169	108,831	56%	基金実務担当者講習会、保険業法PT、行事主催者賠償責任保険
	印刷・宣伝費	320,000	347,228	△ 27,228	109%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	パソコンメンテナンス契約 @22,000円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,000円/月×12ヶ月+決算処理101,000円
	弁護士顧問料	736,440	736,440	0	100%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	50,000	20,227	29,773	40%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	2,217,270	2,217,270	0	100%	事務所減価償却額を定期預金へ
10	財団法人設立費用	1,826,790	1,826,790	0	100%	財団法人山岳基金へ不動産所有権移転登記費用
12	安全対策引当金繰入支出	2,052	2,976,931	△ 2,974,879	145075%	
当期支出合計		62,739,270	65,451,833	△ 2,712,563		
当期収支差額		0	0	0		
次期繰越収支差額			0	0		

第一種基金

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	差異	比率	備考
1	第一種払込金	0	0	0		
当期収入合計		0	0	0		
前期繰越収支差額		530,000	530,000			第一種基金2023年期首残高

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	差異	比率	備考
1	第一種払込金解除	0	530,000	△ 530,000		
当期支出合計		0	530,000	△ 530,000		返金不能分を労山基金その他収入へ繰り入れ
当期収支差額		0	△ 530,000			
次期繰越収支差額		530,000	0			

《 労山山岳事故対策基金会計 》

貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書は
印刷版の決議・決定集を参照ください。

2023年 一般財団法人山岳基金決算書

2023年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	受取寄付金	0	1,037,200	△ 1,037,200	-	労山からの寄付金(固定資産税相当額)
2	その他の収入	0	1,000	△ 1,000	-	国税還付金
当期収入合計(A)		0	1,038,200	△ 1,038,200	-	
前期繰越収支差額		0	0	0	-	
収入合計(B)		0	1,038,200	△ 1,038,200		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年予算	2023年決算	予算残	執行率	備考
1	固定資産税	0	1,037,200	△ 1,037,200	-	土地・建物
2	その他の税金	0	1,939,100	△ 1,939,100	-	不動産取得税、東京都税
	不動産取得税	0	1,875,100	△ 1,875,100	-	土地・建物
	東京都税	0	64,000	△ 64,000	-	
3	事務費	0	880	△ 880	-	振込手数料
当期支出合計(C)		0	2,977,180	△ 2,977,180		
当期収支差額(A)-(C)		0	△ 1,938,980	1,938,980		
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	△ 1,938,980	1,938,980		

《 一般財団法人山岳基金 》

貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書は
印刷版の決議・決定集を参照ください。

日本勤労者山岳連盟貸借対照表総括表

2023年12月31日現在

(単位:円)

科目	合計	一般会計	安全対策基金会計	機関誌会計	労山基金会計
【資産の部】					
流動資産					
現金	2,237,360	1,406,883	31,564	555,804	243,109
普通預金	35,163,709	3,798,167	275,713	0	31,089,829
郵便振替	16,032,848	995,985	4,413,588	3,600	10,619,675
未収連盟費	218,160	218,160	0	0	0
未収金	215,270	119,200	0	96,070	0
前払金	875,914	875,914	0	0	0
立替金	1,939,200	0			1,939,200
仮払金	41,099,930	1,099,930	0	0	40,000,000
安全対策現預金	△ 41,952,613	0	0	0	△ 41,952,613
流動資産合計	55,829,778	8,514,239	4,720,865	655,474	41,939,200
固定資産					
基本財産					
減価償却引当定期預金	36,584,955	0	0	0	36,584,955
基本財産引当定期預金	13,856,735	0	0	0	13,856,735
有価証券	148,000,000	0	0	0	148,000,000
基本財産合計	198,441,690	0	0	0	198,441,690
その他の固定資産					
什器備品	535,395	535,390	4	0	1
構築物	103,626	0	0	0	103,626
安全対策引当有価証券	88,578,537	0	0	0	88,578,537
安全対策引当定期預金	12,217,270	0	0	0	12,217,270
安全対策引当普通預金	66,499,998	0	0	0	66,499,998
退職積立金	10,829,000	10,829,000	0	0	0
財政安定積立	9,000,000	9,000,000	0	0	0
その他の固定資産合計	187,763,826	20,364,390	4	0	167,399,432
固定資産合計	386,205,516	20,364,390	4	0	365,841,122
資産合計	442,035,294	28,878,629	4,720,869	655,474	407,780,322
【負債の部】					
流動負債					
未払金	22,125	22,125	0	0	0
前受金	657,812	0	0	657,812	0
職員預り金	560,651	560,651	0	0	0
預り金	1,134,727	1,134,727	0	0	0
借受金	300,000	0	300,000	0	0
流動負債合計	2,675,315	1,717,503	300,000	657,812	0
固定負債					
安全対策引当金	167,295,805	0	0	0	167,295,805
退職給与引当金	10,829,000	10,829,000	0	0	0
財政安定引当金	9,000,000	9,000,000	0	0	0
固定負債合計	187,124,805	19,829,000	0	0	167,295,805
負債合計	189,800,120	21,546,503	300,000	657,812	167,295,805
【正味財産の部】					
正味財産	252,235,174	7,332,126	4,420,869	△ 2,338	240,484,517
負債及び正味財産合計	442,035,294	28,878,629	4,720,869	655,474	407,780,322

固定資産台帳 兼 減価償却額明細書

2023年12月1日から12月31日まで

《一般会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	人工壁	旧定率	2006.7	1,447,000	25	587,482	52,092	535,390	911,610
	建物 合計			1,447,000		587,482	52,092	535,390	911,610
合計				1,447,000		587,482	52,092	535,390	911,610

《特別会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	ウインチ一式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
2	ウインチ一式	旧定額	2002.5	588,735	10	1	0	1	588,734
3	AED ハートスタートFR2 M3861A	旧定率	2006.7	399,000	5	1	0	1	398,999
4	プロジェクター EMP-1715	旧定率	2007.2	241,500	5	1	0	1	241,499
	什器備品合計			1,817,970		4	0	4	1,817,966
合計				1,817,970		4	0	4	1,817,966

《労山山岳事故対策基金会計》

NO	品 名	償法	購入年月日	取得価額	耐年	期首帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
1	新事務所 外構工事	旧定額	2006.7	1,507,150	15	120,776	17,150	103,626	1,403,524
	構築物 計			1,507,150		120,776	17,150	103,626	1,403,524
1	セコム設置費用	旧定率	2006.07	2,106,800	6	1	0	1	2,106,799
	器具及び備品 計			2,106,800		1	0	1	2,106,799
合計				3,613,950		120,777	17,150	103,627	3,510,323

特別会計/地方協議会補助・地方連盟登山学校補助 2023年

ブロック	適 用		地方協議会安全対策講習会	地方登山学校・講習会補助				
	地方協議会雪崩講習会			会員数	予算	送金日	補助金額	実施内容
	北海道30万円他15万円		10～20万円					
北海道	道 央	10/31 ¥300,000 第29回 北海道雪崩講習会	11/30 ¥100,000 道央地区連盟救助隊 2023年度春季訓練・冬季訓練	726	150,000	10/3	150,000	第52回北海道登山研究集会 開催
	道 北			27	80,000	10/3	80,000	第52回北海道登山研究集会 開催
	道 東			84	80,000	10/3	80,000	第52回北海道登山研究集会 開催
奥羽	青森県	8/17 ¥100,000 岩手県連盟雪崩講習会2022	8/17 ¥50,000 岩手県連盟安	163	100,000	10/31	100,000	第20回登山教室
	岩手県	全対策講習会	10/31 ¥50,000 青森県連盟	244	100,000			
	秋田県	雪崩講習会	10/31 ¥50,000 青森県連盟救助隊交流会	0	80,000			
東北	山形県	2/20 〒150,000 東北雪崩講習会2023	6/30 ¥100,000 沢救助搬出技術研修会、クライミングレスキュー技術研修会、クライミング技術、雪山搬出技術研修会	33	80,000			
	宮城県			136	100,000	5/31	100,000	初めての人のためのクライミング教室、沢教室、冬山登山学校
	福島県			91	80,000	5/31	80,000	クライミング講習会、残雪歩行教室
関東	群馬県	12/26 ¥150,000 第31回関東雪崩講習会	10/6 ¥100,000 関東ブロック救助技術交流会	323	120,000	5/1	120,000	ロープワーク、地図読、雪山等の講習会
	栃木県			370	120,000	11/30	120,000	山岳講演会、ハイキングセミナー
	茨城県			130	100,000	10/6	100,000	安全登山講習会、ハイキングレスキュー講習会
	埼玉県			589	120,000	12/26	120,000	第26期登山学校、各専門委員会講習会
	東京都			2,366	200,000	1/27	200,000	2023年度「ハイキングリーダー」「クライミングリード」「外岩講習」
	千葉県			628	150,000	12/26	150,000	初級クライミング講習会、登山講習会、事故防止経験交流集会
	神奈川県			509	120,000	11/30	120,000	教育部・救助隊主催各種技術・安全講習会
	山梨県			80	80,000	7/4	80,000	ステップアップ登山講座
北信越	新潟県	11/30 ¥150,000 第26回 北陸雪崩講習会		228	100,000			
	富山県			113	100,000	6/30	100,000	労山登山セミナー2023
	石川県			263	100,000	10/31	100,000	2023年度 ステップアップ講習会
	福井県			70	80,000	8/17	80,000	登山基礎講習会
	長野県			253	100,000	8/17	100,000	救急法・沢登り・コンパニオンレスキュー講習会
東海	静岡県	10/31 ¥250,000 第22回東海ブロック雪崩講習会		375	120,000	5/31	120,000	登山技術学習会、安全登山講習会
	愛知県			870	150,000	10/31	150,000	第55期登山学校、雪山安全講習会
	岐阜県			294	100,000	10/31	100,000	無雪期搬出訓練、岩登り講習会、雪山歩行技術講習会、積雪期搬出訓練
	三重県			2	80,000			
近畿	滋賀県	12/26 ¥150,000 第29回近畿ブロック雪崩事故を防ぐための講習会	12/26 ¥180,000 第42回搬出技術講習会	166	100,000	5/1	100,000	初級登山教室
	京都府			914	150,000	10/6	150,000	冬山勉強会、搬出訓練、初級登山学校
	奈良県			222	100,000	6/30	100,000	テーピング講習会、広域搜索訓練、ハイカーのための搬出講習会、山筋講習会
	和歌山県			335	120,000	6/30 12/26	120,000	事故防止安全対策講習会 2023夏
	大阪府			973	150,000	12/26	150,000	ハイキングセミナー、初級・中級登山学校、初級冬山、女性、山の教室他
	兵庫県			1,991	200,000	12/26	200,000	山での応急手当、女性のための山登り講座
中国	鳥取県	12/26 ¥150,000 第32回中国ブロック雪崩事故を防ぐための講習会	12/26 ¥120,000 中国地方協議会救助隊交流会	4	80,000			
	島根県			156	100,000	11/30	84,000	安全登山講習会
	岡山県			851	150,000	11/30	150,000	2023年度安全登山講習
	広島県			261	100,000			
	山口県			81	80,000	11/30	80,000	安全登山ハイキング講座
四国	香川県	10/6 〒250,000 四国山岳遭難対策講習会		261	100,000	5/31 2/10	100,000	初級登山講座、Enjoy登山学校、市民ハイキング講座、ファーストエイド技術他
	徳島県			213	100,000		200,000	県民登山教室、まさかのときの対処法研修、岩登り教室
	高知県			97	80,000			
	愛媛県			30	80,000	12/26	70,000	安全登山講習会他
九州	福岡県			730	150,000	10/6	150,000	2023年度登山学校
	佐賀県			70	80,000	1/26	80,000	「雪山訓練」「遭難救助訓練」「地図読み」「ケガ対処」「山筋」「セルフレスキュー」
	長崎県			240	100,000	12/26	100,000	山筋ゴーゴー体操学習会、岩場歩行訓練、雪山講習会
	熊本県			62	80,000	12/26	31,882	イキイキ健康ウォーク講習会
	大分県			51	80,000			
	宮崎県			41	80,000			
	鹿児島県			78	80,000	10/31	80,000	安全登山教室、安全登山技術講習会
	沖縄県			20	80,000			
	総合計	1,500,000	900,000				4,295,882	※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック ※2 ブロック安全対策講習会補助:18万円×2ブロック(4000～5000人未満)+12万円×3ブロック(1000～2000人)、10万円×5ブロック(1000人未満)
	予算額	1,650,000	1,220,000		5,210,000			※3 20万円×2地方連盟(1000人以上)+15万円×7地方連盟(600人以上～1000人未満)+12万円×6地方連盟(300人～600人未満)+10万円×16地方連盟(100人～300人未満)+8万円×18地方連盟(100人未満)
	%							

斜体は2024年の振込。

会計監査報告書

2023 年度（自 2023 年 1 月 1 日 至 2023 年 12 月 31 日）日本勤労者山岳連盟の監査を、
2024 年 2 月 2 日に当該全国連盟事務所内において行った結果、下記決算についてすべて公
正妥当であり、適正に処理がなされていることを認めます。

記

- 1 一般会計
- 2 特別会計
- 3 機関誌会計
- 4 労山基金会計

2024 年 2 月 2 日

日本勤労者山岳連盟

監事

田村 廣史



渡辺 三男



義援金会計報告

－2023 年度分－

2024 年 2 月 17 日

労山全国連盟事務局

2023 年度の義援金についての会計を報告します。

2023 年度の義援金会計については、入出金のいずれもありませんでした。

したがって、前年からの残額 96 万 6742 円がそのまま次期に繰り越されます。

2024 年度予算編成方針

財政部

<一般会計>

2024 年度も、全国の会員数が 16,616 名と、前年より 198 名減り加盟団体数も 6 団体減少した。会員数では年間連盟費は約 33 万円の減収が見込まれる。

一方で、コロナ終息をうけて労山各分野の活動も活発に展開されている。それを財政面から支えられる予算組みを心がけた。

また、財政面から発行継続が困難となって休刊した旧「登山時報」に代わって、昨年から新たにスタートした 2 つのニュース、JWAF journal と季刊「登山時報」は、順調な刊行を続けている。2024 年度も、こうした労山活動を支える予算組みを心がけた。

各項目については、前年実績および活動計画に基づき、算定した。また、資産管理のために発足させた財団法人「山岳基金」との関係も、適切に整理していきたい。

<安全対策基金>

労山基金会計からの繰入額は、各分野の活動を保障するため、基金会計からの繰入額を昨年度の 900 万円から 1100 万円に 200 万円、引き上げた。しかし、2023 年度の第 2 種個人寄付金は年間約 6000 万円であり、その前年は 6600 万円であった。このペースで寄付金が減少すると、2024 年度には 5400 万円となる。この場合には、安全対策基金への繰入額は 1080 万円となり、1100 万円を下回る。1100 万円の繰入は上限いっぱいと考ええる。また、「ココヘリ」から労山への割り戻し収入も、87 万円が見込まれる。

支出面では、2024 年度に予定している事業を考慮して計上したが、赤字予算は認められないので、いくつかの項目で減額を見込んだ。こうした措置をおこなっても、ほぼギリギリの予算組みとなった。

<機関誌会計>

この会計は、休刊とした旧「登山時報」を処理するための会計であり、本来は昨年度（2023 年度）で全部、清算を終えて閉鎖する予定であった。しかし、全国連盟職員の急な退職などがあって整理が追い付かず、もう 1 年かけて清算処理することにした。すでに購読料収入は「預り金」として計上されており、新たな財政補填は不要である。また、新しい 2 つのニュース（JWAF journal と季刊「登山時報」）は、一般会計に計上している。

2024年度 一般会計予算書

2024年1月1日～12月31日
(単位:円)

I 収入の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	増減	備考
1	連盟費収入	27,970,200	27,638,760	△ 331,440	556団体16,616名
2	労山基金事務受託費	2,200,000	2,200,000	0	
3	事務所分担金・コピー機使用料	2,594,000	2,580,000	△ 14,000	
	労山基金事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	
	労山基金事務消耗費	600,000	600,000	0	
	東京都連盟事務所分担金	660,000	660,000	0	
	会議室分担金	134,000	120,000	△ 14,000	
4	カレンダー・テキスト収入	3,364,956	2,840,000	△ 524,956	
	カレンダー連盟	1,726,930	1,730,000	3,070	
	カレンダー一般	47,540	40,000	△ 7,540	
	ハイキングABC	716,236	300,000	△ 416,236	
	セカンドステップ	188,750	300,000	111,250	
	山筋ゴーゴー体操	114,630	120,000	5,370	
	バッジ・腕章	22,200	0	△ 22,200	
	書籍・その他	326,370	150,000	△ 176,370	
	登山時報	222,300	200,000	△ 22,300	季刊「登山時報」購読料
5	特定預金取崩収入	621,000	0	△ 621,000	
	退職給与引当金取崩収入	621,000	0	△ 621,000	
	財政安定積立金取崩収入		0	0	
6	雑収入	57,994	0	△ 57,994	
当期収入合計(A)		36,808,150	35,258,760	△ 1,549,390	
前期繰越収支差額		6,504,244	6,796,736	292,492	
収入合計(B)		43,312,394	42,055,496	△ 1,256,898	

II 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	増減	備考
1	会議費	2,753,145	3,020,000	266,855	
	総会	0	3,000,000	3,000,000	2023評議会を参考
	評議会	2,736,413	0	△ 2,736,413	
	理事会	16,732	20,000	3,268	
2	部局・委員会活動費	1,999,934	1,670,000	△ 329,934	
	ハイキング委員会	189,809	200,000	10,191	
	海外委員会	0	70,000	70,000	
	遭難対策部	0	20,000	20,000	
	青年学生委員会	0	0	0	
	女性委員会	52,000	0	△ 52,000	
	自然保護委員会	5,528	230,000	224,472	
	組織部	376,881	350,000	△ 26,881	前年実績を考慮
	山筋ゴーゴー体操推進委員会	129,533	100,000	△ 29,533	
	メディア局	0	0	0	
	地方強化会議	371,381	400,000	28,619	
	国際関係	874,802	300,000	△ 574,802	アジア山岳連盟年会費、総会、創立30周年関係費用
3	渉外費・分担金	363,320	400,000	36,680	

Ⅱ 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	増減	備考
4	全国集会関係費	0	2,150,000	2,150,000	
	ハイキング交流集会	0	350,000	350,000	
	登山者自然保護集会	0	400,000	400,000	11月
	海外山行交流集会	0	300,000	300,000	
	平和と登山全国集会	0	400,000	400,000	6月
	比較的若い層の交流集会	0	400,000	400,000	
	カザフスタン・トレッキング関係費	－	300,000	300,000	
5	機関担当者会議	1,391,019	0	△ 1,391,019	
	組織担当者会議	929,458	0	△ 929,458	開催予定なし
	自然保護担当者会議	461,561	0	△ 461,561	開催予定なし
6	メディア関係費	2,932,802	4,200,000	1,267,198	
	JWAF journal	1,206,770	1,200,000		
	季刊・登山時報	1,566,032	2,000,000		
	ホームページ	0	1,000,000		HPリニューアル
	機関誌関係費	160,000	0		
7	事務局関係費	6,372,756	6,540,000	167,244	
	水道光熱費	461,390	500,000	38,610	
	事務機リース料	2,424,729	2,450,000	25,271	
	事務消耗費	400,345	400,000	△ 345	
	事務印刷費	639,514	650,000	10,486	
	通信費	242,820	250,000	7,180	
	電話料	208,768	220,000	11,232	
	資料費	156,574	170,000	13,426	
	ネットワーク・PC関係費	1,004,689	1,000,000	△ 4,689	HPデータ更新を含む
	顧問料	594,000	600,000	6,000	
	雑費	163,289	200,000	36,711	
	会員証製作費	76,638	100,000	23,362	
8	事務所関係費	3,670,460	2,637,270	△ 1,033,190	
	固定資産税	1,037,200	0	△ 1,037,200	財団法人山岳基金から支出
	建物保険料・警備費	415,990	420,000	4,010	
	減価償却積立金支出	2,217,270	2,217,270	0	建物分の積立を継続
9	役員行動費	2,162,309	2,300,000	137,691	決算額を考慮し余裕を持たせる
10	職員関係費	11,909,413	14,760,000	2,850,587	
	職員給与	9,284,601	12,350,000	3,065,399	職員2名分
	法定福利費	2,017,741	2,130,000	112,259	
	福利厚生費	141,541	280,000	138,459	
	臨時スタッフ	465,530	0	△ 465,530	派遣スタッフ
11	カレンダー・テキスト費	2,319,858	2,360,000	40,142	
	カレンダー	1,827,204	1,730,000	△ 97,204	
	ハイキングABC	419,877	30,000	△ 389,877	送料
	セカンドステップ	14,994	400,000	385,006	第5版作成、送料
	山筋ゴーゴー体操	11,088	100,000	88,912	新版作成費、送料
	バッジ・腕章	0	0	0	
	その他書籍購入費	46,695	100,000	53,305	書籍等購入費
12	特定預金支出	350,000	700,000	350,000	
	退職金引当積立金支出	350,000	700,000	350,000	2名分
	財政安定積立金支出	0	0	0	
13	予備費	290,642	500,000	209,358	
当期支出合計(C)		36,515,658	41,237,270	4,721,612	
当期収支差額(A)-(C)		292,492	△ 5,978,510	△ 6,271,002	
次期繰越収支差額(B)-(C)		6,796,736	818,226	△ 5,978,510	

安全対策基金2024年度予算書

2024年1月～12月
(単位:円)

《安全対策基金会計》

I 収入の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	増減	備考
1	労山基金振替収入	9,000,000	11,000,000	2,000,000	第2種基金寄付金の20%以内
2	雑収入	82	0	△ 82	
3	ココヘリ繰入金	871,926	870,000	△ 1,926	
当期収入合計(A)		9,872,008	11,870,000	1,997,992	
前期繰越収支差額		8,590,734	4,420,865	△ 4,169,869	
収入合計(B)		18,462,742	16,290,865	△ 2,171,877	

II 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	増減	備考
1	全国雪崩講習会	1,236,639	1,300,000	63,361	前年支出額を参照
2	全登研(中央セミナー)関係費	0	0	0	
3	技術教育関係費	2,667,552	2,200,000	△ 467,552	
	全国ハイキング学校	170,996	0	△ 170,996	開催予定なし
	若手クライミング講習会	407,850	500,000	92,150	
	山筋講習会	1,247,004	500,000	△ 747,004	
	役員・講師派遣費用	581,382	800,000	218,618	地方連盟への役員講師派遣交通費補助等
	MFA講習費	95,115	100,000	4,885	インストラクター養成講座
	学習資料調査・作成費	0	300,000	300,000	雪崩テキスト改訂、事故防止マニュアル他
	全国登山学校担当者交流会	165,205	0	△ 165,205	開催予定なし
5	救助隊関係費	1,017,551	100,000	△ 917,551	
	全国救助技術交流集会	799,751	0	△ 799,751	開催予定なし
	全国救助技術研修会	0	0	0	開催予定なし
	測定器他維持管理費	217,800	100,000	△ 117,800	
6	遭難対策関係費	764,533	2,620,000	1,855,467	
	遭難対策担当者会議	0	800,000	800,000	
	全国山岳遭難対策協議会	0	20,000	20,000	
	S&R研究機構	264,010	300,000	35,990	事故調査分担金、総会・会議参加交通費
	各学会参加費	5,000	50,000	45,000	日本雪氷学会、日本山岳救助委員会他
	部員研修・資料費	90,546	500,000	409,454	登攀事故／沢登り事故の現場検証他
	機材購入費	0	200,000	200,000	最新クライミング機器、消耗品購入他
	岩場ゲレンデ環境整備費	200,000	300,000	100,000	3カ所を予定
	登山道整備補助金	194,444	300,000	105,556	3カ所を予定
	ココヘリ補助金労山搜索隊	10,533	150,000	139,467	会議・研修費
7	地方協議会補助費	2,400,000	2,870,000	470,000	
	ブロック雪崩講習会補助	1,200,000	1,650,000	450,000	
	ブロック安全対策講習会補助	1,200,000	1,220,000	20,000	
8	地方連盟登山学校・講習会補助	4,295,882	5,130,000	834,118	
9	事務費	1,812,938	2,000,000	187,062	
10	雑支出・予備費	0	70,865	70,865	
当期支出合計(C)		14,195,095	16,290,865	2,095,770	
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,323,087	△ 4,420,865	△ 97,778	
次期繰越収支差額(B)-(C)		4,267,647	0	△ 4,267,647	

※1 ブロック雪崩講習会補助は北海道30万円・他15万円×9ブロック

※2 ブロック安全対策講習会補助:18万円×2ブロック(4000人以上)、12万円×3ブロック(1000人～2000人未満)
10万円×5ブロック(1000人未満)

※3 20万円×2地方連盟(1000人以上)+15万円×7地方連盟(600人以上～1000人未満)

+12万円×6地方連盟(300人～600人未満)+10万円×16地方連盟(100人～300人未満)+8万円×17地方連盟(100人未満)

2024年 機関誌会計予算書

2024年1月～12月
(単位:円)

I 収入の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	備考
1	購読料収入	7,378		
2	編集助成金	160,000	0	
3	雑収入	8	2,338	納入済み購読料を整理
当期収入合計(A)		167,386	2,338	
前期繰越収支差額		△ 120,468	△ 2,338	
収入合計(B)		46,918	0	

II 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	備考
1	発送関係費	23,910	0	
2	雑費	25,346	0	
当期支出合計(C)		49,256	0	
当期収支差額(A)-(C)		△ 2,338	0	
次期繰越収支差額(B)-(C)		△ 2,338	0	

労山基金運営委員会 第36期上期の方針

1. 基金加入者の要望や利益を考えて、引き続き制度の改善に取り組む。
2. ブロック協議会の単位から地方連盟単位を基本にして、会・クラブ基金担当者の実務説明会を開催する。また、大型ハイキングクラブからの要請があった場合もこれに応じて労山基金の仕組みについて学習する。開催方法はZoomを用いたオンライン会議若しくはリアル方式で実施する。
また、全国的な開催単位として、会・クラブ基金担当者へのオンライン実務説明会を開催する。
3. ココヘリと共同した労山基金の加入を促進していく。また、労山基金の優位性を訴求していくために、他山岳保険と労山基金との比較表を作成し会員にその旨の周知宣伝を行なっていく。
4. 行事主催者賠償責任保険は引き続き現行制度を維持していく。個人賠償責任保険を必要とする会員にはココヘリへの加入促進、または自身の生命保険や自動車保険に付属する保険で対応するように訴えていく。
なお、行事主催者短期掛け捨て保険については、事務手続きの簡素化にむけて継続検討する。
5. 一般財団法人山岳基金へ運営資金として9,000万円を拠出する。
6. 共済を考える懇話会などの共同活動を進める。また、山岳共済や民間保険などの情報について広く収集し、労山基金の優位性につなげていく。

2024年 労山基金会計予算書

2024年1月1日～12月31日

I 収入の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	差異	比率	備考
1	個人寄付金	60,238,200	57,995,200	△ 2,243,000	96%	
	継続	55,344,000	54,216,000	△ 1,128,000	98%	2023年末、登録口数より算出
	新規	3,731,800	3,148,700	△ 583,100	84%	
	増し口(追加)	499,000	293,000	△ 206,000	59%	
	移籍	663,400	337,500	△ 325,900	51%	
2	団体寄付金	864,000	830,000	△ 34,000	96%	
3	受取利息	865,355	800,000	△ 65,355	92%	有価証券受取利息・運用益・普通預金・定期預金
4	減価償却引当金収入	2,217,270	0	△ 2,217,270	0%	
5	その他収入	1,267,602	0	△ 1,267,602	-	
6	安全対策引当金繰出収入	0	90,760,000	90,760,000	-	
	財団法人山岳基金拠出金	0	90,000,000	90,000,000	-	一般財団法人山岳基金への拠出(寄付)
	労山基金運営費用	0	760,000	760,000	-	
当期収入合計		65,452,427	150,385,200	84,932,773	230%	
前期繰越収支差額		0	0	0		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	差異	比率	備考
1	交付金	30,289,675	30,330,000	40,325	100%	
	交付金	30,260,840	30,300,000	39,160	100%	
	交付雑費	28,835	30,000	1,165	104%	交付金の払込手数料
2	行事主催者賠償責任保険	128,350	130,000	1,650	101%	
3	安全対策基金支出	9,000,000	11,000,000	2,000,000	122%	特別会計安全対策基金へ
4	地方団体事務推進費	1,538,530	1,552,370	13,840	101%	地方連盟基金加入者数15,580名×100円+払込手数料
5	事務委託費	2,200,000	2,200,000	0	100%	一般会計へ
6	事務所維持費	1,800,000	1,800,000	0	100%	
	事務所分担金	1,200,000	1,200,000	0	100%	事務所分担金@10万円×12ヶ月
	事務機器分担金	600,000	600,000	0	100%	コピーリース代@5万円×12ヶ月
7	職員関係費	10,454,257	9,600,000	△ 854,257	92%	
	職員関係費	6,829,981	5,300,000	△ 1,529,981	78%	給与費・法定福利費・福利厚生費・退職金積立支出
	パート職員	3,624,276	4,300,000	675,724	119%	給与費・法定福利費・福利厚生費
8	事務経費	3,020,030	3,772,440	752,410	125%	
	事務入力委託費	0	750,000		-	
	パソコン器材・事務用品費	442,612	450,000	7,388	102%	労山システム追加・修正、公益法人会計ソフト
	通信費	628,354	607,000	△ 21,354	97%	郵便振替払込手数料、フリーダイヤル、発送費
	委員会活動費	141,169	150,000	8,831	106%	基金実務担当者講習会・地方連盟説明会交通費、保険業法PT
	印刷・宣伝費	347,228	350,000	2,772	101%	規定、パンフレット、封筒、HP作成
	コンピュータ保守管理費	264,000	264,000	0	100%	労山システムメンテナンス契約@21,600円/月
	税理士顧問料	440,000	440,000	0	100%	27,500円/月×12ヶ月+決算処理110,000円
	弁護士顧問料	736,440	736,440	0	100%	55,685円+消費税×12ヶ月
	雑費	20,227	25,000	4,773	124%	振り込み手数料他
9	減価償却引当預金支出	2,217,270	0	△ 2,217,270	0%	事務所減価償却額を定期預金へ
10	財団法人設立費	1,826,790	0	△ 1,826,790	-	一般財団法人山岳基金の設立経費
11	財団法人拠出金	0	90,000,000	90,000,000	-	一般財団法人山岳基金への拠出(寄付)
12	安全対策引当金繰入支出	0	0	0	-	
当期支出合計		62,474,902	150,384,810	87,909,908		
当期収支差額		2,977,525	390			
次期繰越収支差額		0	0			

2024年 一般財団法人山岳基金予算書

2024年1月1日～12月31日

I 収入の部

(単位:円)

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	差異	比率	備考
1	受取寄付金	1,037,200	90,000,000	△ 88,962,800	8677%	労山からの寄付金(固定資産税相当額)
2	受取利息	0	0	0	-	
3	その他の収入	1,000	0	1,000	0%	
当期収入合計(A)		1,038,200	90,000,000	△ 88,961,800	-	
前期繰越収支差額		0	△ 1,938,980	1,938,980	-	
収入合計(B)		1,038,200	88,061,020	△ 87,022,820		

II 支出の部

科目	補助科目	2023年決算	2024年予算	予算残	執行率	備考
1	固定資産税	1,037,200	950,000	87,200	92%	土地・建物
2	減価償却積立	0	398,720	△ 398,720	-	建物2年分
2	投資有価証券	30,000,000	0	30,000,000	0%	
3	その他の税金	1,939,100	64,000	1,875,100	3%	不動産取得税、東京都税
	不動産取得税	1,875,100	0	1,875,100	0%	土地・建物
	東京都税	64,000	64,000	0	100%	
4	事務費	880	5,000	△ 4,120	568%	振込手数料等
当期支出合計(C)		2,977,180	1,417,720	1,958,180		
当期収支差額(A)-(C)		△ 1,938,980	86,643,300	△ 88,981,000		
次期繰越収支差額(B)-(C)		△ 1,938,980	86,643,300	△ 88,981,000		

第36期上期(2024年)連盟費一覽表

連盟費	団体数	加入人数	2024年度・連盟費		合 計	1期 納期 3/31	2期 納期 6/30	3期 納期 9/30	4期 納期11/30
			一律分担金	比例分担金					
道 央	19	707	68,400	1,102,920	1,171,320	292,830	292,830	292,830	292,830
道 北	2	32	7,200	49,920	57,120	14,280	14,280	14,280	14,280
道 東	3	83	10,800	129,480	140,280	35,070	35,070	35,070	35,070
青森県	5	170	18,000	265,200	283,200	70,800	70,800	70,800	70,800
岩手県	8	242	28,800	377,520	406,320	101,580	101,580	101,580	101,580
秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	2	31	7,200	48,360	55,560	13,890	13,890	13,890	13,890
宮城県	5	135	18,000	210,600	228,600	57,150	57,150	57,150	57,150
福島県	6	83	21,600	129,480	151,080	37,770	37,770	37,770	37,770
群馬県	12	324	43,200	505,440	548,640	137,160	137,160	137,160	137,160
栃木県	11	338	39,600	527,280	566,880	141,720	141,720	141,720	141,720
茨城県	8	124	28,800	193,440	222,240	55,560	55,560	55,560	55,560
埼玉県	32	590	115,200	920,400	1,035,600	258,900	258,900	258,900	258,900
東京都	104	2,351	374,400	3,505,440	3,879,840	969,960	969,960	969,960	969,960
千葉県	15	637	54,000	993,720	1,047,720	261,930	261,930	261,930	261,930
神奈川県	20	508	72,000	792,480	864,480	216,120	216,120	216,120	216,120
山梨県	2	80	7,200	124,800	132,000	33,000	33,000	33,000	33,000
新潟県	9	230	32,400	358,800	391,200	97,800	97,800	97,800	97,800
富山県	4	102	14,400	159,120	173,520	43,380	43,380	43,380	43,380
石川県	6	267	21,600	416,520	438,120	109,530	109,530	109,530	109,530
福井県	5	75	18,000	117,000	135,000	33,750	33,750	33,750	33,750
長野県	11	259	39,600	404,040	443,640	110,910	110,910	110,910	110,910
静岡県	13	341	46,800	531,960	578,760	144,690	144,690	144,690	144,690
愛知県	21	861	75,600	1,343,160	1,418,760	354,690	354,690	354,690	354,690
岐阜県	7	287	25,200	447,720	472,920	118,230	118,230	118,230	118,230
三重県	3	4	10,800	6,240	17,040	4,260	4,260	4,260	4,260
滋賀県	6	177	21,600	276,120	297,720	74,430	74,430	74,430	74,430
京都府	20	922	72,000	1,438,320	1,510,320	377,580	377,580	377,580	377,580
奈良県	6	223	21,600	347,880	369,480	92,370	92,370	92,370	92,370
和歌山県	11	322	39,600	502,320	541,920	135,480	135,480	135,480	135,480
大阪府	45	935	162,000	1,458,600	1,620,600	405,150	405,150	405,150	405,150
兵庫県	40	2,014	144,000	3,020,160	3,164,160	791,040	791,040	791,040	791,040
鳥取県	1	4	3,600	6,240	9,840	2,460	2,460	2,460	2,460
島根県	4	156	14,400	243,360	257,760	64,440	64,440	64,440	64,440
岡山県	9	854	32,400	1,332,240	1,364,640	341,160	341,160	341,160	341,160
広島県	10	212	36,000	330,720	366,720	91,680	91,680	91,680	91,680
山口県	2	87	7,200	135,720	142,920	35,730	35,730	35,730	35,730
香川県	8	265	28,800	413,400	442,200	110,550	110,550	110,550	110,550
徳島県	7	224	25,200	349,440	374,640	93,660	93,660	93,660	93,660
高知県	3	94	10,800	146,640	157,440	39,360	39,360	39,360	39,360
愛媛県	3	32	10,800	49,920	60,720	15,180	15,180	15,180	15,180
福岡県	27	682	97,200	1,063,920	1,161,120	290,280	290,280	290,280	290,280
佐賀県	2	67	7,200	104,520	111,720	27,930	27,930	27,930	27,930
長崎県	8	235	28,800	366,600	395,400	98,850	98,850	98,850	98,850
熊本県	4	61	14,400	95,160	109,560	27,390	27,390	27,390	27,390
大分県	2	52	7,200	81,120	88,320	22,080	22,080	22,080	22,080
宮崎県	2	39	7,200	60,840	68,040	17,010	17,010	17,010	17,010
鹿児島県	2	74	7,200	115,440	122,640	30,660	30,660	30,660	30,660
沖縄県	1	24	3,600	37,440	41,040	10,260	10,260	10,260	10,260
合 計	556	16,616	2,001,600	25,637,160	27,638,760	6,909,690	6,909,690	6,909,690	6,909,690

都道府県連盟別組織推移表（2023年11月末日数）

年度 都道府県	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
										団体	会員数
全体	20,636	19,985	19,528	19,029	18,802	18,238	17,550	17,106	16,814	556	16,616
北海道	813	806	807	822	821	829	806	825	837	24	822
青森県	192	187	165	181	175	160	150	162	163	5	170
岩手県	307	300	290	285	280	265	257	252	244	8	242
秋田県	5	5	5	5	5	2	2	2	0	0	0
山形県	17	17	17	45	35	35	34	31	33	2	31
宮城県	163	113	122	122	122	116	131	135	136	5	135
福島県	122	133	131	130	133	106	113	100	91	6	83
群馬県	419	406	403	394	408	387	364	336	323	12	324
栃木県	485	471	474	470	457	440	391	372	370	11	338
茨城県	221	206	190	179	176	166	149	140	130	8	124
埼玉県	678	661	647	632	621	608	615	620	589	32	590
東京都	2,906	2,761	2,700	2,613	2,588	2,547	2,466	2,393	2,366	104	2,351
千葉県	774	768	756	754	696	694	663	657	628	15	637
神奈川県	670	656	654	635	623	521	507	520	509	20	508
山梨県	84	74	72	69	70	68	82	75	80	2	80
新潟県	280	269	267	277	284	275	254	249	228	9	230
富山県	146	136	128	135	138	123	121	124	113	4	102
石川県	302	295	261	270	275	275	259	255	263	6	267
福井県	50	58	62	76	69	72	68	68	70	5	75
長野県	425	407	373	358	339	313	288	255	253	11	259
静岡県	683	640	570	566	515	445	422	378	375	13	341
愛知県	1,145	1,175	1,128	1,019	996	976	913	893	870	21	861
岐阜県	308	295	294	298	295	288	278	284	294	7	287
三重県	10	10	10	2	2	2	2	2	2	3	4
滋賀県	252	230	220	216	209	207	171	164	166	6	177
京都府	940	966	1,002	1,019	1,000	954	938	927	914	20	922
奈良県	290	283	275	233	233	224	238	225	222	6	223
和歌山県	420	409	395	366	347	352	350	347	335	11	322
大阪府	1,434	1,411	1,348	1,275	1,252	1,215	1,140	1,059	973	45	935
兵庫県	2,209	2,118	2,124	2,043	2,067	2,025	1,967	1,923	1,991	40	2,014
鳥取県	33	33	28	24	34	32	32	4	4	1	4
島根県	211	211	213	208	203	196	199	189	156	4	156
岡山県	828	791	806	805	844	867	851	815	851	9	854
広島県	261	254	264	246	255	270	256	258	261	10	212
山口県	64	64	57	74	78	79	80	84	81	2	87
香川県	280	261	255	252	252	261	266	252	261	8	265
徳島県	247	247	225	221	211	217	211	219	213	7	224
高知県	130	140	137	117	128	117	103	98	97	3	94
愛媛県	75	63	65	66	66	57	49	49	30	3	32
福岡県	976	928	873	856	829	807	741	753	730	27	682
佐賀県	95	85	80	78	80	80	80	70	70	2	67
長崎県	257	246	248	261	280	270	251	252	240	8	235
熊本県	92	89	88	85	83	81	79	82	62	4	61
大分県	39	40	48	54	48	42	47	51	51	2	52
宮崎県	74	60	57	62	59	54	49	47	41	2	39
鹿児島県	124	124	123	109	100	100	93	90	78	2	74
沖縄県	100	90	71	22	21	18	24	20	20	1	24

2022年、2023年組織数比較表

	2022	2023		増 減		2022	2023		増 減
	会員数	団体数	会員数	増減数		会員数	団体数	会員数	増減数
合 計	16,814	556	16,616	-198	岐阜県	294	7	287	-7
北海道央	726	19	707	-19	三重県	2	3	4	2
北海道北	27	2	32	5	滋賀県	166	6	177	11
北海道東	84	3	83	-1	京都府	914	20	922	8
青森県	163	5	170	7	奈良県	222	6	223	1
岩手県	244	8	242	-2	和歌山県	335	11	322	-13
秋田県	0	0	0	0	大阪府	973	45	935	-38
山形県	33	2	31	-2	兵庫県	1,991	40	2,014	23
宮城県	136	5	135	-1	鳥取県	4	1	4	0
福島県	91	6	83	-8	島根県	156	4	156	0
群馬県	323	12	324	1	岡山県	851	9	854	3
栃木県	370	11	338	-32	広島県	261	10	212	-49
茨城県	130	8	124	-6	山口県	81	2	87	6
埼玉県	589	32	590	1	香川県	261	8	265	4
東京都	2,366	104	2,351	-15	徳島県	213	7	224	11
千葉県	628	15	637	9	高知県	97	3	94	-3
神奈川県	509	20	508	-1	愛媛県	30	3	32	2
山梨県	80	2	80	0	福岡県	730	27	682	-48
新潟県	228	9	230	2	佐賀県	70	2	67	-3
富山県	113	4	102	-11	長崎県	240	8	235	-5
石川県	263	6	267	4	熊本県	62	4	61	-1
福井県	70	5	75	5	大分県	51	2	52	1
長野県	253	11	259	6	宮崎県	41	2	39	-2
静岡県	375	13	341	-34	鹿児島県	78	2	74	-4
愛知県	870	21	861	-9	沖縄県	20	1	24	4

会員数 100 人以上の会・クラブ一覧

連盟	団体名	人数	連盟	団体名	人数
道央	札幌中央勤労者山岳会	151	兵庫	神戸中央山の会	162
群馬	太田ハイキングクラブ	118	兵庫	西宮山岳会	120
栃木	宇都宮ハイキングクラブ	160	兵庫	西宮明昭山の会	300
東京	ぶなの会	148	兵庫	摩耶山友会	168
東京	町田グlaus山の会	138	兵庫	武庫勤労者山岳会	110
千葉	ちば山の会	103	岡山	倉敷ハイキング倶楽部	283
千葉	千葉こまくさハイキングクラブ	137	岡山	山陽カルチャーマウンテンクラブ	381
石川	金沢ハイキングクラブ	103	徳島	徳島山と友の会	112
愛知	東三河山ぽ会	151	福岡	あだると山の会	135
京都	西山ハイキングクラブ	132	福岡	みどる山の会	127
大阪	豊中勤労者山岳会	135			

2024年版労山カレンダー (2024/1/10)

販売（地方連盟・加盟団体扱い） ※無印は増減無し / +は前年以上 / -は前年より減

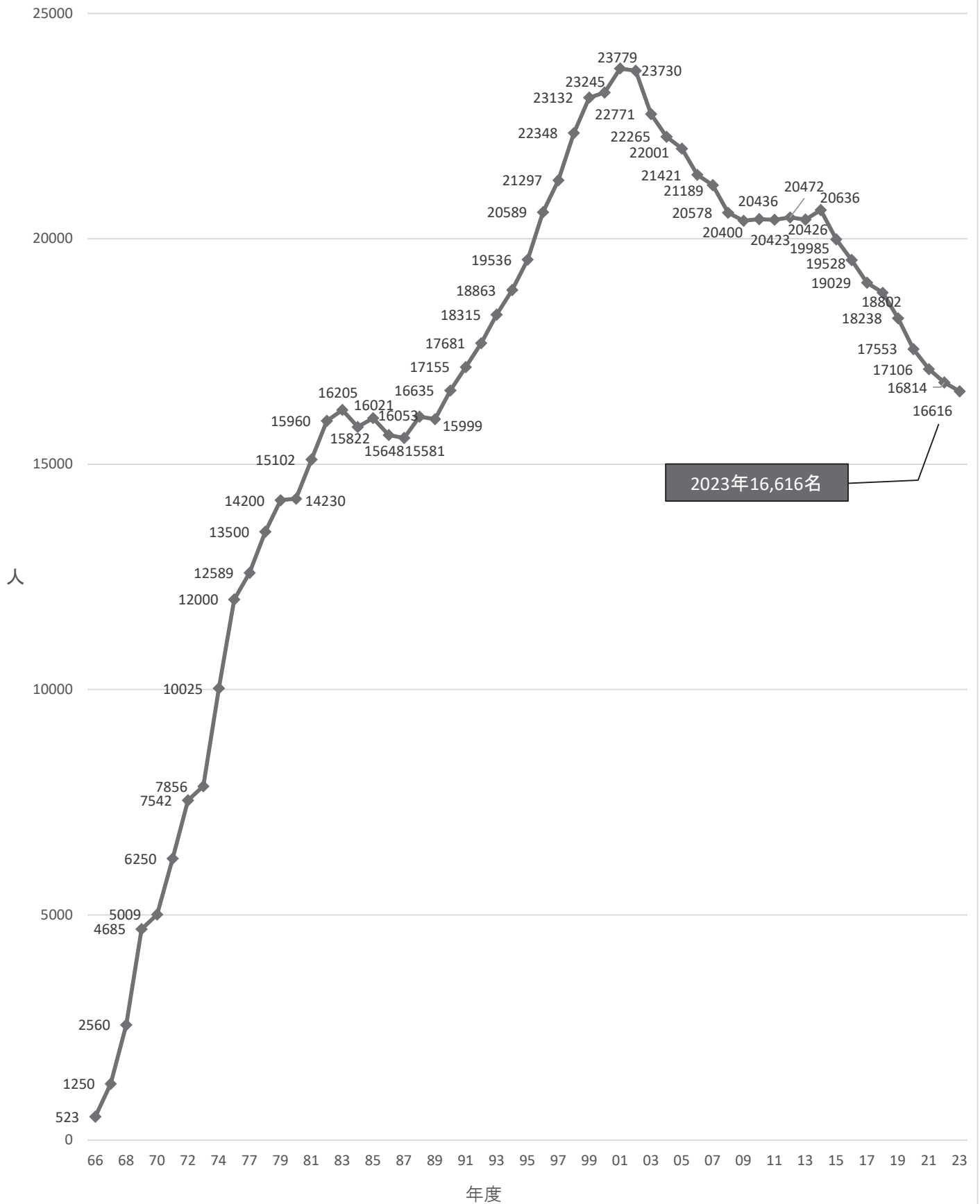
道央	35 +	茨城	22 -	長野	67 +	兵庫	108 -	福岡	240 -
道北	0	埼玉	120 -	静岡	76 -	鳥取	4	佐賀	15 -
道東	0	東京	181 -	愛知	60 -	島根	20	長崎	40 -
青森	23 -	千葉	64 -	岐阜	58 +	岡山	90 -	熊本	29 -
岩手	96 -	神奈川	13 -	三重	0	広島	43 -	大分	40 +
山形	3	山梨	10	滋賀	15 -	山口	26 +	宮崎	9 -
宮城	65	新潟	91 -	京都	217 -	香川	69 -	鹿児島	42 +
福島	37 -	富山	0	奈良	10 +	徳島	40	沖縄	23 +
群馬	72 +	石川	44 +	和歌山	40 +	高知	25 -		
栃木	65 +	福井	0	大阪	50	愛媛	15 -	合計	2,414

販売（一般）	91	写真採用者予約購入、全国連盟直販、イベント販売
贈呈（一般）	210	名誉会員・顧問、カレンダー製作（写真応募者 各1部など）
贈呈	75	事務所見本

※合計の出荷部数 2,790（うち贈呈 285 部）。作成部数 3,100 部。

※23 年版実績＝地方連盟販売 2,596 部、直販 131 部、贈呈 281 部、販売店 30 部

労山会員数の推移



2023 年度 第 35 期下期 (2023 年 1 月以降)加盟団体一覧

加盟団体 2023 年 1 月 1 日以降受付分

	受 理 番 号	地方連盟	団 体 名	団 体 番 号	創 立 年 月 日	加 盟 年 月 日	男 性	女 性	合 計
1	2 1 2 3 0 1	埼 玉	バッカス山の会	1 1 0 6 1 3	2022/11/26	2023/01/18	7	0	7
2	2 1 2 3 0 2	埼 玉	指扇山の会	1 1 0 3 0 8	2021/04/11	2023/02/10	2	2	4
3	2 1 2 3 0 3	北海道 道 央	地図とコンパスで歩く会	0 1 1 4 0 4	2023/03/01	2023/04/04	1	1	2
4	2 1 2 3 0 4	三 重	伊賀忍MC	2 4 0 1 0 2	2023/04/01	2023/04/20	1	1	2
5	2 1 2 3 0 5	東 京	リトルベア	1 2 0 9 1 2	2023/06/01	2023/06/16	2	2	4
6	2 1 2 3 0 6	愛 知	尾張ハイキングクラブ	2 2 0 8 0 3	2023/08/27	2023/09/04	3	3	6
7	2 1 2 3 0 7	三 重	三重っぱりな山の会	2 4 0 1 0 3	2023/09/01	2023/09/07	1	0	1
8	2 1 2 3 0 8	神奈川	山学同人稜風会	1 4 0 3 0 9	2023/10/01	2023/10/10	4	1	5
9	2 1 2 3 0 9								
10	2 1 2 3 1 0								
11	2 1 2 3 1 1								
12	2 1 2 3 1 2								
13	2 1 2 3 1 3								
14	2 1 2 3 1 4								
15	2 1 2 3 1 5								
16	2 1 2 3 1 6								
17	2 1 2 3 1 7								
18	2 1 2 3 1 8								
19	2 1 2 3 1 9								
20	2 1 2 3 2 0								

脱退・解散届け 第35期下期 (2023年度)

	受 理 番 号	地方連盟	団 体 名	加盟年月	脱退年月	会員数	脱 退 の 原 因 ・ 理 由
1	2 1 2 3 0 1	東 京	Team 悠	2008/12	2023/01	3	労山基金を必要とする山行活動が無くなった。
2	2 1 2 3 0 2	長 野	かざこし山の会	1988/03	2023/01	2	県連への活動参加が不可能なため。
3	2 1 2 3 0 3	新 潟	りんどう岳志会	2003/04	2023/01	1 8	高齢化で会員数が減少。
4	2 1 2 3 0 4	愛 知	アリス山の会	1997/09	2023/05	6	会員の高齢化。
5	2 1 2 3 0 5	大 阪	福島勤労者山岳会	1971/04	2023/07	6	会員減少と高齢化、コロナ禍で活動抑制。
6	2 1 2 3 0 6	兵 庫	尼崎山の会		2023/07	3	高齢化で活動が困難。
7	2 1 2 3 0 7	大 阪	虹	2010/08	2023/07	2	組織としての登山活動休止による。
8	2 1 2 3 0 8	大 阪	加島ルーズクライミングクラブ	2001/07	2023/07	1 0	高齢化と会員減少により会活動ができなくなったため。
9	2 1 2 3 0 9	千 葉	君津ケルン山の会	1970/02	2023/08	1 0	高齢化と会員減少、県連に役員を出せない。
10	2 1 2 3 1 0	静 岡	ふじ山楽歩山の会	2007/12	2023/12	3 1	会の総会で「連盟費が高い」とのことで脱退。
11	2 1 2 3 1 1	奈 良	山人山楽会	2011/07	2023/12	3	会員減少により解散する。
12	2 1 2 3 1 2	大 阪	山の会 ポレポレ	2010/04	2023/12	6	メンバー減少のため。
13	2 1 2 3 1 3	東 京	山の会 樹眩霧	1966/12	2023/12	2 1	総会で解散を決議した。
14	2 1 2 3 1 4	東 京	モンテローザ山の会	1970/10	2023/12	1 0	会員の高齢化と会員数の減少により脱退。
15	2 1 2 3 1 5	東 京	狛江山遊会	1987/11	2023/12	2 4	会員の高齢化と連盟費が高くメリットがない。
16	2 1 2 3 1 6						
17	2 1 2 3 1 7						
18	2 1 2 3 1 8						
19	2 1 2 3 1 9						
20	2 1 2 3 2 0						

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	総計（団体数）				576	560	556			
	総計（会員数）				17,106	16,814	16,616	8,155	8,323	15,613
北海道・道央地区連盟		団体数			17	17	19			19
	小計	会員数			732	726	707	340	367	646
	小樽勤労者山岳会		66.01	011101	33	36	36	23	13	27
	札幌FC GROUPE DE ROCHER		92.04	011201	11	8	8	5	3	8
	札幌中央勤労者山岳会		76.07	011301	152	153	151	65	86	130
	札幌ピオレ山の会		76.08	011302	42	41	44	22	22	44
	札幌北稜クラブ		76.07	011303	38	40	45	33	12	41
	札幌山びこ山友会		81.01	011304	44	44	43	19	24	43
	札幌登攀倶楽部		83.06	011305	9	9	9	8	1	9
	山遊会 ル・レラ		13.03	011311	4	4	4	2	2	4
	さっぽろ山遊会		14.12	011312	53	55	48	17	31	46
	スマイル・マウンテン・クラブ			011313	53	56	49	29	20	50
	同人ラリーグラス		06.10	011402	11	11	11	0	11	11
	同人スンク		16.02	011403	4	4	4	2	2	4
新規	地図とコンパスで歩く会		23	011404			2	1	1	1
	ハイキングクラブみどりの風		82.04	011601	48	38	29	9	20	28
	百松山岳会		85.12	011602	44	42	42	23	19	32
	ハイキングネットワークこだま倶楽部		90.12	011603	13	14	13	7	6	12
	函館山楽クラブ		97.06	011604	75	76	72	20	52	52
	バビシェ・マウンテン・クラブ		07.04	011605	98	95	85	47	38	92
新規	リベルテ		23	011901			12	8	4	12
北海道・道北地区連盟		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			27	27	32	18	14	18
	旭川勤労者山岳会		70.04	012101	23	23	28	15	13	15
	オホーツク山の会		05.06	012103	4	4	4	3	1	3
北海道・道東地区連盟		団体数			3	3	3			3
	小計	会員数			66	84	83	53	30	76
	帯広勤労者山岳会		71.11	013101	35	43	39	23	16	36
	釧路勤労者山岳会		68.12	013201	25	28	31	21	10	27
	北見勤労者山岳会		16.11	013203	6	13	13	9	4	13
青森県		団体数			5	5	5			5
	小計	会員数			162	163	170	91	79	142
	青森勤労者山岳会		71.02	020101	82	81	82	41	41	75
	青森ファミリーハイキングクラブ		83.12	020103	17	16	22	8	14	18
	白神・十二湖ハイキングクラブ		06.05	020301	6	6	6	3	3	1
	八戸勤労者山岳会			020601	18	20	21	16	5	21
	弘前勤労者山岳会		72.06	020603	39	40	39	23	16	27
岩手県		団体数			9	9	8			7
	小計	会員数			252	244	242	106	136	244
脱退	一関勤労者山岳会		70.04	030101	3	3	脱退			0
	アウトドアを楽しむ会		98.06	030102	40	25	25	10	15	31
	いわて生協山の会		98.06	030103	14	14	14	3	11	16
	釜石勤労者山岳会		66.05	030201	35	33	35	18	17	40
	胆江勤労者山岳会		70.01	030401	22	26	23	12	11	16
	花巻山友会		75.09	030601	32	33	43	13	30	44
	宮古勤労者山岳会		74.11	030701	7	5	5	2	3	0
	盛岡山友会		87.01	030702	79	85	82	40	42	81
	RAM		16.	030901	20	20	15	8	7	16
秋田県		団体数			1	0	0			0
	小計	会員数			2	0	0	0	0	
脱退	TC山ぶどう		13.03	040401	2	脱退	脱退			
山形県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			31	33	31	23	8	34
	やまがた山歩会		96.07	050701	10	9	9	8	1	10
	Rousan鶴岡		17.04	050901	21	24	22	15	7	24
宮城県		団体数			5	5	5			4
	小計	会員数			135	136	135	81	54	139
	石巻山の会		70.08	060101	32	32	34	21	13	35
	同人すばる		86.02	060402	5	5	5	4	1	0
	古川どっぼ山の会		79.07	060601	7	7	6	3	3	7
	朋友会		69.06	060602	80	80	80	50	30	84
	みやぎトレッキングクラブ		20.11	060701	11	12	10	3	7	13
福島県		団体数			6	6	6			5
	小計	会員数			100	91	83	55	28	84

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
脱退	郡山勤労者山岳会		66.02	070201	47	46	31	24	7	38
	喜多方山想会		01.07	070203	7	脱退	脱退			
	鹿島厚生病院山クラブ		10.12	070204	4	4	4	2	2	0
	相馬山歩会		96.09	070301	19	18	14	6	8	19
	福島勤労者山の会		70.06	070601	9	9	11	7	4	10
	フィエスタの谷		05.04	070605	14	12	21	15	6	15
	山クラブ ぶなの実		22.04	070801		2	2	1	1	2
群馬県		団体数			12	12	12			12
	小計	会員数			336	323	324	154	170	343
	太田ハイキングクラブ		75.04	080105	126	111	118	48	70	120
	NJKクラブ高峰			080106	3	3	3	1	2	2
	桐生勤労者山岳会		68.01	080202	3	3	3	2	1	3
	甘楽町山の会		86.04	080203	17	15	17	9	8	15
	高崎勤労者山岳会			080401	12	12	12	9	3	12
	ぼんぼこ山の会			080601	13	13	15	7	8	19
	PURPLE SNOW & WIND			080602	29	29	34	21	13	34
	前橋勤労者山岳会		68.02	080701	20	25	20	12	8	29
	前橋ハイキングクラブ		81.09	080703	68	69	60	21	39	66
	モンテ アルパインクラブ		00.02	080704	11	10	9	8	1	9
	モック里山の会		10.06	080705	20	22	22	12	10	24
	やまなみ（山脈）		03.12	080801	14	11	11	4	7	10
栃木県		団体数			11	11	11			11
	小計	会員数			372	370	338	143	195	408
	宇都宮山の会		75.03	090102	8	9	8	6	2	11
	宇都宮ハイキングクラブ		81.04	090103	195	190	160	64	96	205
	上三川ハイキングクラブ		03.06	090201	13	13	10	5	5	15
	栃木岳人クラブ		96.04	090401	5	5	4	3	1	5
	つむぎ山悠会		14.04	090403	16	13	13	4	9	16
	野木山想会		92.03	090502	75	78	85	35	50	92
	南那須山楽会		78.06	090701	3	3	3	3	0	3
	マロニエハイキングクラブ		94.04	090702	22	22	21	8	13	21
	マウントアンサンブル		05.04	090703	5	5	5	2	3	6
	山人（やまんど）クラブ		03.04	090802	28	30	27	11	16	32
	労山かぬま		05.11	090901	2	2	2	2	0	2
茨城県		団体数			8	8	8			8
	小計	会員数			140	130	124	60	64	143
脱退	笠間おちこち山の会		72.12	100102	7	8	脱退			8
	古河青峰山の会		73.02	100202	6	6	6	6	0	4
	取手山の会		76.05	100402	38	30	24	10	14	30
	つくばね山の会		84.01	100403	21	22	23	11	12	25
	チームやまや		11.02	100405	6	5	5	4	1	5
	ハイキングクラブ のんびり		76.09	100601	22	25	24	8	16	25
	水戸っ歩山の会		03.05	100704	32	27	32	14	18	37
脱退	水戸かわせみ山岳会		09.10	100705	脱退	脱退	脱退			
	ラリグラス		99.01	100901	8	7	10	7	3	9
埼玉県		団体数			31	31	32			33
	小計	会員数			620	589	590	290	300	628
	あすなろ山岳会		68.11	110102	4	4	4	4	0	2
	浦和くまざさ山岳会		70.07	110103	15	8	15	11	4	15
	大宮勤労者山岳会		65.04	110104	82	83	73	37	36	67
	アルパインクラブNP0さいたま		06.07	110112	31	31	33	24	9	34
	熊谷トレッキング同人		96.12	110201	27	24	22	16	6	16
	登山クラブやまなみ		91.07	110205	25	25	22	11	11	28
	北本山の会		00.05	110206	10	9	9	3	6	9
	ハイキングクラブ上里		01.01	110207	8	7	7	3	4	8
	クライミングさいたま			110209	6	8	8	5	3	7
	深谷山の子倶楽部		89.04	110301	9	9	9	3	6	9
	川越ハイキングクラブ・ビスターリ		95.12	110303	21	19	26	9	17	30
	山楽童人グループノマジ		13.03	110304	5	5	5	4	1	4
	彩の山友会		13.03	110305	7	7	7	5	2	6
	紫翠山岳会		16.04	110307	11	12	15	5	10	15
新規	指扇山の会		23	110308			5	2	3	6
	橡山岳会		66.09	110401	4	3	3	3	0	3
	所沢ハイキングクラブ		70.06	110402	32	32	32	16	16	40
	登攀クラブ岩つばめ		92.11	110403	7	7	7	5	2	7
	秩父アルペンクラブ		05.01	110405	23	21	21	5	16	26
	新座山の会		93.07	110501	47	40	30	10	20	40

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	日進山岳会		08.02	110502	27	32	35	20	15	35
	飯能勤労者山岳会		76.01	110602	17	17	19	12	7	22
	深谷こまくさ山の会		84.01	110605	26	26	29	12	17	29
	富士見市峠山の会		92.11	110606	35	35	36	10	26	41
	ハイジアルペンクラブ		97.11	110607	22	22	23	11	12	22
	日和田アルパインクラブ		98.12	110609	7	6	6	4	2	6
	パル・ブランチ		10.07	110611	6	4	4	2	2	4
	蓮田山の会		21.05	110612	5	5	2	1	1	3
新規	バッカス山の会		23	110613			7	7	0	7
	三郷山の会		94.05	110701	36	33	27	10	17	31
	わらび山の会		66.09	110802	30	22	20	10	10	22
	埜歩歩富士見山の会		90.04	110804	32	30	29	10	19	32
脱退	山ぼうし		19.02	110805	3	3	脱退			2
東京都	2, 357名	団体数			109	106	104			100
	小計	会員数			2, 393	2, 366	2, 351	1, 385	1, 160	2, 324
東京都・千代田区連盟					195	195	194	128	66	209
	同人クライミングファイト		95.01	120414	49	45	46	29	17	47
	ぶなの会		66.11	120605	146	150	148	99	49	162
東京都・中央区連盟					86	90	66	36	30	60
	銀座山の会		66.11	120207	32	36	35	21	14	30
	山岳会ヤマニテ		73.07	120310	30	30	31	15	16	30
脱退	山の会樹弦霧		66.12	120804	24	24	脱退			
東京都・港区連盟					45	51	62	27	35	60
	東京みなと山の会		66.11	120417	38	44	56	22	34	57
	東京港区ハイキングクラブ		76.07	120418	7	7	6	5	1	3
東京都・新宿区連盟					83	77	74	44	30	77
脱退	I A Cアルパイン		91.12	120104	脱退	脱退	脱退			
	溪嶺会		69.01	120202	8	8	9	7	2	10
	光陽山の会		73.04	120203	8	7	4	4	0	7
	東京岳遊会		66.12	120444	15	12	12	11	1	12
	グルッペ わたすげ		03.04	120220	6	5	5	2	3	4
	新宿山の会			120304	6	6	6	2	4	6
	東京ろうあ者山の会		74.09	120403	15	15	15	7	8	15
	峰凌倶楽部		75.06	120603	12	12	12	10	2	12
	山の会 さくら草		14.11	120819	6	5	5	1	4	5
	山の会 こぶし		14.11	120820	7	7	6	0	6	6
東京都・文京区連盟					26	25	21	13	8	22
	神楽坂アルパインクラブ		95.06	120112	6	6	4	3	1	6
	日本ロープレスキュー協会		98.04	120327	2	2	2	2	0	2
	民医連東京共済山の会		90.02	120707	18	17	15	8	7	14
東京都・東部地区連盟					118	95	83	45	38	85
	あらかわ山の会			120101	6	5	5	5	0	5
	江戸川山の会		66.04	120102	12	12	12	7	5	11
	墨田山の会		78.02	120301	45	43	31	13	18	28
	東部教職員山の会		76.10	120401	6	6	6	3	3	0
	登嶺会		69.01	120402	10	10	10	7	3	12
脱退	好好山の会		68.08	120601	17	脱退	脱退			
	らくらくハイキングクラブ		83.07	120901	15	12	12	6	6	10
	わたすげハイキングクラブ		97.04	120904	7	7	7	4	3	19
東京都・目黒区連盟					19	19	20	10	10	21
	めぐろ山の会		90.01	120706	19	19	20	10	10	21
東京都・みなみ地区連盟					237	236	228	106	122	236
	大田山の会		66.04	120107	52	52	55	38	17	64
	大田ハイキングクラブ		73.08	120108	64	64	50	14	36	48
	大田山友会		90.04	120109	10	10	9	6	3	9
	大田・わたすげの会		00.08	120121	6	6	6	1	5	6
	品川山の会・さんかくてん		85.08	120316	55	54	58	26	32	57
	めぐろ山学クラブ・仲間		65.11	120704	14	18	18	7	11	18
	目黒ハイキングクラブ			120705	30	30	30	12	18	32
	山の仲間「山風」		98.01	120813	2	2	2	2	0	2
脱退	山の会 白銀		09.09	120817	4	脱退	脱退			
東京都・城西地区連盟					144	162	192	95	97	167
脱退	狛江山遊会		87.12	120213	25	24	脱退			
	世田谷山ぞくの会		72.12	120314	3	3	3	2	1	3
	世田谷山友会		00.03	120315	40	53	86	41	45	65
	さわらび山の会		00.07	120331	26	27	40	22	18	36

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	山の会 やまづと		08.06	120339	38	41	47	23	24	47
	山セミの会		96.06	120807	12	14	16	7	9	16
東京都・渋谷区連盟					33	22	21	15	6	17
	渋谷山の会 ウルスカディ		09.01	120124	22	22	21	15	6	17
脱退	こまくさ山の会		84.06	120205	11	脱退	脱退			
東京都・中野区連盟					6	6	6	3	3	6
	登攀クラブNCP		84.04	120408	6	6	6	3	3	6
東京都・杉並区連盟					138	130	136	76	60	137
	杉並勤労者山岳会		66.06	120306	77	69	69	46	23	70
	杉並山の会		78.02	120308	51	51	57	23	34	55
	プリムラ山の会		83.10	120607	10	10	10	7	3	12
東京都・練馬区連盟					194	195	211	112	99	220
	ぐるうぷ山人		74.07	120208	40	40	41	15	26	43
	石神井山の会		93.09	120317	82	75	85	45	40	89
	山岳同人かわせみ		92.01	120324	4	4	4	3	1	4
	練馬山の会		71.06	120504	68	76	81	49	32	84
東京都・豊島区連盟					35	32	31	23	8	31
	東京雪稜会		76.06	120410	23	20	20	14	6	20
	目白山岳会		74.12	120701	12	12	11	9	2	11
東京都・板橋区連盟					40	40	39	27	12	39
	板橋勤労者山岳会		66.03	120111	40	40	39	27	12	39
東京都・北区連盟					64	69	56	38	18	59
	田端雪稜山岳会		79.09	120412	12	13	11	10	1	12
	淡歩歩山の会		05.07	120434	34	37	41	26	15	41
	東京緑峰クラブ		09.03	120439	3	4	4	2	2	6
脱退	モンテローザ山の会		80.06	120702	15	15	脱退			
東京都・多摩東部連盟					135	140	140	68	72	124
	北多摩山の会			120211	28	31	33	18	15	33
	グループ・どっぺる		78.04	120212	28	30	31	6	25	31
	山座会		70.06	120319	41	42	40	28	12	28
	ふくろうハイキングクラブ		97.02	120608	17	17	17	5	12	16
	むさしの山の会		66.03	120708	17	16	15	8	7	16
	むさしの“どっぼ”		89.12	120709	4	4	4	3	1	0
東京都・多摩西部連盟					143	138	138	66	72	139
	八王子おおるり山の会		97.03	120113	99	95	95	44	51	91
	ハイキングクラブ四季		79.06	120609	13	8	9	7	2	9
	ハイキングクラブ・ジャンダルム		93.09	120611	14	13	9	4	5	13
	HC Wild Berry		17.11	120909	17	22	25	11	14	26
東京都・多摩北部連盟					113	109	105	37	68	102
	多摩みどり山遊会		00.04	120426	11	11	11	6	5	12
	チーム バガボンズ		05.01	120432	2	2	2	1	1	2
	野火止山の会		75.09	120505	65	61	59	21	38	58
	コスモス山の会		91.04	120612	35	35	33	9	24	30
東京都・府中市連盟					33	36	35	15	20	36
	Climbing NAKAMA		03.12	120334	2	2	2	1	1	2
	山の会「かたつむり」		84.07	120809	31	34	33	14	19	34
東京都・町田市（準地区連盟）					142	142	138	62	76	137
	町田グlaus山の会		84.03	120710	142	142	138	62	76	137
東京都（その他）					352	343	338	199	139	327
	アルムクラブTokyo		10.11	120346	8	8	7	4	3	7
	神田山の会		66.12	120206	52	48	47	22	25	47
	C・C” 昴”		01.04	120218	3	3	3	1	2	3
脱退	Team悠		08.12	120438	3	脱退	脱退			
	oak		09.07	120125	6	6	6	4	2	6
	MGC		14.12	120127	11	11	10	8	2	9
	AMC		15.04	120128	1	1	1	0	1	1
	アルペンブルーメ		20.07	120129	6	11	10	4	6	13
	クラウドナイン・クライマーズ・ネット		08.04	120222	5	5	5	2	3	0
	K9-SAR 岳の会			120224	4	4	4	2	2	0
	新婦人青梅ハイキング小組・スイトピー班		98.09	120326	12	10	16	1	15	17
	雲表倶楽部		04.02	120335	33	31	22	18	4	25
	山岳同人GRAPPA		08.06	120340	4	4	4	3	1	4
	G登攀クラブ		09.03	120341	20	22	21	14	7	21
	新婦人けやき班ハイキング小組		12.03	120344	10	10	11	0	11	11
	じょうなんハイカーズ		20.07	120347	2	2	2	1	1	1
	チーム 吾亦紅（われもこう）		07.03	120436	4	4	4	2	2	4
	地形図研究会		10.06	120440	5	5	5	1	4	5

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	痛恨		13. 03	120441	4	4	4	4	0	4
	Team CELL		14. 3	120442	9	9	9	5	4	9
	Team Diagonal		14. 12	120443	13	12	10	6	4	10
	日本エキスパートクライマーズクラブ		04. 03	120510	29	28	27	23	4	27
	ポーラスター山岳会		01. 12	120617	5	5	5	3	2	5
	5.10クラブ		04. 08	120619	5	5	2	2	0	1
	ポレポレ倶楽部山の子		07. 03	120621	20	20	20	11	9	20
	ハルヒラークラブ		15. 01	120623	11	10	11	10	1	10
	無想・転生		09. 07	120713	4	4	4	3	1	6
	山の会ふみあと		73. 07	120810	23	19	18	11	7	19
	雪豹同人		13. 05	120818	2	2	2	1	1	1
	ROUSANパートナーズ		17. 11	120910	36	35	39	27	12	37
	労山マスターズ		19. 06	120911	2	2	2	2	0	0
新規	リトルベア		23	120912			4	2	2	1
	earth（アース）		22. 03	120130		3	3	2	1	3
東京都・学生団体					12	14	17	12	5	13
	東京農工大学ワンダーフォーゲル部		97. 05	120506	12	14	17	12	5	13
千葉県		団体数			15	15	15			15
	小計	会員数			657	628	637	311	326	662
	市川山の会		00. 10	130101	10	8	7	4	3	5
脱退	君津ケルン山の会		70. 02	130201	16	20	脱退			
	かがりび山の会		95. 08	130202	45	43	40	20	20	41
	岳人あびこ		96. 10	130203	52	52	53	23	30	58
	ちば山の会		66. 11	130401	103	103	103	57	46	110
	千葉こまくさハイキングクラブ		84. 01	130403	122	117	137	62	75	132
	東葛山の会		84. 05	130404	48	53	54	23	31	54
	船橋勤労者山の会		77. 06	130603	40	28	26	20	6	28
	ふわくハイキングサークル		97. 05	130604	59	62	61	17	44	62
	茂原道標山の会		71. 04	130701	12	11	13	6	7	16
	松戸山の会		83. 04	130702	79	68	75	42	33	82
	まつど山翠会		01. 11	130705	22	19	17	10	7	17
	まつど遠足クラブ1年さくら組		04. 01	130706	13	10	14	6	8	15
	山の会らんたん		84. 12	130802	22	23	26	14	12	30
	千葉民医連山を歩こう会		93. 03	130803	5	4	4	2	2	4
	山の会「岳樺クラブ」		94. 02	130804	9	7	7	5	2	8
神奈川県		団体数			18	19	20			20
	小計	会員数			520	509	508	269	239	471
	小田原ナーゲル山の会		71. 01	140102	18	20	18	11	7	17
	M&C		11. 03	140104	23	21	18	13	5	20
	川崎勤労者山岳会		67. 01	140201	23	18	16	10	6	15
	川崎ハイキングクラブ		78. 02	140202	103	90	94	42	52	65
	川崎柴笛クラブ		74. 01	140203	17	17	16	8	8	15
	カモの会		98. 03	140209	60	54	46	31	15	44
	Grazie(グラッチェ)		13. 10	140211	8	8	14	10	4	13
	銀嶺会			140212	4	4	5	0	5	5
	相模アルパインクラブ		74. 01	140301	40	47	41	25	16	32
	さがみ山友会		93. 03	140304	12	13	13	9	4	12
	山岳素行童人メーグリ家		08. 07	140307	11	7	7	4	3	10
新規	山学同人稜風会		23	140309			1	1	0	1
	地平線の会		00. 04	140401	6	6	7	0	7	7
	藤沢山の会		82. 06	140601	90	88	99	39	60	101
	みずなら山の会		88. 11	140702	37	37	31	17	14	26
	アルパインクラブ横浜			140801	28	29	31	20	11	34
	雪童山の会		00. 01	140807	16	16	18	10	8	18
	やま++（やまぷらぷら）		03. 01	140808	19	19	18	10	8	20
	山ブキの会		07. 04	140809	5	5	5	0	5	5
	SAWAMAFIA		22	140308		10	10	9	1	11
山梨県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			75	80	80	37	43	76
	彷徨倶楽部関東		20. 03	150601	14	15	10	4	6	7
	山梨山の会		98. 03	150801	61	65	70	33	37	69
新潟県		団体数			10	9	9			9
	（男女比は便宜上記入）小計	会員数			249	228	230			241
	糸魚川勤労者山岳会		76. 01	160101	23	24	24			25
	十日町おだまき山の会		82. 09	160102	39	42	41			42
	阿賀山の会		98. 06	160103	17	16	21			24
	清津山の会		76. 12	160201	22	22	22			20

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	長岡勤労者山岳会		69.01	160501	37	33	30			32
	新潟山友会		76.08	160502	10	10	8			9
	新潟クライミングクラブ		96.07	160503	26	27	31			33
	新潟岳遊塾		05.01	160504	4	4	3			4
	みちぐさ山の会		69.07	160701	53	50	50			52
脱退	りんどう岳志山岳会		01.05	160901	18	脱退	脱退			
富山県		団体数			4	4	4			4
	小計	会員数			124	113	102			109
	富山勤労者山岳会		66.07	170403	33	26	29			28
	富山ハイキングクラブ		78.01	170404	50	48	35			41
	辿山会			170407	3	3	3			3
	三島野スポーツクラブ		99.05	170701	38	36	35			37
石川県		団体数			6	6	6			6
	小計	会員数			255	263	267	150	117	282
	でんでん虫倶楽部		74.12	180201	8	8	9	8	1	9
脱退	こだま山岳会			180202	脱退	脱退	脱退			
	小松ブルーベル山の会			180203	61	74	79	48	31	83
	金沢ハイキングクラブ		81.01	180204	102	105	103	45	58	119
	チャムラン山の会		80.01	180401	42	36	35	21	14	29
	めっこ山岳会		66.10	180701	28	24	25	21	4	24
	白山フウロ山岳会		84.10	180702	14	16	16	7	9	18
福井県		団体数			5	5	5			5
	小計	会員数			68	70	75	42	33	70
	あしハイキングクラブ		00.03	190101	16	22	27	14	13	28
	あし山遊会			190102	16	14	15	3	12	16
	ケルン山の会		00.03	190201	13	13	12	12	0	6
	ベルグラ山の会		00.03	190602	14	13	14	11	3	14
	山っ子の会		00.03	190801	9	8	7	2	5	6
長野県		団体数			12	11	11			11
	小計	会員数			255	253	259	171	88	265
	伊那山仲間		75.01	200102	31	27	26	18	8	16
	大町勤労者山の会		66.08	200103	26	25	28	19	9	29
	駒ヶ根山岳会		66.01	200202	13	13	13	9	4	10
脱退	かざこし山の会		88.03	200204	2	脱退	脱退			
	クライミングメイト山の子		01.07	200205	10	9	9	8	1	12
	上小山の会		66.01	200301	23	23	23	15	8	26
	佐久アッセントクラブ		75.07	200303	42	46	47	26	21	48
	佐久山の会		66.08	200304	29	33	34	21	13	42
	茅野しらびそ山の会		77.07	200306	10	10	12	8	4	13
	山岳会ロック&ブッシュ		80.07	200308	19	20	20	18	2	24
	まみくとい山の会		68.01	200501	33	32	38	24	14	36
脱退	山の会ながの		66.01	200502	脱退	脱退	脱退			
	松本勤労者山岳会		66.01	200701	17	15	9	5	4	9
静岡県		団体数			14	14	13			13
	小計	会員数			378	375	341	178	163	342
	伊豆ハイキングクラブ労山会員グループ		87.12	210105	35	35	35	13	22	40
	あさぎり山の会		89.11	210104	53	53	51	18	33	48
	静岡勤労者山岳会		66.08	210301	47	52	51	33	18	55
	清水勤労者山岳会		66.08	210302	17	17	17	9	8	17
	静岡安倍っ子山の会		84.04	210303	27	13	13	8	5	11
	裾野麗峰山の会		94.03	210305	8	12	15	7	8	15
	沼津勤労者山岳会		85.01	210501	16	15	11	4	7	11
	ナチュラlmウンテリングクラブ		00.04	210502	11	11	11	6	5	11
	浜松勤労者山岳会		85.04	210604	45	45	45	25	20	44
	浜松山の会フレンズ		87.08	210606	11	12	12	9	3	12
脱退	ふじ山楽歩 山の会		07.12	210609	31	31	脱退			
	三島勤労者山岳会		73.01	210701	40	46	47	25	22	47
	焼津山の会		79.12	210802	7	7	8	3	5	6
	山登歩勤労者山の会		89.01	210803	30	26	25	18	7	25
愛知県		団体数			21	21	21			21
	小計	会員数			893	870	861	437	424	834
	あつた勤労者山岳会		69.03	220104	48	40	46	27	19	46
	おやこ山の会		82.09	220111	5	5	5	2	3	4
	犬山勤労者山の会マップ		85.07	220112	55	54	62	24	38	62
脱退	アリス山の会		97.09	220113	6	6	脱退			
	春日井峠の会		74.06	220201	46	50	48	20	28	46

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	かわせみ山楽会		82.04	220202	15	12	12	6	6	14
	じねんじょ山の会		82.07	220303	43	45	45	28	17	46
	スルジェ山の会			220304	36	39	38	15	23	28
	東海山岳会		69.03	220403	25	23	22	17	5	21
	ちんぐるま		87.06	220404	5	5	5	5	0	4
	名古屋山岳同志会		73.05	220501	105	104	98	61	37	98
	名古屋山歩会		74.05	220502	18	17	17	11	6	15
	低い山を楽しむ会		71.11	220503	12	11	10	6	4	8
	名古屋ありんこ山岳会		81.02	220506	30	30	31	17	14	20
	名古屋アルパインスピリッツクラブ		93.02	220511	22	24	25	18	7	23
	ふわく山の会		79.04	220602	65	56	37	20	17	31
	半田ファミリー山の会		81.12	220603	63	64	62	22	40	66
	東三河山ぽ会		84.07	220604	152	152	151	67	84	153
	みどり山の会		98.11	220703	33	32	31	9	22	33
	若駒山岳会		69.03	220801	32	26	28	16	12	27
	山の会「くらら」		96.01	220802	77	75	82	43	39	82
新規	尾張ハイキングクラブ		23	220803			6	3	3	7
岐阜県		団体数			7	7	7			7
	小計	会員数			284	294	287	171	116	295
	大垣勤労者山岳会		70.12	230101	57	57	57	35	22	59
	あるばいんKANI		10.04	230102	7	8	9	5	4	12
	岐阜ケルン山岳会		69.04	230201	42	52	50	39	11	57
	多治見勤労者山岳会			230401	40	44	44	24	20	39
	中津川勤労者山岳会		69.05	230501	18	19	19	15	4	20
	瑞浪山の会		74.01	230701	21	18	18	12	6	18
	みのハイキングクラブ		97.11	230702	99	96	90	41	49	90
三重県		団体数			1	0	3			3
	小計	会員数			2	2	4	1	0	4
	伊賀忍NMC		23	240102			2	1	1	2
	三重っばりな山の会		23	240103			1	1	0	1
	松阪勤労者山岳会		71.08	240701	2	2	1	1	0	1
滋賀県		団体数			6	6	6			6
	小計	会員数			164	166	177	89	88	157
	湖南岳友会		78.01	250201	33	28	30	18	12	5
	滋賀山友会		71.11	250301	57	64	73	34	39	77
	シャクナゲ遡行クラブ		95.05	250302	5	5	5	3	2	5
	ちごゆり山歩会		86.09	250402	15	18	20	6	14	20
	比良雪稜会		79.01	250602	44	43	40	22	18	40
	山の会オフトレイル		01.08	250605	10	8	9	6	3	10
京都府		団体数			20	20	20			20
	小計	会員数			927	914	922	390	532	866
	乙訓山の会			260102	77	72	98	45	53	80
	京都右京勤労者山岳会			260201	69	60	57	24	33	51
	京都左京勤労者山岳会		68.06	260204	28	26	24	15	9	22
	京都明峯勤労者山岳会		78.02	260207	58	54	59	27	32	56
	京都洛中勤労者山岳会			260208	93	93	94	44	50	95
	WAO亀岡			260209	39	41	39	18	21	39
	チーム クラマガチ		97.04	260210	3	3	2	2	0	2
	京都伏見山の会		09.05	260212	51	44	50	21	29	50
	樹の根17組		17.06	260213	11	13	13	0	13	13
	丹波勤労者山岳会		83.09	260401	16	16	15	8	7	8
	西山ハイキングクラブ		86.11	260501	129	130	132	41	91	141
	福知山山の会		98.08	260603	35	34	32	16	16	32
	舞鶴勤労者山岳会		77.05	260701	22	15	15	6	9	14
	ハイキングクラブ舞鶴山遊会		9801	260702	34	36	36	18	18	35
	京都田辺山友会		80.06	260801	37	41	40	17	23	40
	やましな山の会		86.09	260802	95	88	86	41	45	64
	山城・山の会		96.11	260803	24	23	22	8	14	18
	丹後山の会（与謝山の会）		02.10	260804	40	59	48	16	32	48
	らくなん山の会		01.04	260904	57	59	55	21	34	54
	Lantan		19.04	260905	9	7	5	2	3	4
奈良県		団体数			8	7	6			6
	小計	会員数			225	222	223	105	118	214
	オオヤマレンゲ山の会		02.05	270103	15	15	15	6	9	16
脱退	ジョイ アセット クラブ		13.03	270301	3	脱退	脱退			
	山風舎		20.04	270302	5	5	8	3	5	4
	奈良勤労者山岳会		69.04	270501	104	103	99	50	49	91

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	奈良ハイキングクラブ		75. 08	270502	75	75	75	32	43	73
	西大和山の会		82. 05	270504	15	17	22	10	12	26
脱退	山行人山楽会		11. 07	270801	4	3	脱退			
	やまと山遊会		11. 07	270802	4	4	4	4		4
和歌山県		団体数			11	11	11			9
	小計	会員数			347	335	322	143	179	300
	有田山の会		75. 08	280101	42	40	45	22	23	36
	紀峰山の会		74. 01	280201	70	70	72	39	33	72
	紀北亀足会		95. 08	280202	3	3	3	2	1	0
	さんぽの会			280301	6	8	8	2	6	8
	はしもと山の会		83. 05	280601	8	6	6	6	0	6
	ハハコグサトレッキングクラブ			280602	4	5	4	1	3	4
	紀州山友会		74. 11	280701	40	39	48	18	30	45
	みちくさハイキングクラブ		79. 06	280702	109	108	78	32	46	78
	やまなみハイキングクラブ			280704	3	3	3	2	1	0
	和歌山アルパインクラブ			280801	6	6	5	4	1	5
	わかやまハイキングクラブ		75. 04	280802	56	47	50	15	35	46
大阪府		団体数			51	49	45			44
	小計	会員数			1, 059	973	935	478	457	919
脱退	安治川山の会		68. 05	290101	22	脱退	脱退			
	COWAC		75. 02	290102	13	13	10	5	5	10
	大阪たつの子勤労者山岳会		72. 04	290104	21	28	26	18	8	26
脱退	大阪中郵勤労者山岳会		76. 07	290105	7	脱退	脱退			
	大阪志峰会			290107	19	18	18	13	5	15
	大阪ぼっぽ会		75. 12	290108	51	42	36	20	16	31
	勤労者山岳会ひまやま			290109	20	16	15	4	11	18
	大阪勤労者登攀クラブ (OWCC)		83. 06	290112	6	6	6	5	1	6
	大阪マウンテンクラブ		92. 05	290117	3	3	3	3	0	3
	A・T・C(オール・テンション・クライマーズ)		98. 02	290118	9	8	8	5	3	8
	大阪スキーハイキングクラブ		01. 11	290120	5	5	4	2	2	5
	アウトドア オールラウンダーズ		03. 04	290121	10	13	13	9	4	13
脱退	A I M Aクラブ		04. 12	290122	脱退	脱退	脱退			
	北大阪のぼろう会 (KONK)		75. 06	290201	21	22	22	11	11	22
	きたろうハイキングクラブ		76. 03	290202	70	60	60	25	35	56
	このはな山の会		77. 03	290205	31	31	32	24	8	32
	くすのき山遊会		93. 04	290207	18	11	11	6	5	11
脱退	加島ルーズクライミングクラブ		01. 04	290210	9	10	脱退			
脱退	山の会カランクルン		01. 06	290211	50	脱退	脱退			
	遡行同人 溪游会		03. 02	290212	27	27	36	25	11	9
	山の会こもれび		04. 03	290214	31	26	25	8	17	17
	club ALBA		22. 03	290216		5	6	4	2	6
脱退	風の子ハイキングクラブ		04. 08	290215	脱退	脱退	脱退			
	吹田勤労者山岳会			290302	45	46	45	16	29	54
	泉州勤労者山岳会			290303	43	40	35	19	16	40
	雑木の会		76. 04	290306	26	27	28	15	13	29
	高槻勤労者山岳会		69. 09	290401	17	23	23	12	11	30
	豊中勤労者山岳会			290402	135	135	135	62	73	131
	山の会 T E N S I O N		03. 12	290408	20	18	14	6	8	16
	西淀川勤労者山岳会		66. 06	290502	36	40	33	19	14	33
脱退	虹		10. 08	290506	2	2	脱退			
脱退	福島勤労者山岳会		71. 06	290601	6	6	脱退			
	白峰山の会			290605	16	16	16	7	9	15
	女性ハイキングクラブ・ハイジ		92. 01	290607	11	11	11	0	11	11
	なにわこぶしの会		96. 07	290609	7	6	6	3	3	7
	ハイキングクラブ げんごろう		97. 11	290610	15	16	16	5	11	20
	ふれんず		99. 01	290611	15	18	20	11	9	15
	山之会バックス		01. 11	290612	9	9	9	7	2	9
	ハイキングクラブ E L F		05. 05	290613	14	13	13	6	7	13
	ピトンの会		06. 03	290614	15	14	16	11	5	16
	H. C. teruru		08. 05	290615	32	32	32	15	17	32
	H. C. モンテス		11. 10	290617	10	12	12	5	7	17
	H. C. J U K E		12. 11	290618	10	12	12	6	6	12
	箕面勤労者山岳会			290704	3	3	3	2	1	0
	ももんが山岳会			290706	12	11	11	2	9	11
	八尾山の会		66. 04	290801	21	22	25	11	14	28
	山の虫クレマントクラブ		78. 12	290804	8	7	7	3	4	7
	淀屋橋勤労者山岳会		67. 02	290806	16	15	14	7	7	9

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	山の会くまごろう		96.04	290807	19	20	20	14	6	26
	山の会ROCKY		00.03	290808	14	14	15	8	7	15
	山の会Monterey		07.05	290809	12	12	11	6	5	11
脱退	山の会 ポレポレ		10.05	290810	6	4	脱退			
	山の会二十渉		14.04	290811	10	12	10	6	4	12
	つりばし			290902	11	13	12	7	5	12
兵庫県		団体数			43	41	40			36
	小計	会員数			1,923	1,991	2,014	949	1,065	1,288
	アルペン芦山			300102	56	56	54	26	28	55
脱退	尼崎山の会			300103	4	3	脱退			
	淡路勤労者山岳会		80.01	300104	2	2	2	0	2	0
	伊丹勤労者山岳会		72.08	300105	26	36	35	19	16	30
	尼崎ハイキングクラブ		80.07	300106	75	81	50	17	33	17
	やまぼうし		82.02	300107	24	23	20	4	16	18
	明石山の会		88.01	300109	36	39	42	19	23	15
	甲山勤労者山岳会		71.12	300201	73	75	80	47	33	54
	神戸カタツムリの会		75.08	300205	73	82	80	33	47	56
	神戸勤労者山岳会		71.12	300206	48	47	50	31	19	28
	神戸みなと山友会			300207	43	49	56	31	25	38
	神戸港山の会		76.08	300208	28	26	24	17	7	17
	神戸中央山の会		80.09	300209	136	142	162	76	86	139
脱退	神戸ハイキングクラブ		81.06	300210	9	脱退	脱退			
	北須磨山の会		87.09	300211	7	8	8	3	5	9
	神戸山スキークラブ		12.02	300213	17	15	20	18	2	9
	神戸クライマーズクラブ		13.06	300214	11	11	11	9	2	11
脱退	神戸ハム&ハイキングクラブ		13.06	300215	2	脱退	脱退			
	宝塚山の会		75.01	300301	46	43	40	18	22	29
	山岳会ホワイトピーク		77.01	300302	21	25	26	8	18	27
	須磨勤労者山岳会			300305	28	27	26	18	8	22
	山楽会 七色十色		18.11	300307	8	8	9	6	3	7
	但馬勤労者山岳会		75.12	300401	4	4	4	2	2	3
	垂水ハイキングクラブ		85.08	300404	15	14	14	4	10	0
	垂水勤労者山岳会		76.07	300405	38	37	44	19	25	42
	地球クラブ		01.04	300407	2	2	2	1	1	2
	高御位山遊会		01.07	300408	84	92	92	31	61	98
	西神戸山の会		74.07	300501	65	63	58	23	35	45
	西宮北口勤労者山岳会		75.09	300502	31	28	27	7	20	11
	西宮山岳会		64.02	300503	70	100	120	50	70	111
	西宮明昭山の会		75.12	300504	300	300	300	150	150	0
	東灘勤労者山岳会		75.09	300603	7	8	7	5	2	7
	北摂山の会		00.09	300609	51	52	57	33	24	56
	H C はりま		04.02	300610	30	28	26	12	14	26
	はりま明姫修験ネット		20.10	300612	2	2	2	1	1	0
	摩耶山友会		74.07	300701	148	159	168	84	84	127
	武庫勤労者山岳会		72.07	300702	117	117	110	43	67	81
	メラ・ピークK O B E		91.04	300703	8	9	6	5	1	8
	山の会かじか		73.03	300801	50	50	50	23	27	26
	山歩溪山岳会		76.08	300802	80	77	83	37	46	38
	山の会アルプ		84.08	300803	24	25	21	7	14	4
	山の会ささやま		09.07	300804	15	20	23	12	11	17
	ハイキングクラブ レディバード		04.04	300902	9	6	5	0	5	5
鳥取県		団体数			1	1	1			1
	小計	会員数			4	4	4	3	1	2
脱退	鳥取久松山岳会		78.11	310401	脱退	脱退	脱退			
	米子勤労者山岳会			310801	4	4	4	3	1	2
島根県		団体数			6	4	4			4
	小計	会員数			189	156	156	74	82	133
	出雲山の会		74.08	320101	13	13	11	4	7	11
	エッサッサ山の会		97.12	320102	23	23	21	8	13	23
脱退	神名火山の会		06.01	320203	22	脱退	脱退			
脱退	白樺クラブ		05.04	320301	5	脱退	脱退			
	松江アルペンクラブ		74.12	320701	45	45	44	28	16	34
	松江ハイキングクラブ		82.04	320702	81	75	80	34	46	65
岡山県		団体数			9	9	9			9
	小計	会員数			815	851	854	364	490	748
	岡山勤労者山岳会		66.12	330101	22	22	25	15	10	26
	倉敷勤労者山岳会		70.05	330201	17	15	14	9	5	12

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	倉敷ハイキング倶楽部		90.06	330202	238	269	283	104	179	279
	クラブMONTATA		10.10	330203	8	8	7	5	2	7
	山陽カルチャーマウンテンクラブ		99.09	330301	382	380	381	156	225	277
	玉野ハイキング同好会		87.03	330402	48	48	44	19	25	47
	新見ハイキングクラブ		05.08	330501	30	38	29	15	14	29
	ピーク・フレンズ・クラブ		98.09	330601	11	11	11	8	3	11
	みまさか山の会		84.08	330701	59	60	60	33	27	60
広島県		団体数			11	11	10			10
	小計	会員数			258	261	212	102	110	265
	安佐岳友クラブ		09.06	340101	5	6	6	3	3	6
	呉勤労者山の会		68.01	340201	42	40	37	18	19	37
	佐伯山の会		79.01	340301	46	49	50	29	21	51
	山岳同人RAIZ		14.03	340304	7	7	7	6	1	7
	福山とんど		02.04	340401	4	4	4	2	2	4
	桃源郷クラブ		14.03	340402	12	11	12	5	7	12
	広島勤労者山の会		83.01	340601	23	25	10	5	5	20
	広島勤労者HCやまぼうし		88.05	340602	59	60	59	27	32	70
	ひろしま令峰クラブ			340604	24	26	25	6	19	31
脱退	県北山の会		93.04	340701	34	31	脱退			27
	山の会 道		00.09	340801	2	2	2	1	1	0
山口県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			84	81	87	22	65	88
	登山・ハイキングサークル コンパス		83.02	350201	44	44	44	13	31	53
脱退	倶楽部OKB		18.11	350202	脱退	脱退	脱退			
	山口県教職員登山サークル「ぼれぼれ」			350801	40	37	43	9	34	35
香川県		団体数			8	8	8			8
	小計	会員数			252	261	265	140	125	246
	観音寺あけぼの山の会		75.01	360201	42	43	50	27	23	46
	観音寺ハイキングクラブ		79.09	360202	24	21	22	5	17	22
	丸亀しわく山の会		76.06	360303	63	61	60	36	24	57
	善通寺山の会		81.07	360304	62	56	55	29	26	46
脱退	坂出ハイキングクラブ		12.04	360305	脱退	脱退	脱退			
	山岳同人・五色の峰		16.03	360306	9	10	7	6	1	6
	高松勤労者山の会		67.04	360401	19	29	31	19	12	31
	高松ハイキングクラブ		72.11	360402	4	4	4	1	3	4
	さぬき山歩会		87.06	360403	29	37	36	17	19	34
徳島県		団体数			7	7	7			7
	小計	会員数			219	213	224	102	122	181
	阿波あすなろ山の会		83.05	370102	32	32	34	17	17	38
	小松島ハイキングクラブ		78.11	370203	31	31	31	15	16	42
	徳島市勤労者山の会		73.11	370401	19	16	16	11	5	17
	徳島ハイキングクラブ		80.01	370402	14	15	17	5	12	13
	健生山の会		87.06	370403	9	8	8	5	3	5
	徳島山岳同人倶楽部			370404	7	6	6	3	3	5
	徳島山と友の会		93.03	370405	107	105	112	46	66	61
高知県		団体数			3	3	3			3
	小計	会員数			98	97	94	42	52	77
	あるぷハイキングクラブ		78.11	380101	30	27	29	10	19	15
	高知勤労者山岳会		66.07	380203	52	53	49	26	23	45
	かめのこ山の会		87.11	380205	16	17	16	6	10	17
愛媛県		団体数			3	3	3			2
	(男女比は便宜上記入) 小計	会員数			49	30	32	19	13	26
	南予のぼろう会		74.07	390501	25	7	7	2	5	0
	松山勤労者山岳会		71.05	390702	10	10	8	3	5	8
	山の子		05.04	390801	14	13	17	14	3	18
福岡県		団体数			27	27	27			25
	小計	会員数			753	730	682	315	367	666
	あしび山の会		69.05	400101	39	31	35	10	25	36
	大川山人会			400103	34	35	37	14	23	37
	大牟田勤労者山岳会		64.01	400104	16	16	16	9	7	16
	大牟田ハイキングクラブ			400105	67	59	34	17	17	34
	あだると山の会		80.09	400107	127	129	135	49	86	134
	奥岳山の会		84.12	400108	5	5	4	3	1	2
	往還倶楽部			400109	6	6	7	5	2	4
	小倉勤労者山岳会		73.03	400204	14	14	11	5	6	8
	RKAC		96.04	400208	56	46	43	29	14	41

加盟団体一覧表（2023年11月末日現在）

都道府県	団体名		加盟年月	コード番号	21末 会員数	22末 会員数	23末 会員数	23末 (男性)	23末 (女性)	労山基金 加入者数
	久留米山の会		96.08	400209	20	19	15	7	8	15
	すばる山の会		99.04	400301	11	11	11	4	7	11
	山岳チーム 風はるか		18.03	400303	4	4	4	2	2	4
	山学山遊会		21.10	400304	2	7	8	5	3	8
	田川かたつむり山の会		95.11	400401	16	16	17	10	7	17
	チーム・アース		14.04	400403	6	6	6	3	3	3
	ピナクル山の会		71.11	400601	37	38	40	26	14	43
	福岡勤労者山岳会			400603	46	42	39	27	12	39
	フェニックスマウンテンアリングチーム		84.12	400610	6	7	7	4	3	7
	福岡想山会		86.11	400611	44	44	42	20	22	46
	山岳冒険倶楽部 星と焚火		03.05	400616	7	7	7	3	4	6
	Back Country Club-ef		11.05	400619	5	5	3	2	1	3
	マップ山の会		65.06	400701	26	27	22	10	12	22
	門司勤労者山岳会		720.1	400703	2	2	1	1	0	0
	みどる山の会		82.11	400706	147	145	127	42	85	123
	M o v e (ムーヴ)		98.05	400707	2	2	2	2	0	2
	ゆるパインクラブ		20.01	400802	7	6	8	5	3	5
	若宮山岳会		06.09	400901	1	1	1	1	0	0
佐賀県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			70	70	67	33	34	76
	からつ勤労者山岳会		88.04	410201	25	25	20	10	10	14
	佐賀勤労者山岳会		71.03	410301	45	45	47	23	24	62
長崎県		団体数			8	8	8			8
	小計	会員数			252	240	235	107	128	228
	オレンジハイキングクラブ		75.12	420103	42	41	47	24	23	42
	長崎あゆみハイキングクラブ		97.04	420104	60	58	58	23	35	62
	佐世保こもれびハイキングクラブ		94.08	420301	5	2	2	1	1	2
	長崎東部勤労者山岳会		66.08	420502	26	25	25	9	16	22
	長崎へバルナ山の会		75.06	420505	17	17	16	9	7	15
	長崎南稜山岳会		79.08	420506	19	18	18	7	11	16
	長崎朝霧山の会		84.06	420511	26	33	30	15	15	30
	長崎カルチャー山の会		03.11	420513	57	46	39	19	20	39
熊本県		団体数			6	4	4			3
	小計	会員数			82	62	61	25	36	30
	天草山の会		84.05	430101	3	2	2	1	1	2
脱退	天草アルパインクラブ		88.02	430102	4	脱退	脱退			
	熊本勤労者山岳会		72.06	430201	30	29	28	14	14	17
脱退	熊本山遊会		96.12	430203	13	脱退	脱退			
	人吉球磨ハイキングクラブ		01.08	430601	18	18	18	6	12	0
	八代勤労者山岳会		68.12	430801	14	13	13	4	9	11
大分県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			51	51	52	24	28	52
	大分勤労者山岳会			440101	38	41	42	19	23	42
	大分山歩会			440301	13	10	10	5	5	10
宮崎県		団体数			3	2	2			2
	小計	会員数			47	41	39	23	16	38
	西都山岳会		99.06	450301	27	23	22	10	12	21
	祝子川山岳会		04.10	450601	18	18	17	13	4	17
脱退	比叡R C C		11.11	450602	2	脱退予定	脱退			
鹿児島県		団体数			2	2	2			2
	小計	会員数			90	78	74	30	44	75
	鹿児島勤労者山岳会		67.09	460201	56	49	48	22	26	49
	山坂達者の会		96.11	460801	34	29	26	8	18	26
沖縄県		団体数			1	1	1			1
	小計	会員数			20	20	24	8	16	25
	花いかだ コザ			470601	20	20	24	8	16	25
脱退	フォレストウオーカー			470602	脱退	脱退	脱退			

労山システム入力データより

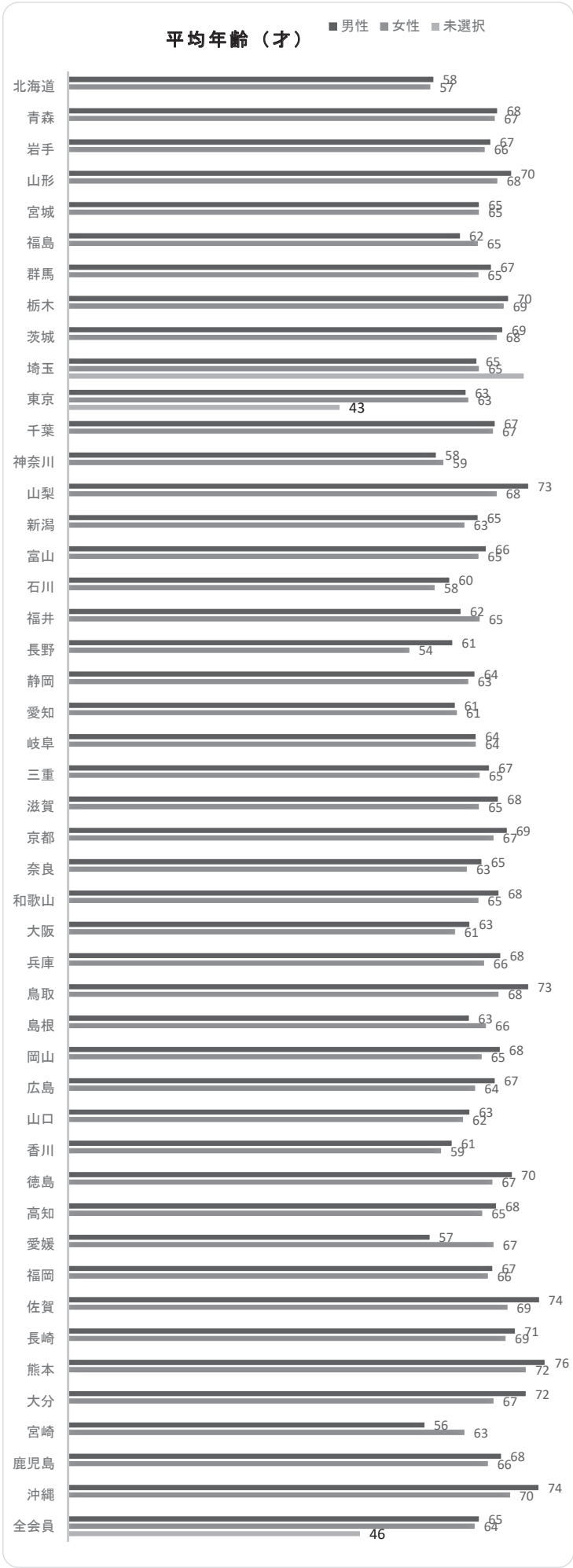
データ数： 20,053 （2024/2/13時点）

※除外＝会員番号5・7・9番代

※除外＝年齢不明、1905年以前生まれ

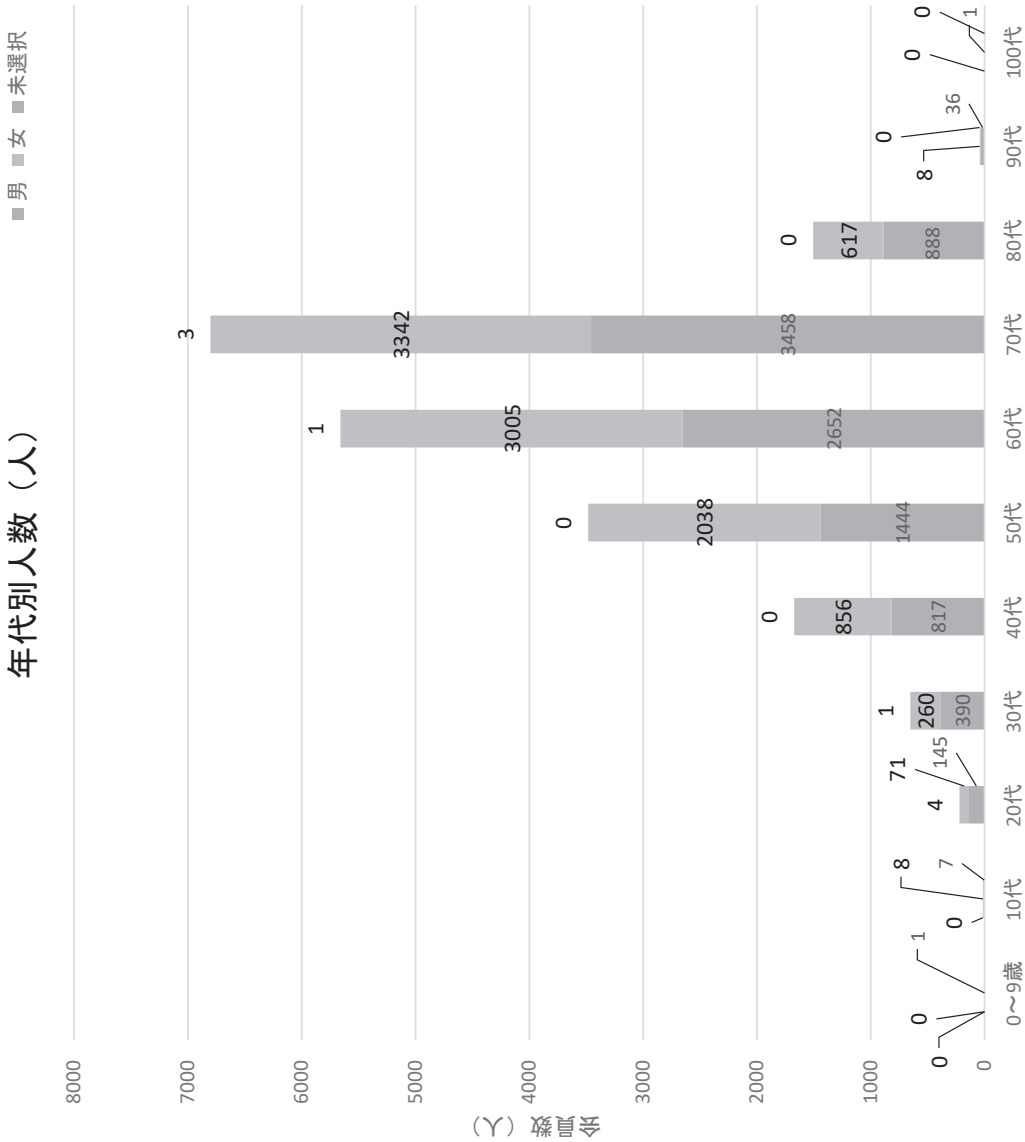
平均年齢（才）

都道府県	男性	女性	未選択	全体
北海道	58	57	-	57
青森	68	67	-	68
岩手	67	66	-	66
山形	70	68	-	69
宮城	65	65	-	65
福島	62	65	-	63
群馬	67	65	-	66
栃木	70	69	-	69
茨城	69	68	-	68
埼玉	65	65	72	65
東京	63	63	43	63
千葉	67	67	-	67
神奈川	58	59	-	59
山梨	73	68	-	70
新潟	65	63	-	64
富山	66	65	-	65
石川	60	58	-	59
福井	62	65	-	63
長野	61	54	-	58
静岡	64	63	-	64
愛知	61	61	-	61
岐阜	64	64	-	64
三重	67	65	-	66
滋賀	68	65	-	66
京都	69	67	-	68
奈良	65	63	-	64
和歌山	68	65	-	66
大阪	63	61	-	62
兵庫	68	66	-	67
鳥取	73	68	-	70
島根	63	66	-	65
岡山	68	65	-	67
広島	67	64	-	66
山口	63	62	-	63
香川	61	59	-	60
徳島	70	67	-	68
高知	68	65	-	66
愛媛	57	67	-	62
福岡	67	66	-	67
佐賀	74	69	-	72
長崎	71	69	-	70
熊本	76	72	-	74
大分	72	67	-	69
宮崎	56	63	-	59
鹿児島	68	66	-	67
沖縄	74	70	-	71
全会員	65	64	46	65



年代別人数 (人)

年代	男	女	未選択
0～9歳	1	0	0
10代	7	8	0
20代	145	71	4
30代	390	260	1
40代	817	856	0
50代	1444	2038	0
60代	2652	3005	1
70代	3458	3342	3
80代	888	617	0
90代	36	8	0
100代	1	0	0
合計	9,839	10,205	9



第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧

No.	氏名	所属団体	申請者役職	申請者氏名
1		道央地区勤労者山岳連盟	理事長	
2		道央地区勤労者山岳連盟	理事長	
3		青森県勤労者山岳連盟	会長	
4		宮城県勤労者山岳連盟	会長	
5		埼玉県勤労者山岳連盟	理事長	
6		埼玉県勤労者山岳連盟	理事長	
7		東京都勤労者山岳連盟	会長	
8		東京都勤労者山岳連盟	会長	
9		千葉県勤労者山岳連盟	理事長	
10		千葉県勤労者山岳連盟	理事長	
11		千葉県勤労者山岳連盟	理事長	
12		富山県勤労者山岳連盟	理事長	
13		長野県勤労者山岳連盟	理事長	
14		静岡県勤労者山岳連盟	会長	
15		静岡県勤労者山岳連盟	会長	
16		岐阜県勤労者山岳連盟	理事長	
17		岐阜県勤労者山岳連盟	理事長	
18		兵庫県勤労者山岳連盟	理事長	
19		兵庫県勤労者山岳連盟	理事長	
20		兵庫県勤労者山岳連盟	理事長	
21		兵庫県勤労者山岳連盟	理事長	
22		兵庫県勤労者山岳連盟	理事長	
23		岡山県勤労者山岳連盟	理事長	
24		長崎県勤労者山岳連盟	会長	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
1		ハイキングクラブ みのりの風	道央	
2		百松山岳会	道央	
3		百松山岳会	道央	
4		函館山楽クラブ	道央	
5		函館山楽クラブ	道央	
6		青森ファミリーハイキングクラブ	青森	
7		八戸勤労者山岳会	青森	
8		八戸勤労者山岳会	青森	
9		石巻山の会	宮城	
10		石巻山の会	宮城	
11		石巻山の会	宮城	
12		朋友会	宮城	
13		朋友会	宮城	
14		朋友会	宮城	
15		朋友会	宮城	
16		朋友会	宮城	
17		朋友会	宮城	
18		朋友会	宮城	
19		太田ハイキングクラブ	群馬	
20		太田ハイキングクラブ	群馬	
21		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
22		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
23		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
24		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
25		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
26		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
27		宇都宮ハイキングクラブ	栃木	
28		上三川ハイキングクラブ	栃木	
29		野木山想会	栃木	
30		野木山想会	栃木	
31		野木山想会	栃木	
32		野木山想会	栃木	
33		野木山想会	栃木	
34		野木山想会	栃木	
35		野木山想会	栃木	
36		野木山想会	栃木	
37		野木山想会	栃木	
38		野木山想会	栃木	
39		野木山想会	栃木	
40		野木山想会	栃木	
41		野木山想会	栃木	
42		野木山想会	栃木	
43		野木山想会	栃木	
44		野木山想会	栃木	
45		野木山想会	栃木	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

N0.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
46		野木山想会	栃木	
47		マロニエハイキングクラブ	栃木	
48		マロニエハイキングクラブ	栃木	
49		マロニエハイキングクラブ	栃木	
50		大宮勤労者山岳会	埼玉	
51		大宮勤労者山岳会	埼玉	
52		大宮勤労者山岳会	埼玉	
53		北本山の会	埼玉	
54		北本山の会	埼玉	
55		北本山の会	埼玉	
56		北本山の会	埼玉	
57		北本山の会	埼玉	
58		北本山の会	埼玉	
59		秩父アルペンクラブ	埼玉	
60		秩父アルペンクラブ	埼玉	
61		秩父アルペンクラブ	埼玉	
62		秩父アルペンクラブ	埼玉	
63		秩父アルペンクラブ	埼玉	
64		秩父アルペンクラブ	埼玉	
65		秩父アルペンクラブ	埼玉	
66		新座山の会	埼玉	
67		新座山の会	埼玉	
68		深谷こまくさ山の会	埼玉	
69		深谷こまくさ山の会	埼玉	
70		深谷こまくさ山の会	埼玉	
71		三郷山の会	埼玉	
72		八王子おおるり山の会	東京	
73		八王子おおるり山の会	東京	
74		八王子おおるり山の会	東京	
75		八王子おおるり山の会	東京	
76		八王子おおるり山の会	東京	
77		八王子おおるり山の会	東京	
78		八王子おおるり山の会	東京	
79		八王子おおるり山の会	東京	
80		八王子おおるり山の会	東京	
81		八王子おおるり山の会	東京	
82		杉並山の会	東京	
83		杉並山の会	東京	
84		杉並山の会	東京	
88		品川山の会 さんかくてん	東京	
89		品川山の会 さんかくてん	東京	
90		石神井山の会	東京	
91		石神井山の会	東京	
92		東京みなと山の会	東京	
93		東京みなと山の会	東京	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
94		東京みなと山の会	東京	
95		東京みなと山の会	東京	
96		東京みなと山の会	東京	
97		多摩みどり山遊会	東京	
98		練馬山の会	東京	
99		練馬山の会	東京	
100		練馬山の会	東京	
101		野火止山の会	東京	
102		野火止山の会	東京	
103		野火止山の会	東京	
104		コスモス山の会	東京	
105		コスモス山の会	東京	
106		コスモス山の会	東京	
107		めぐろ山の会	東京	
108		めぐろ山の会	東京	
109		町田グlaus山の会	東京	
110		町田グlaus山の会	東京	
111		町田グlaus山の会	東京	
112		町田グlaus山の会	東京	
113		町田グlaus山の会	東京	
114		かがりび山の会	千葉	
115		かがりび山の会	千葉	
116		岳人あびこ	千葉	
117		ちば山の会	千葉	
118		ちば山の会	千葉	
119		ちば山の会	千葉	
120		ちば山の会	千葉	
121		東葛山の会	千葉	
122		東葛山の会	千葉	
123		ふわくハイキングサークル	千葉	
124		ふわくハイキングサークル	千葉	
125		ふわくハイキングサークル	千葉	
126		ふわくハイキングサークル	千葉	
127		ふわくハイキングサークル	千葉	
128		富山勤労者山岳会	富山	
129		富山勤労者山岳会	富山	
130		佐久山の会	長野	
131		佐久山の会	長野	
132		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
133		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
134		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
135		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
136		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
137		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
138		伊豆ハイキングクラブ	静岡	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
139		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
140		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
141		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
142		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
143		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
144		伊豆ハイキングクラブ	静岡	
145		浜松勤労者山岳会	静岡	
146		浜松勤労者山岳会	静岡	
147		浜松勤労者山岳会	静岡	
148		浜松勤労者山岳会	静岡	
149		三島勤労者山岳会	静岡	
150		大垣勤労者山岳会	岐阜	
151		大垣勤労者山岳会	岐阜	
152		大垣勤労者山岳会	岐阜	
153		多治見勤労者山岳会	岐阜	
154		多治見勤労者山岳会	岐阜	
155		多治見勤労者山岳会	岐阜	
156		みのハイキングクラブ	岐阜	
157		みのハイキングクラブ	岐阜	
158		みのハイキングクラブ	岐阜	
159		みのハイキングクラブ	岐阜	
160		みのハイキングクラブ	岐阜	
161		みのハイキングクラブ	岐阜	
162		みのハイキングクラブ	岐阜	
163		みのハイキングクラブ	岐阜	
164		みのハイキングクラブ	岐阜	
165		みのハイキングクラブ	岐阜	
166		湖南岳友会	滋賀	
167		京都洛中勤労者山岳会	京都	
168		京都洛中勤労者山岳会	京都	
169		京都洛中勤労者山岳会	京都	
170		WAO亀岡	京都	
171		WAO亀岡	京都	
172		京都右京勤労者山岳会	京都	
173		福知山山の会	京都	
174		ハイキングクラブ舞鶴山遊会	京都	
175		ハイキングクラブ舞鶴山遊会	京都	
176		京都田辺山友会	京都	
177		京都田辺山友会	京都	
178		京都田辺山友会	京都	
179		京都田辺山友会	京都	
180		奈良勤労者山岳会	奈良	
181		奈良勤労者山岳会	奈良	
182		紀峰山の会	和歌山	
183		紀峰山の会	和歌山	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
184		紀峰山の会	和歌山	
185		紀峰山の会	和歌山	
186		紀峰山の会	和歌山	
187		紀峰山の会	和歌山	
188		紀峰山の会	和歌山	
189		紀州山友会	和歌山	
190		紀州山友会	和歌山	
191		紀州山友会	和歌山	
192		紀州山友会	和歌山	
193		みちくさハイキングクラブ	和歌山	
194		みちくさハイキングクラブ	和歌山	
195		きたろうハイキングクラブ	大阪	
196		きたろうハイキングクラブ	大阪	
197		きたろうハイキングクラブ	大阪	
198		きたろうハイキングクラブ	大阪	
199		吹田勤労者山岳会	大阪	
200		吹田勤労者山岳会	大阪	
201		吹田勤労者山岳会	大阪	
202		吹田勤労者山岳会	大阪	
203		吹田勤労者山岳会	大阪	
204		高槻勤労者山岳会	大阪	
205		高槻勤労者山岳会	大阪	
206		ハイキングクラブ げんごろう	大阪	
207		ハイキングクラブ げんごろう	大阪	
208		伊丹勤労者山岳会	兵庫	
209		尼崎ハイキングクラブ	兵庫	
210		明石山の会	兵庫	
211		明石山の会	兵庫	
212		甲山勤労者山岳会	兵庫	
213		甲山勤労者山岳会	兵庫	
214		神戸勤労者山岳会	兵庫	
215		神戸港山の会	兵庫	
216		神戸中央山の会	兵庫	
217		垂水勤労者山岳会	兵庫	
218		垂水勤労者山岳会	兵庫	
219		垂水勤労者山岳会	兵庫	
220		垂水勤労者山岳会	兵庫	
221		垂水勤労者山岳会	兵庫	
222		垂水勤労者山岳会	兵庫	
223		西宮山岳会	兵庫	
224		西宮山岳会	兵庫	
225		西宮山岳会	兵庫	
226		西宮山岳会	兵庫	
227		西宮山岳会	兵庫	
228		西宮山岳会	兵庫	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
229		西宮山岳会	兵庫	
230		西宮明昭山の会	兵庫	
231		西宮明昭山の会	兵庫	
232		西宮明昭山の会	兵庫	
233		西宮明昭山の会	兵庫	
234		西宮明昭山の会	兵庫	
235		西宮明昭山の会	兵庫	
236		西宮明昭山の会	兵庫	
237		西宮明昭山の会	兵庫	
238		西宮明昭山の会	兵庫	
239		西宮明昭山の会	兵庫	
240		西宮明昭山の会	兵庫	
241		西宮明昭山の会	兵庫	
242		西宮明昭山の会	兵庫	
243		西宮明昭山の会	兵庫	
244		西宮明昭山の会	兵庫	
245		西宮明昭山の会	兵庫	
246		西宮明昭山の会	兵庫	
247		西宮明昭山の会	兵庫	
248		西宮明昭山の会	兵庫	
249		西宮明昭山の会	兵庫	
250		西宮明昭山の会	兵庫	
251		西宮明昭山の会	兵庫	
252		西宮明昭山の会	兵庫	
253		西宮明昭山の会	兵庫	
254		北摂山の会	兵庫	
255		北摂山の会	兵庫	
256		北摂山の会	兵庫	
257		H C はりま	兵庫	
258		H C はりま	兵庫	
259		摩耶山友会	兵庫	
260		摩耶山友会	兵庫	
261		摩耶山友会	兵庫	
262		山の会かじか	兵庫	
263		山の会かじか	兵庫	
264		山の会かじか	兵庫	
265		倉敷ハイキング倶楽部	岡山	
266		クラブMONTATA	岡山	
267		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
268		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
269		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
270		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
271		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
272		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
273		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
274		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
275		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
276		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
277		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
278		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
279		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
280		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
281		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
282		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
283		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
284		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
285		山陽カルチャーマウンテンクラブ	岡山	
286		玉野ハイキング同好会	岡山	
287		玉野ハイキング同好会	岡山	
288		みまさか山の会	岡山	
289		広島勤労者ハイキングクラブやまぼうし	広島	
290		観音寺ハイキングクラブ	香川	
291		観音寺ハイキングクラブ	香川	
292		丸亀しわく山の会	香川	
293		善通寺山の会	香川	
294		善通寺山の会	香川	
295		高知勤労者山岳会	高知	
296		かめのこ山の会	高知	
297		大川山人会	福岡	
298		大川山人会	福岡	
299		大川山人会	福岡	
300		大川山人会	福岡	
301		大牟田ハイキングクラブ	福岡	
302		大牟田ハイキングクラブ	福岡	
303		あだると山の会	福岡	
304		あだると山の会	福岡	
305		あだると山の会	福岡	
306		あだると山の会	福岡	
307		あだると山の会	福岡	
308		あだると山の会	福岡	
309		あだると山の会	福岡	
310		あだると山の会	福岡	
311		あだると山の会	福岡	
312		あだると山の会	福岡	
313		あだると山の会	福岡	
314		あだると山の会	福岡	
315		田川かたつむり山の会	福岡	
316		田川かたつむり山の会	福岡	
317		みどる山の会	福岡	
318		みどる山の会	福岡	

第36回総会栄誉功労章贈呈者一覧【永年会員】

NO.	氏名	所属団体	地方連盟	申請者氏名
319		みどる山の会	福岡	
320		みどる山の会	福岡	
321		みどる山の会	福岡	
322		みどる山の会	福岡	
323		みどる山の会	福岡	
324		みどる山の会	福岡	
325		長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	
326		長崎あゆみハイキングクラブ	長崎	
327		大分勤労者山岳会	大分	
328		大分山歩会	大分	
329		大分山歩会	大分	
330		鹿児島勤労者山岳会	鹿児島	
331		鹿児島勤労者山岳会	鹿児島	
332		山坂達者の会	鹿児島	
333		山坂達者の会	鹿児島	
334		山坂達者の会	鹿児島	
335		山坂達者の会	鹿児島	
336		山坂達者の会	鹿児島	
337		山坂達者の会	鹿児島	
338		山坂達者の会	鹿児島	
339		山坂達者の会	鹿児島	
340		山坂達者の会	鹿児島	
341		山坂達者の会	鹿児島	
342		山坂達者の会	鹿児島	
343		山坂達者の会	鹿児島	
344		山坂達者の会	鹿児島	
345		山坂達者の会	鹿児島	
346		山坂達者の会	鹿児島	

2023年度 事故の概況

事故一報（2023年1月1日～12月31日）より

1. 全国過去10年間の事故の推移(2014～2023)

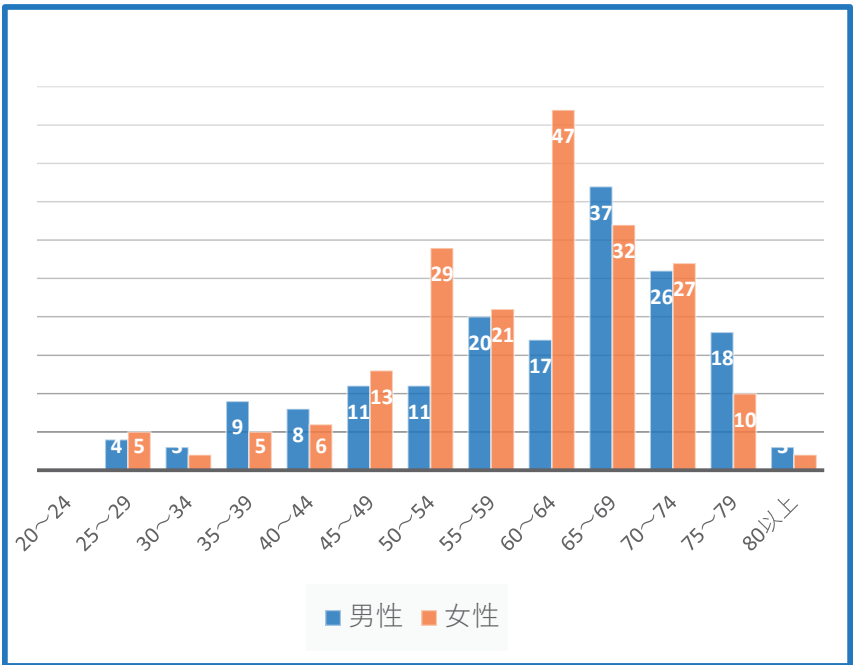
年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
事故者数	316	288	299	312	313	329	236	269	334	366
死亡行方不明	10	12	8	6	10	4	5	4	7	7



1995年(29年間)からの統計上で事故者数が過去最多となる。

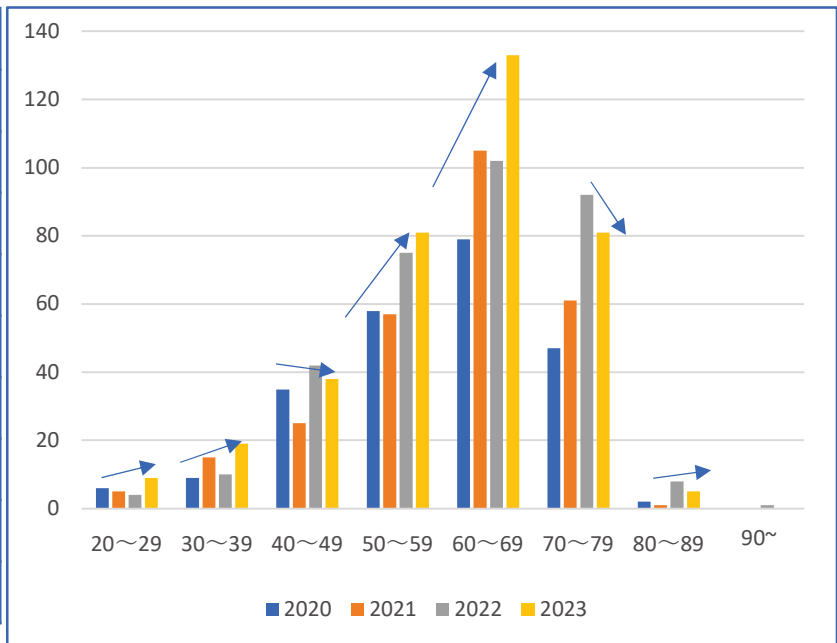
2. 年代別・男女別事故者の状況

年代	男	女	小計
20～24	0	0	0
25～29	4	5	9
30～34	3	2	5
35～39	9	5	14
40～44	8	6	14
45～49	11	13	24
50～54	11	29	40
55～59	20	21	41
60～64	17	47	64
65～69	37	32	69
70～74	26	27	53
75～79	18	10	28
80以上	3	2	5
合計	167	199	366



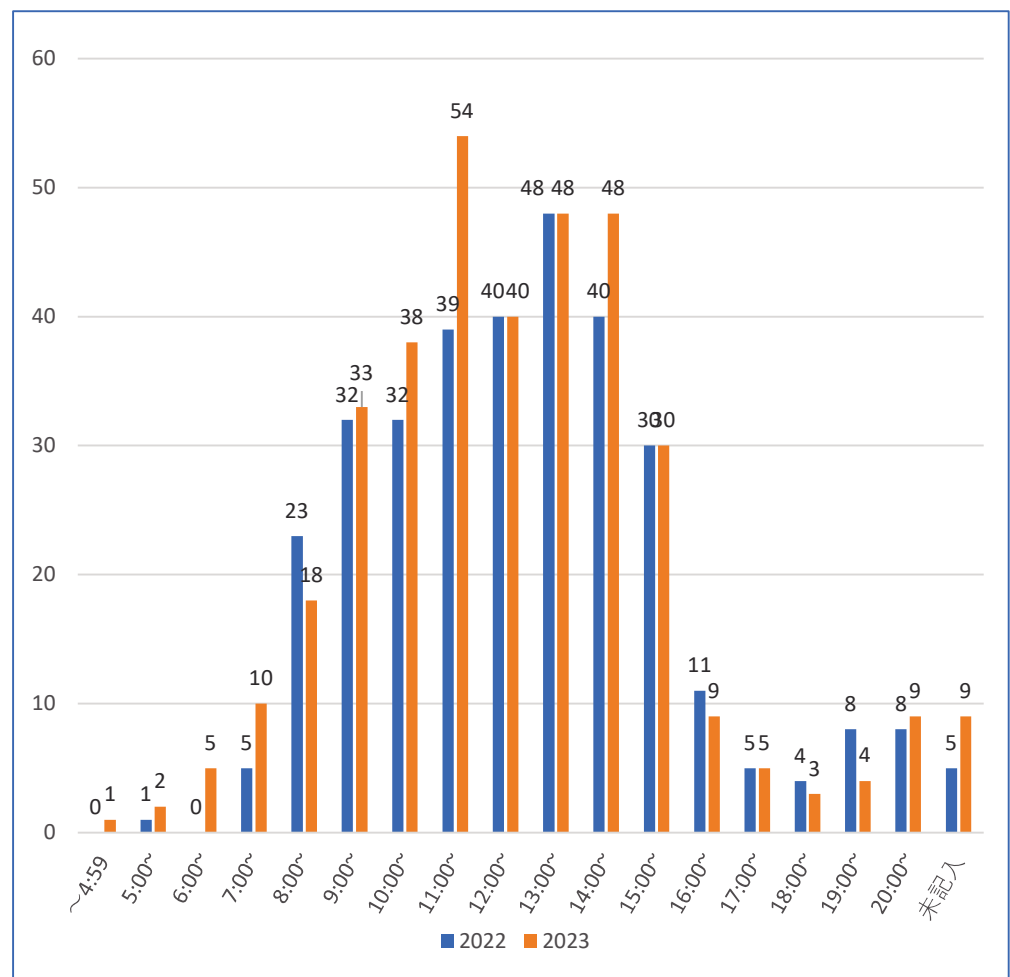
3.2020年～2023年までの年代別

年代	2020	2021	2022	2023
20～29	6	5	4	9
30～39	9	15	10	19
40～49	35	25	42	38
50～59	58	57	75	81
60～69	79	105	102	133
70～79	47	61	92	81
80～89	2	1	8	5
90～	0	0	1	0
合計	236	269	334	366



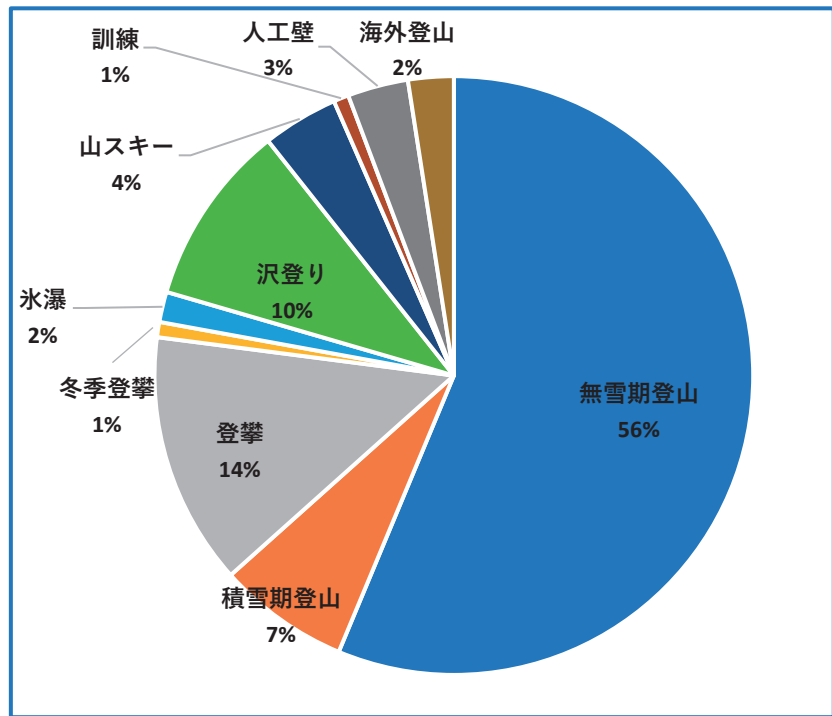
4.時間帯別事故者の状況

時間帯	2022	2023
～4:59	0	1
5:00～	1	2
6:00～	0	5
7:00～	5	10
8:00～	23	18
9:00～	32	33
10:00～	32	38
11:00～	39	54
12:00～	40	40
13:00～	48	48
14:00～	40	48
15:00～	30	30
16:00～	11	9
17:00～	5	5
18:00～	4	3
19:00～	8	4
20:00～	8	9
未記入	5	9
人数	334	366



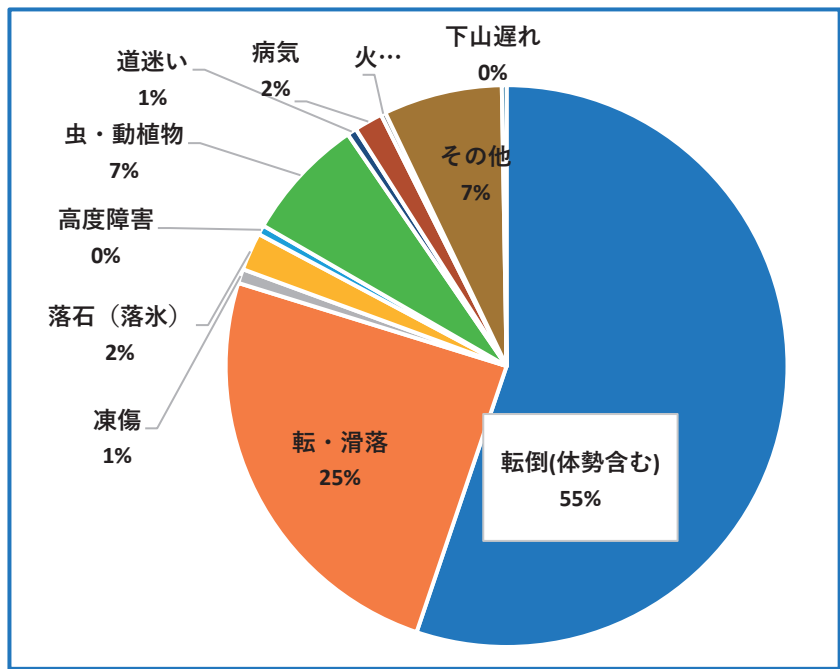
5.形態別事故者の状況

山行状態	事故者数
無雪期登山	206
積雪期登山	26
登攀	50
冬季登攀	3
氷瀑	6
沢登り	36
山スキー	15
訓練	3
人工壁	12
海外登山	2
海外登攀	4
海外トレッキング	3
合計	366



6.原因別事故の状況

原因名	事故者数
転倒(体勢含む)	202
転・滑落	90
凍傷	3
落石(落水)	8
高度障害	2
虫・動植物	26
道迷い	2
病気	6
火傷	1
その他	25
下山遅れ	1
合計	366

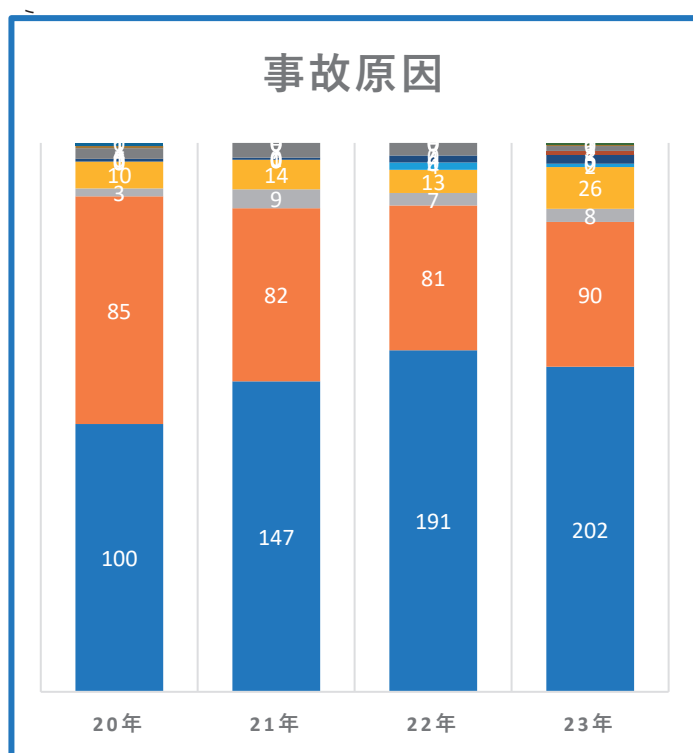


6・2..原因別事故の状況と転倒事故の男女差

	転倒 (体勢含む)	転・滑落 (墜落含む)	落石	虫・ 動植物	高度 障害	雪崩	病気	道迷い	凍傷	火傷	荒天	下山 遅れ	その他	合計
20年	100	85	3	10	0	0	1	0	4	1	1	0	34	239
21年	147	82	9	14	0	0	1	0	7	0	0	0	9	269
22年	191	81	7	13	4	0	4	0	7	0	0	0	27	334
23年	202	90	8	26	2	0	6	2	3	1	0	1	25	366

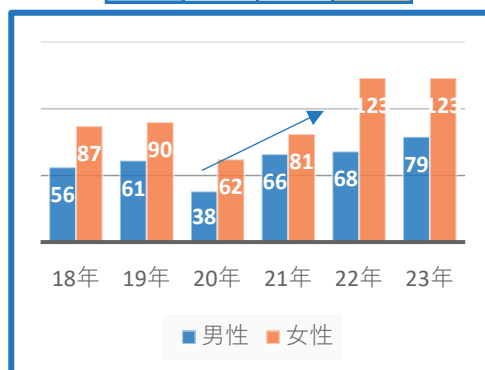
※その他は、下山中や下山後に痛みが出た事例、特定の原因が不明な事例、同行者の滑落に巻き込まれた事例等が含まれる。

※虫・動植物は、マダニ14、蜂4、ヒル1、不明1、枝・竹等6が含まれる。

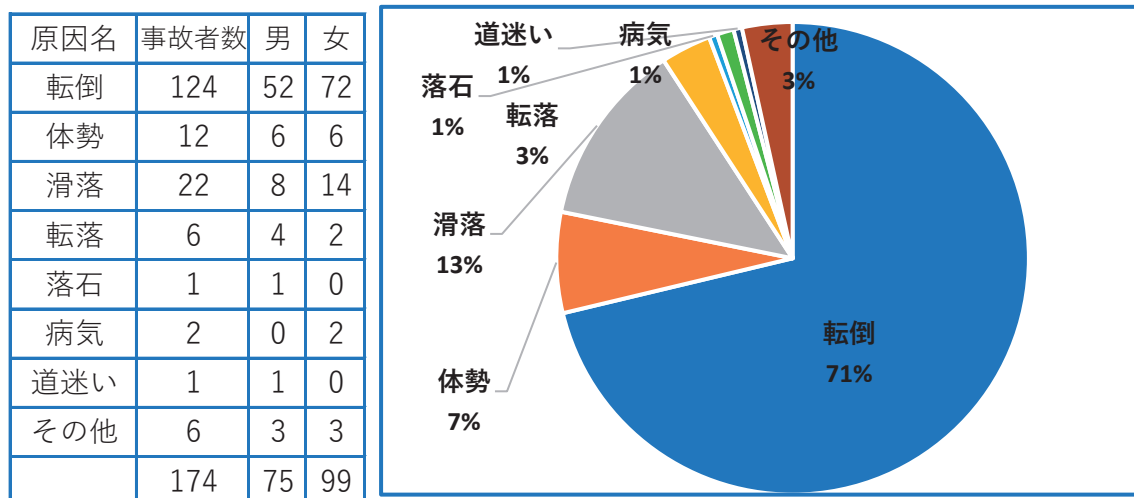


転倒による男女差

	転倒	男性	女性
18年	143	56	87
19年	151	61	90
20年	100	38	62
21年	147	66	81
22年	191	68	123
23年	202	79	123



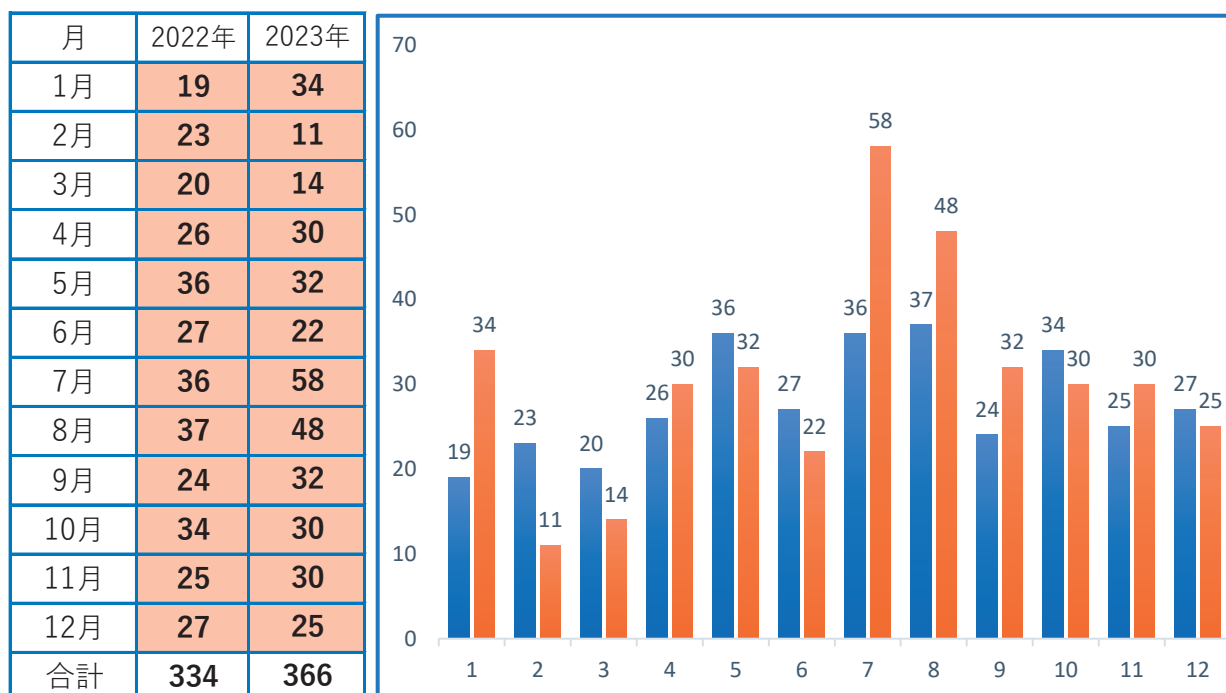
7.下山時の事故



※2023年の事故者数366人中、下山時での事故は174人(48%)

174人中の転倒事故は124人(71%)

8.月間別事故の状況



連盟別事故者数

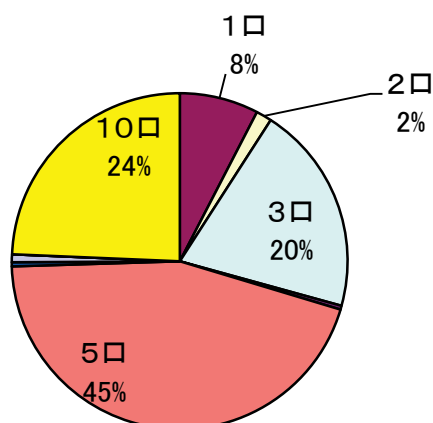
連盟名	事故者数	連盟名	事故者数	連盟名	事故者数
東京都	74 ①	和歌山県	8	新潟県	3
2366	3.13%	335	2.39%	228	1.32%
道央地区	34	群馬県	7	滋賀県	3
726	4.68%	323	2.17%	166	1.81%
兵庫県	32 ①	広島県	6 ①	奈良県	3
1991	1.61%	261	2.30%	222	1.35%
埼玉県	23 ①	長崎県	6	茨城県	2
589	3.90%	240	2.50%	130	1.54%
神奈川県	19	岩手県	5	高知県	2
509	3.73%	244	2.05%	97	2.06%
京都府	17	徳島県	5	愛媛県	2
914	1.86%	213	2.35%	30	6.67%
石川県	14 ①	道東地区	4	鹿児島県	2
263	5.32%	84	4.76%	78	2.56%
大阪府	14 ①	宮城県	4	山梨県	1
973	1.44%	136	2.94%	80	1.25%
岡山県	14	長野県	4	富山県	1
851	1.65%	253	1.58%	113	0.88%
愛知県	13 ①	岐阜県	4	沖縄県	1
870	1.49%	294	1.36%	20	5.00%
千葉県	10	香川件	4		
628	1.59%	261	1.53%		
福岡県	10	青森県	3		
730	1.37%	163	1.84%		
静岡県	9	栃木県	3		
375	2.40%	370	0.81%		
				合計	366
				16647	2.20%

※赤丸数字は死亡者数、パーセンテージは組織数に対する事故率。

労山基金 <登録口数と交付件数および交付金額>

2023年12月31日 労山基金交付金データより

交付件数



交付件数／交付人数

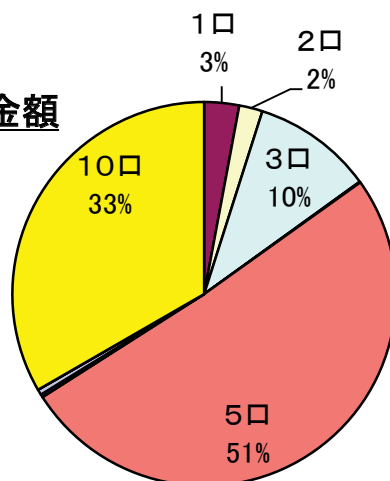
口数	交付件数	件数の比率	交付人数
0口	0	0.0%	0
1口	20	7.6%	20
2口	4	1.5%	4
3口	53	20.2%	53
4口	1	0.4%	1
5口	118	44.9%	118
6口	1	0.4%	1
7口	2	0.8%	2
8口	0	0.0%	0
9口	0	0.0%	0
10口	64	24.3%	64
計	263		263

(重複あり)

交付金額

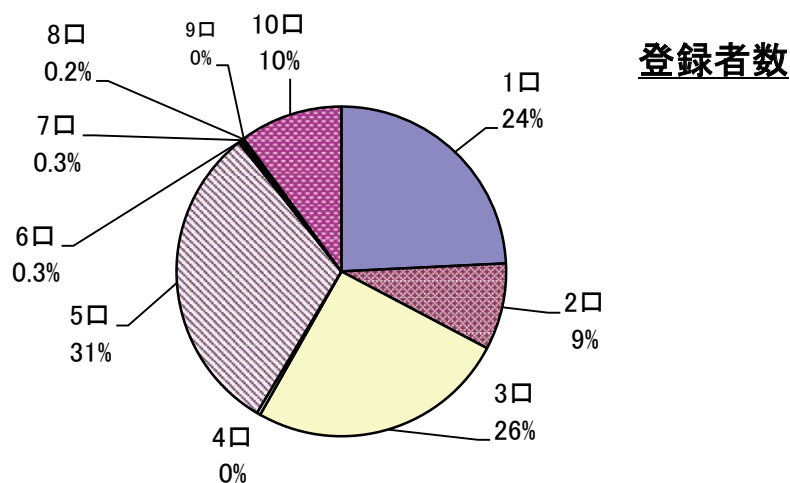
口数	交付金額	金額の比率
0口	0	0.0%
1口	887,880	2.9%
2口	598,400	2.0%
3口	3,072,000	10.2%
4口	17,600	0.1%
5口	15,386,431	50.8%
6口	72,000	0.2%
7口	140,000	0.5%
8口	0	0.0%
9口	0	0.0%
10口	10,086,529	33.3%
計	30,260,840	

交付金額



労山基金 <2023年 登録口数と登録者数および寄付金額>

2023年12月31日 労山基金・寄付金データより



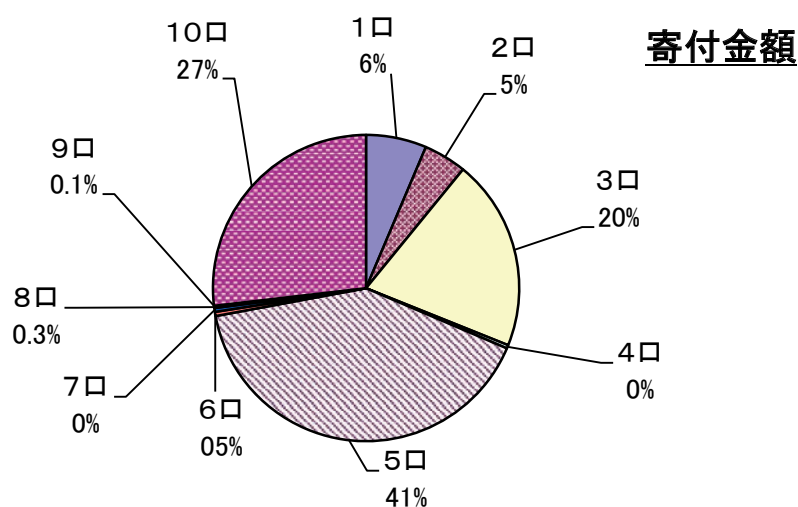
登録件数 15,472 人

口数	登録者数	比率
1口	3,748	24.2%
2口	1,316	8.5%
3口	3,943	25.5%
4口	53	0.3%
5口	4,757	30.7%
6口	43	0.3%
7口	32	0.2%
8口	18	0.1%
9口	0	0.0%
10口	1,562	10.1%
計	15,472	

※脱退会を含む

寄付金額 57,985,200 円

口数	寄付金額	比率
1口	3,691,200	6.4%
2口	2,623,200	4.5%
3口	11,712,300	20.2%
4口	209,600	0.4%
5口	23,560,400	40.6%
6口	255,000	0.4%
7口	224,000	0.4%
8口	144,000	0.2%
9口	0	0.00%
10口	15,565,500	26.8%
	57,985,200	



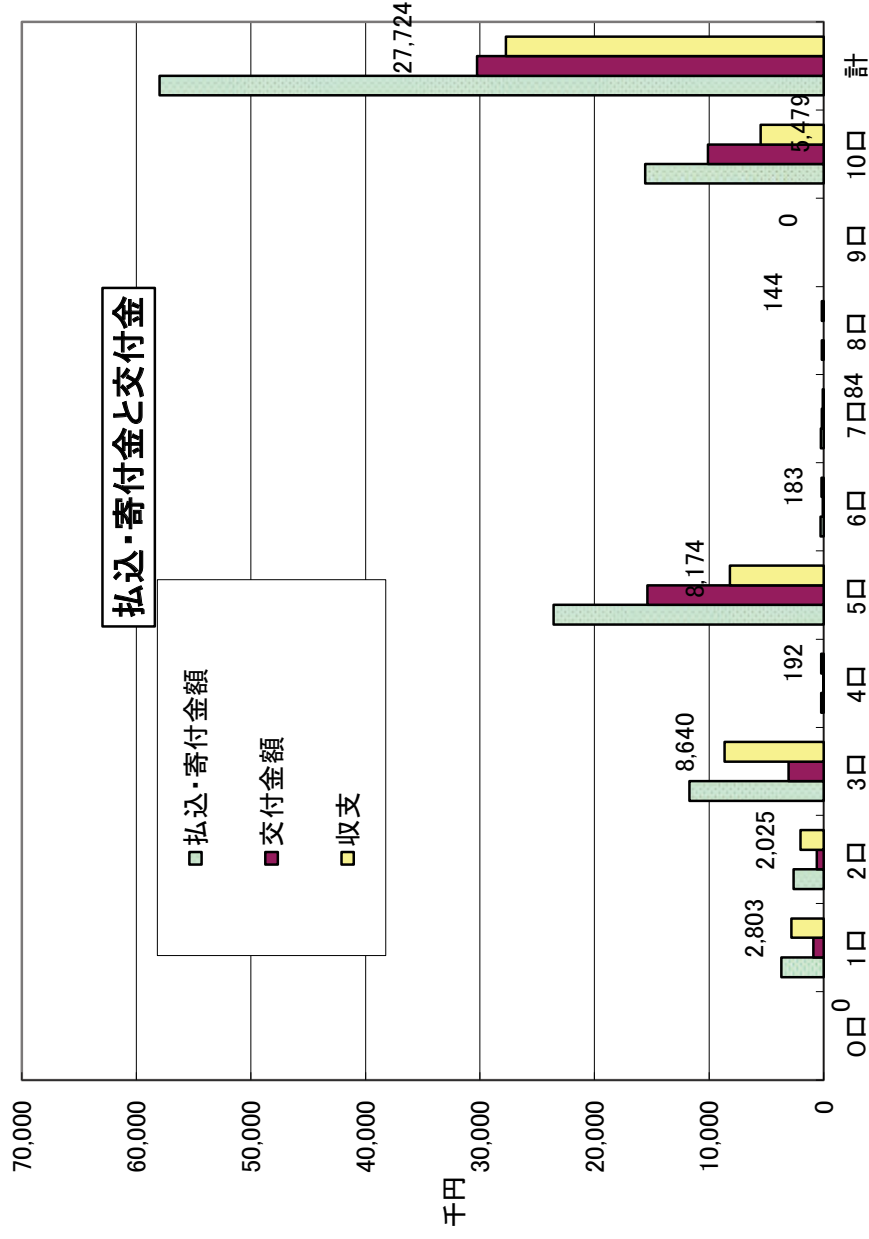
*寄付金額のグラフは、月割りの新規登録の場合も定額計算となっています。

労山基金 <口数ごとの寄付金額と交付金額>

2023年12月31日労山基金・寄付金及び交付金データより

口数	払込・寄付金額	交付金額	収支
0口	0	0	0
1口	3,691,200	887,880	2,803,320
2口	2,623,200	598,400	2,024,800
3口	11,712,300	3,072,000	8,640,300
4口	209,600	17,600	192,000
5口	23,560,400	15,386,431	8,173,969
6口	255,000	72,000	183,000
7口	224,000	140,000	84,000
8口	144,000	0	144,000
9口	0	0	0
10口	15,565,500	10,086,529	5,478,971
計	57,985,200	30,260,840	27,724,360

※寄付金額は2023年度の申込みから算出



交付金額の分析

2023年12月31日 労山基金・交付金データより

山行形態	無雪期登山	積雪期登山	登攀	冬季登攀	沢登り	氷瀑	人工壁	山スキー・スノー・カナン	海外登山	海外トレーニング・スキー	訓練	フリークライミング	その他	計
救助・捜索 交付金額	218,107	133,720	0	0	513,160	232,180	0	0	3,125,562	1,070,101	0	0	0	5,292,830
件数	3件	1件	0件	0件	2件	3件	0件	0件	4件	2件	0件	0件	0件	15件
人数	3人	1人	0人	0人	2人	3人	0人	0人	4人	2人	0人	0人	0人	15人
救助捜索交付額の比率	4%	3%	0%	0%	10%	4%	0%	0%	59%	20%	0%	0%	0%	
救助捜索交付の人数の比率	20%	7%	0%	0%	13%	20%	0%	0%	27%	13%	0%	0%	0%	
入通院 交付金額	11,167,200	1,468,000	3,488,800	244,000	2,335,600	536,000	850,000	1,795,600	64,000	68,000	192,400	4,800	6,000	22,220,400
件数	145件	19件	34件	4件	21件	4件	7件	12件	2件	3件	5件	1件	1件	258件
人数	145人	19人	34人	4人	21人	4人	7人	12人	2人	3人	5人	1人	1人	258人
入通院交付額の比率	50%	7%	16%	1%	11%	2%	4%	8%	0%	0%	1%	0%	0%	
入通院交付の人数の比率	56%	7%	13%	2%	8%	2%	3%	5%	1%	1%	2%	0%	0%	
合計 交付金額	11,385,307	1,601,720	3,488,800	244,000	2,848,760	768,180	850,000	1,795,600	3,189,562	1,138,101	192,400	4,800	6,000	27,513,230
比率	41%	6%	13%	1%	10%	3%	3%	7%	12%	4%	1%	0%	0%	

※交付特典額・団体交付額を含まない
※救援交付・死亡交付を含まない

交付総額

交付事故件数	交付総人数	交付総金額
263	263	30,260,840

救助・捜索交付

件数	人数	金額
15	15	5,292,830

入通院交付

件数	人数	金額
260	259	22,220,400

交付の特典

件数	人数	金額
45	45	4,568,000

※救助・捜索交付なし。通常交付との重複あり

うち公開山行(見舞金)

件数	人数	金額
0	0	0

うち、死亡・行方不明の交付分析

死亡・行方不明の件数

交付事故件数	交付人数	交付総額
6	6	6,588,907

※救助捜索費・特典交付を含む

死亡・行方不明の救助・捜索交付

件数	人数	金額
2	2	188,107

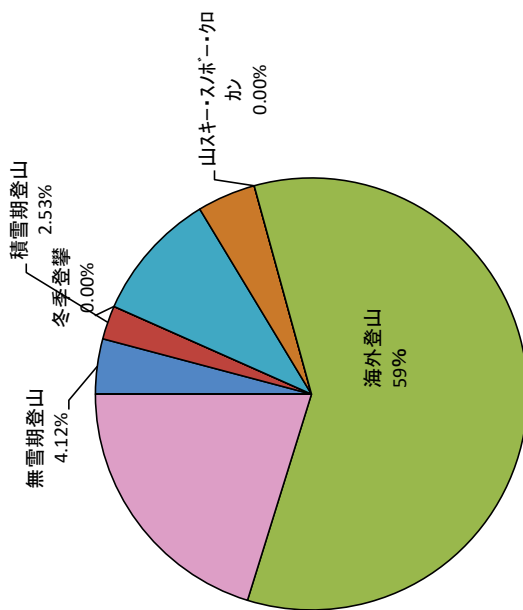
死亡交付

件数	人数	金額
6	6	6,400,800

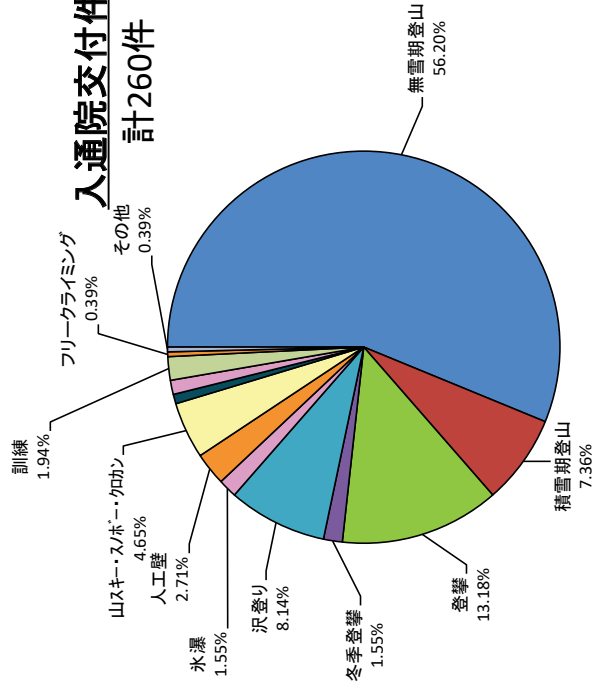
※特典交付を含む

救助・搜索交付金額

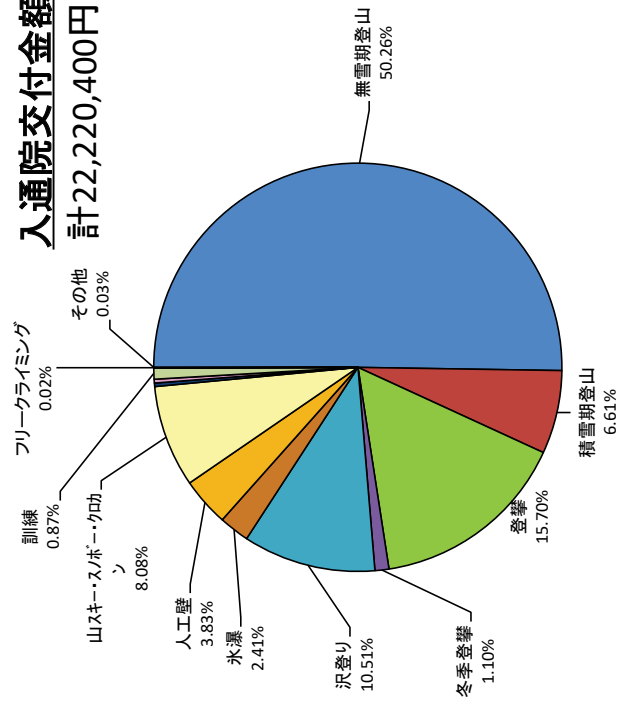
15件15名 5,292,830円



入通院交付件数 計260件



入通院交付金額 計22,220,400円



趣意書検討委員会報告

今日の私たちが活動するうえで、その考え方の指針となっている趣意書は 1978 年 2 月の第 13 回総会で採択されたもの、労山創立から 18 年後のことである。創立の 1960 年からその間は創立時に発表された趣意書のまま 1963 年には「日本勤労者山岳連盟」となり全国各地で新たな山岳会が組織に加わり拡大していった。創立から 10 年経った 1970 年 4 月の第 7 回総会で趣意書の見直しを目的に「趣意書検討委員会」が設置され、1975 年 12 月に「趣意書起草委員会」が発足、1976 年 2 月の第 12 回総会で新しい（現在の）趣意書の”仮案”が提案された。その後、2 年間の検討を経て第 13 回総会を迎え現在の趣意書となった。

創立時の趣意書の特徴は「登山の正しい大衆化」を唱導していることが挙げられる。その正しい登山とは健全なスポーツとして盛んになっていく中、増える遭難事故、勤労者のおかれている経済条件、時間的條件、登山に対する誤った考え方と登山者組織の在り方など、これら勤労者のための新しい登山運動を提起したのが創立時の趣意書である。

10 年後に見直しの動きが始まったのは、組織の急速な成長と活動の多様な発展を反映したものだ。連盟となった当時わずか 5 山岳会、数百名の会員が 1969 年には 22 都道府県、214 団体、4,703 名まで成長し組織が大きくなっただけでなく、登山の活発化やリーダー育成、登山祭典の開催や自然保護の取り組みなど全国各地で展開される活動も多面的になっていた。趣意書を見直そうという動きは創立からの 10 年にわたる取り組みを総括し、創立時の趣意書の立場を理論的に深め新しい活動課題を提起し進めている。（深野一郎（元全国連盟会長）著「これまでの登山、これからの登山」（2006 年 1 月発行）より「日本勤労者山岳連盟の趣意書を考える」を参照）

この経過から分かるように現在の趣意書となって 46 年が過ぎた。今日まで見直されず活動の根拠を示すものとして掲げられてきたのは、その完成度が高く当時からの意欲的な意思が力強く表されたものであることは言うまでもない。しかし近年の登山をめぐる社会情勢や自然環境の問題、組織の減少などあらゆる面で変化し続け趣意書に掲げられている「権利としての登山」「登山の多様な発展」「海外登山の普及」「遭難事故防止」「自然を守る」の 5 つが持つ意味も変化しているといえる。

そこで理事会は趣意書検討委員会を設置、これまでの活動を総括し将来へ向け労山が強固に発展し続けるため現在の趣意書を見直し、将来へ向け全会員が理解を深められる趣意書の在り方を検討し始めている。現在の登山をめぐる社会情勢、登山環境などを整理し趣意書に書かれている言葉一つ一つと照らし合わせ、将来の世代に繋げる趣意書の提案に向けて今後は理事会へ提言し、その後全国の皆さまへ指し示すことを目指す。

日本勤労者山岳連盟趣意書

わが国の近代登山は、すでに 80 年近い歴史を持っている。その創立期に活躍したのは、社会的・経済的に恵まれた青年たちであったが、1930 年代(昭和初期)には国民的なスポーツ・レクリエーションとして発展する道をたどりはじめていた。だが、登山の正常な発展は、軍国主義の支配と侵略戦争の拡大によって著しく阻害された。

戦後、わが国の登山はかつてない発展の時期をむかえた。社会の民主的変革をめざす諸運動の高揚とその成果が、文化・スポーツの分野でも新しい発展をうながしたからである。だが、国や自治体、既存の山岳団体はその新しい状況に有効に対応することができなかった。登山の新しい発展を担うべき新しい理念と組織が求められたのである。

1960 年(昭和 35 年)、登山を愛好する進歩的な人々によって「勤労者山岳会」が結成され、勤労者による新しい登山運動が提唱された。その運動は短期間に全国に広がり、1963 年、「日本勤労者山岳連盟」が結成されるに至った。

「日本勤労者山岳連盟」は、わが国の登山の優れた伝統を継承するとともに創造的な活動を展開し、登山の発展に力を尽くしてきた。そして今日、日本の登山界のなかで揺るがぬ地歩をきざしている。

1. 権利としての登山

今日、登山の真の担い手は勤労者である。したがって勤労者が束縛されているさまざまな社会的制約から解放されないかぎり、登山の真の発展はあり得ない。

登山を楽しむためには、賃金、労働時間など労働条件の改善が不可欠の条件である。また国や自治体による登山者教育、山小屋建設、登山道整備、交通体系の確立など、さまざまな政策の確立が必要である。それらはヨーロッパ諸国にくらべ、わが国ではひどく立ち遅れている。そればかりでなく、国や自治体あるいは企業のなかに勤労者の自主的な文化・スポーツ活動にたいする偏見や敵意がいまなお温存されている。勤労者が求めているのは、「官製」「社製」などの恩恵的にあたえられる文化・スポーツではない。自らの要求に基づく自ら自身のための文化・スポーツである。

すべての国民は”人間らしく成長し、人間らしく生きる権利”を持っている。登山をはじめ文化・スポーツは、その権利の重要な構成部分である。国や自治体はその権利を保障する義務がある。それを実現するため登山者は、広く国民との共同行動を発展させるための力をつくさなければならない。

2. 登山の多様な発展

わが国の自然は美しく豊かである。山と高原、溪谷、森林、雪渓、岩壁、そして四季それぞれの変化—それは多様な登山を発展させる自然条件である。そればかりでなく、古い時代に成立した山岳宗教をはじめ、さまざまな文化的影響を受けてわが国独

特の登山が形成されてきた。今日、登山は国民に最も親しまれるスポーツ・レクリエーションとして多様な形で発展している。

最近における経済の「高度成長」とそのもとでの都市人口の急激な増加は、人間と自然の結びつきを弱め、精神と肉体を損傷した。豊かな自然のなかで生活したいという願いは、健康を守ろうとする意識の強まりとあいまっていっそう切実なものとなり、登山にたいする国民の関心と欲求はかつてなく高まっている。

国民の求める登山はけっして同一のものではない。それぞれの意識や年齢、生活条件によって、多様な形態と内容の登山が求められている。その実現に力を尽くすことによってのみ登山の創造的発展もまた可能である。

3. 海外登山の普及

海外登山・トレッキングもまた活発に行われ、ヨーロッパはもとよりヒマラヤ、アラスカ、アンデスなど広範な地域に及んでいる。国内では経験することのできない自然条件下での登山、あるいは風土、言語、習慣などの異なった国々での生活経験は、登山者の人間的成長に大きな影響をもたらす。また登山を通じての親睦・交流の広がり、国際連帯の精神を育てるだろう。海外登山の活発化は歓迎すべきことであり、さらに発展させなければならない。

海外登山の経験と成果は全国的にも地域的にもかなり蓄積されている。だが、その普及は立ち遅れている。海外登山の普及を歓迎しない風潮や登山界の伝統的な閉鎖性がなお残されているからである。それを克服し広範な登山者と海外登山との結びつきを深めなければならない。国内での多様な登山の発展と海外登山を結合させることによって、登山はいっそう内容豊かなものとなるだろう。

確固とした世界平和は、海外登山発展の基礎である。諸国民との相互理解、友好をさらに深めることが強く求められている。

4. 遭難事故の防止

生命の尊厳はなにものにもかえることはできない。それにもかかわらず多くの生命が山で失われている。われわれもまた少くない仲間を失った。

厳しい自然のなかで行われる登山においてその安全性が確保されるためには、登山者の教育・訓練が不可欠の前提となる。山岳団体の多くはそのことを自覚しており、真剣に取り組んでいる。だが、その努力は必ずしも十分な成果をあげ得ていない。

また、注目しなければならないのは、広範な登山者が山岳会に組織されていないことである。その登山者の教育・訓練は、有力な山岳団体の善意の努力だけでは解決できない。国や自治体の積極的な取り組みが必要である。

だが国や自治体はその責任を回避して、登山規制を強化するなど消極的な対策に終始してきた。もとより登山における安全性は登山者の日常的な努力によって確保される。そのためにも、国や自治体によってすべての登山者に教育・訓練を受ける機会があたえられなければならない。また遭難救助のための人員、資材、資金などを保障する制度の確立は、国や自治体の責任である。

それぞれの山岳団体における教育・訓練の改善、救助体制の確立は、さしせまった課題である。現実に少くない遭難事故が起こっている以上、放置することができない

いからである。それぞれの山岳団体が独自に努力するばかりでなく、有力な山岳団体の相互協力が必要となっている。

遭難事故を考えていくうえで決して忘れてならないことは、現代社会の退廃的風潮の影響である。それは生命を軽視する傾向をつくりだしている。その傾向とたたかうことが重要な課題となっている。

5. 自然を守る

わが国の自然は、過去十数年の間にかつてなく大規模に破壊された。それは国民の生存そのものが憂慮されるほど深刻な事態をつくりだしている。

山岳自然の破壊もはなはだしく進んだ。国や自治体はそれを規制するどころか先導的役割さえ果たした。登山者をはじめ広範な人々がそれに反対し、少なくない成果をあげた。だが、山岳自然の大がかりな破壊をおしとどめることはできなかった。

「過疎対策」「観光開発」「水資源開発」などの美名をかかげて進められてきたこれまでの開発は、山村生活を深刻な危機におとしいれている。それらの開発が、山村の犠牲のうえに大資本の利潤増大を追求するものにほかならなかったからである。自然を守り育ててきたのは、そこに生活する勤労者である。生活に根ざす切実な要求と結びつかない開発は、よりよい結果を生まない。自然を守る運動もその立場を貫かねばならない。

「観光開発」で重視しなければならないのは、「すべての人に山を楽しむ権利がある」という主張で、ロープウェイや観光道路の建設が正当化されていることである。バスやロープウェイによる”観光登山”では風景を眺めることはできても健康を増進することはできないし、自然への愛着を育てることはできない。また、それは山岳自然の荒廃をもたらす誘因ともなっている。山岳自然の荒廃は登山の楽しみを奪うばかりでなく、登山そのものの荒廃と人間の荒廃を導く。

豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産である。これを守り育てていくことは登山者の重要な責務である。

われわれはこうした認識と立場に立って、登山の創造的発展のために運動を進めている。そしていま登山の新しい発展のため、心をひとつにして尽力しようと、広く登山を愛好する人々に呼びかけるものである。

日本勤労者山岳連盟
(1978年2月)

日本勤労者山岳連盟規約

第1章 総則

第1条 この連盟は、日本勤労者山岳連盟(略称「労山」)とよび、
事務所を〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24におく。

第2条 この連盟は、登山・ハイキングを健康で文化的な生活のひとつであり平和で民主
的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させる
ことを目的とする。

第3条 この連盟は、前条の目的を遂行するために次の活動をおこなう。

- 1 加盟団体相互の交流。
- 2 広範な登山愛好者の組織化。
- 3 国民の登山要求に応える活動。
- 4 登山の技術とモラルの向上。
- 5 登山事故の防止と救助・救済。
- 6 登山をする条件の改善。
- 7 山岳自然保護。
- 8 登山を通じての国際交流。
- 9 機関紙誌や書籍の発行。
- 10 諸団体との協力・共同。
- 11 その他、目的遂行に必要な活動。

第4条 この連盟は、この規約を承認する山岳会・クラブ（以下「加盟団体」）によって
構成される。

第2章 組織

第5条 この連盟の基礎組織は加盟団体である。加盟団体はこの連盟の活動に等しく参加
する権利と義務を有する。

第6条 加盟団体は連盟活動を推進するために、都道府県を単位に「都道府県勤労者山岳
連盟」（以下「地方連盟」）をつくり所属する。

- 2 地方連盟は、その活動の補助機関として「地区連盟」をつくることができる。地
区連盟の地域、名称、活動等については、当該地方連盟が定める。
- 3 地方連盟に関する規定は別に定める。

第7条 歴史的・地理的に関係の深い複数の地方連盟は、当該の地方連盟の活動に資する
ために、「地方協議会」をつくることができる。

- 2 地方協議会の名称・範囲は別に定める。

第3章 機関

第8条 この連盟に、次の機関をおく。

- 1 総会 2 評議会 3 理事会

第9条 総会は、この連盟の最高決議機関であり、原則として2年に1回理事会の決定により会長が招集する。ただし、理事会が必要と認めたとき、または3分の1以上の評議員からの要求があったときは、臨時に総会を招集しなければならない。

- 2 総会は、役員および地方連盟ごとに選出された代議員によって構成される。
- 3 総会は、代議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数を必要とする。委任状は議長宛で会議の多数意志にしたがうものとし、総会の成立要件に含める。
- 4 総会代議員は、地方連盟ごとの構成員（以下「会員」）の人数に応じて選出し、その基準は評議会で定める。

第10条 総会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟活動の総括と方針。
- 2 予算および決算。
- 3 連盟役員の選出。
- 4 規約にかかわる賞罰。
- 5 趣意書および規約の改廃。
- 6 その他、連盟の目的遂行に必要な事項。

第11条 評議会は、総会に次ぐ決議機関であり、2年に1回以上、理事会の決定により理事長が招集する。ただし、3分の1以上の評議員から要求があったときは、評議会を招集しなければならない。

- 2 評議会は、連盟役員および評議員によって構成される。
- 3 評議会は、評議員の過半数の出席で成立し、決議は出席者の過半数で成立する。委任状は議長宛で、出席者の多数意志にしたがうものとし、評議会の成立要件に含める。
- 4 出席できない評議員は、当該の地方連盟から代理人を出席させることができる。
- 5 評議員は、別に定める選出基準により、地方連盟ごとに選出し登録する。

第12条 評議会は、次の事項を審議決定する。

- 1 連盟の諸活動の具体化。
- 2 総会より委任された事項。
- 3 中間の予算および決算。
- 4 規約についての疑義の解釈。
- 5 規定、細則、定款の改廃。
- 6 専門委員会および特別委員会の設置、改廃。
- 7 補充役員の選出。

8 その他、連盟活動に必要な事項。

第13条 理事会は、連盟の方針にもとづき連盟業務を執行する。

2 理事会は、理事長が随時招集する。

3 理事会は、理事長、副理事長、事務局長、理事によって構成される。

4 理事会は、必要に応じて会長、副会長に出席を求めることができる。

5 理事会は、執行事項を評議会および総会に報告し、承認をうける。

第14条 理事会は、次の事項を執行する。

1 総会および評議会決定事項の具体化。

2 各種原案の企画作成。

3 所轄の事務連絡および報告。

4 各種集会および代表者会議の開催。

5 事務局・専門委員会の統括と運営。

6 事務局員・専門委員の選任。

7 専従職員の職務に関する事項。

8 緊急事項の処理。

9 その他、連盟の日常業務に必要な事項。

第15条 この連盟は、事務局および専門委員会をおく。事務局の任務および専門委員会の種類、名称、任務については別に定める。

2 専門委員会は、理事会の議を経て理事長が委託した専門委員で構成する。ただし、その責任者は理事会の構成員とする。

3 この連盟は、評議会が目的遂行のために必要と認めたときは、特別委員会をおくことができる。特別委員会の構成等は第2項に準じ、その活動内容は総会に報告する。

第4章 役員・職員

第16条 この連盟は、次の役員をおく。

1 会長(1名) 2 副会長(若干名) 3 理事長(1名) 4 副理事長(若干名)

5 事務局長(1名) 6 理事(若干名) 7 監事(2名)

第17条 役員は会員から選出する。役員選出に関する規定は、別に定める。

第18条 役員の任務は、次のとおりとする。

1 会長は、この連盟を代表する

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

3 理事長は、連盟業務の執行を統括する。

4 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代行する。

5 事務局長は、事務局を統括するとともに、連盟の会計業務を行う。

6 理事は、連盟業務を統括する。

- 7 監事は、連盟業務および会計を監査し、その結果を総会および評議会に報告する。
- 第19条 役員の任期は2年間とし、改選は総会でおこなう。ただし、再選は妨げない。
- 2 補欠役員の選出は評議会でおこなう。その任期は前任者の残任期間とする。
- 3 役員は、役員として知りえた個人情報および全国連盟が公開していない重要な情報を漏洩してはならない。
- 第20条 この連盟は、会長・副会長の任にあった者、および長年にわたりこの連盟の顧問・役員等の任にあって、連盟の充実・発展に著しく貢献した者を評議会の発議、総会の承認によって名誉会員にする。
- 2 この連盟は、評議会または総会の承認によって顧問を委嘱することができる。顧問は連盟の諮問にこたえる。
- 第21条 この連盟は、事務局に専従職員をおくことができる。
- 2 専従職員の任免は、理事長がおこない、理事会の承認を受ける。
- 第5章 加盟・脱退
- 第22条 山岳会・クラブは、所定の手続きにもとづき加盟費を添えて、地方連盟に申し込み、その執行機関の承認を得れば、この連盟の加盟団体となることができる。
- 第23条 加盟団体は、この連盟を自由に脱退することができる。ただし、所属の地方連盟に所定の手続きを取り、連盟費を精算しなければならない。
- 2 地方連盟は、所属の加盟団体が連盟費の納期を一定期間経過しても理由なく滞納している場合は、除籍することができる。
- 第24条 地方連盟は、加盟・脱退について速やかに事務局長に報告しなければならない。
- 2 特別な理由がある場合は、事務局長が加盟・脱退の事務処理を代行することができる。
- 第6章 財政
- 第25条 この連盟の経費は連盟費および行事・事業収入、寄付金等によってまかなう。
- 第26条 連盟費は、地方連盟ごとの加盟団体数と会員数によって算出し、その細目は総会において定める。加盟団体の加盟費および連盟費は、地方連盟が別に定める。
- 第27条 この連盟の会計年度は、1月1日より12月31日までとする。
- 2 この連盟は、一般会計の他に、必要によって特別会計を設けることができる。
- 3 この連盟の会計は複式簿記とし、処理については別に規定を定める。
- 第7章 賞 罰
- 第28条 この連盟は、評議会が必要と認めたときは、加盟団体および会員を総会で表彰することができる。
- 第29条 この連盟は、連盟の名誉と団結を著しく損なう行為があった場合は、理事会の

決定で役員の活動停止、評議会の決定で役員の罷免を、総会の決定で加盟団体の除籍をすることができる。ただし、これらの決議は出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第8章 付 則

第30条 この連盟のすべての会議は、会員に対して公開することを原則とする。

2 この連盟の会議運営の細則は、別に定める。

第31条 この規定に定められていない事項については、評議会が規約の趣旨にもとづいて処理することができる。

第32条 この連盟の英語名称は、JAPAN WORKERS' ALPINE FEDERATION（略称「J.W.A.F.」）とする。

第33条 この規約の目的遂行の改廃は、総会において出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

付則 この規約は 1963 年 7 月 7 日より実施する。

1988 年 2 月 7 日全面改定。

1990 年 2 月 12 日一部改定。

2000 年 2 月 20 日一部改定。

2020 年 2 月 16 日一部改定。

2022 年 2 月 20 日一部改定。

各部局および専門委員会に関する規定

第1条 この規定は、日本勤労者山岳連盟規約第15条第1項に基づき、この連盟の各部局、委員会の任務、特別委員会の名称、任務について定める。

第2条 この連盟に、理事及び登山技術などの知識を有する会員を構成員として次の部局をおく。

- ① 山行活動部 ② 遭難対策部 ③ 技術教育部 ④ 組織部
- ⑤ メディア局 ⑥ 事務局 ⑦ 渉外・環境部 ⑧ 財政部 ⑨ 国際部

第3条 この連盟の部局のもとに次の委員会をおき、任務を分掌する。

- ① ハイキング委員会 ② 海外委員会 ③ ホームページ委員会
- ④ 全国救助隊連絡交流会 ⑤ カリキュラム委員会 ⑥ 自然保護委員会
- ⑦ 青年・学生対策委員会 ⑧ 女性委員会 ⑨ 機関誌・紙編集委員会
- ⑩ 技術委員会 ⑪ 山筋ゴーゴー体操推進委員会

第4条 この連盟に次の特別委員会をおく。

- 1 労山基金運営委員会
- 2 一般財団法人山岳基金
- 3 中央登山学校
- 4 全国登山研究集会

第5条 事務局の任務は次のとおりとする。

- 1 日常業務の執行と各種文書、書類等の保管
- 2 地方連盟および加盟団体、役員、その他関係団体等の連絡
- 3 連盟財政の運用と管理・保管
- 4 広報活動および事業活動
- 5 青年・学生対策に関する事項
- 6 女性の登山に関する事項
- 7 他の委員会に属さない事項

第6条 メディア局の任務は次のとおりとする。

- 1 機関誌・紙の定期発行、普及と発展に関する事項
- 2 ホームページの管理と運営に関する事項
- 3 労山の情報を内外に複合的に発信、普及することに関する事項

第7条 組織部の任務は次のとおりとする。

- 1 加盟団体相互の交流に関する事項
- 2 広範な登山愛好者の組織化
- 3 地方連盟の組織運営に関する事項
- 4 山岳会・クラブの組織強化に関する事項

第8条 技術教育部の任務は次のとおりとする。

- 1 登山やハイキングの技術向上に関する事
- 2 登山の教育、研究、安全に関する事
- 3 中央登山学校の運営に関する事
- 4 技術委員会に関する事
- 5 カリキュラム委員会に関する事

第9条 遭難対策部の任務は次のとおりとする。

- 1 山岳遭難事故の実態や原因などを分析する事
- 2 山岳遭難事故の調査・研究および防止に関する事
- 3 救助・搬出技術の研究と普及に関する事項
- 4 全国救助隊連絡交流会に関する事

第10条 山行活動部の任務は次のとおりとする。

- 1 国内の登山活動の動向・傾向や実際の山行状況を調査・分析する事
- 2 ハイキング委員会に関する事
- 3 海外委員会に関する事
- 4 ネットワーク世話人会に関する事

第11条 渉外・環境部の任務は次のとおりとする。

- 1 政府・自治体への制度要求など登山条件の整備に関する事
- 2 山岳自然の保護に関する事
- 3 他団体との共同と交流、平和、民主主義などの課題に関する事

第12条 財政部の任務は次のとおりとする。

- 1 予算の編成、連盟財政の入金、出金の承認、月次報告書および決算書の作成

第13条 各部局、専門委員会、特別委員会の構成は、規約第15条第2項による。

第14条 各部局、専門委員会、特別委員会は、その活動内容を随時、理事会に文書で報告する。

第15条 各部局、特別委員会及び専門委員会の任期は総会後の第1回理事会から総会までとする。

第16条 この規定の改廃は、総会および評議会の3分の2以上の賛成を必要とする。

付 即 この規定は、1998年2月15日より実施する。

2002年2月17日 一部改定

2006年2月19日 一部改定

2016年2月21日 一部改定

2020年2月16日 一部改定

2022年2月20日 一部改定

めたものとする。

3. その他財産は、基本財産以外の財産とする。
4. 前項の財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない、処分するときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

第9条（剰余金）

この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

第10条（残余財産の分配）

この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第11条（評議員）

この法人に評議員3名以上5名以内を置く。

2. 評議員の選任と解任は、日本勤労者山岳連盟総会において行う。
3. 評議員の候補者は日本勤労者山岳連盟の役員選考委員会で推薦する。
4. 評議員の任期は選任後、2年間とする。再任を妨げない。
5. 評議員は評議員会を構成し、第12条に規定する事項の決議に参画する。

第12条（評議員会）

評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2. 評議員会は理事及び監事の選任と解任を行う。
3. 評議員会は各事業年度の事業報告及び決算の承認を行う。
4. 評議員会は各事業年度の事業計画及び予算の承認を行う。
5. 評議員会は定款の変更（この法人の目的並びに評議員の選任及び解任の方法に関する定めを含む）を行う。
6. 評議員会は、本条2項から5項に定める事項の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する事項及びこの定款に定める事項を行う。
7. 評議員会は毎年の事業年度終了後2か月以内に開催する。
8. 評議員会の決議は、議決に加わることができる評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

第13条（役員）

この法人に、3名以上5名以内の理事と2名以内の監事を置く。

2. 理事のうち、1名を代表理事とする。
3. 理事及び監事は、評議員会の決議により選任する。
4. 理事及び監事の任期は選任後、2年間とする。再任を妨げない。
5. 各理事について、理事とその理事の親族等である理事の合計数が、理事の総数の

3分の1以下であること。

第14条（理事会）

この法人に、理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。
3. 理事会は、評議員会の開催を行う。
4. 代表理事は、理事会の決議を経て事業計画・予算と事業報告・決算を作成し、作成された事業計画・予算について評議委員会の承認を受けるものとする。
5. 理事会は、各事業年度に1回以上開催する。
6. 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数を__
もって行う。

第15条（監事）

監事は、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

第16条（設立時の評議員・役員）

この法人の設立時評議員と役員は次の通りとする。

評議員 浦添 嘉徳、久保 典子、高橋 友也

理事 臼井 邦徳（設立時代表理事）、川嶋 高志、今野 善伸

監事 石川 友好、荒川 俊之

第17条（最初の事業年度）

当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から2022年12月31日までとする。

第18条（定款に定めのない事項）

この定款に定めのない事項は、すべて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律その他法令の定めるところによる。

以上、一般財団法人山岳基金設立のため、この定款を作成し、設立者が次に記名押印する。

2022年2月24日

設立者 臼井 邦徳

第36期 全国連盟 理事・監事

役 職	氏 名	年 齢	地方連盟	所 属 団 体
理 事 長	川嶋 高志		東 京	神楽坂アルパインクラブ
副理事長 (4)	石川 昌		千 葉	船橋勤労者山の会
	臼井 邦徳		東 京	溪嶺会
	久保 典子		埼 玉	新座山の会
	今野 善伸		栃 木	野木山想会
事務局長	小池 藍		東 京	ポレポレ倶楽部山の子
理 事 (24) 欠員 1 名	赤間 弘記		宮 城	朋友会
	浅瀬 和人		石 川	めっこ山岳会
	阿部 哲也		香 川	さぬき山歩会
	安東 仁志		道 央	札幌中央勤労者山岳会
	石川 友好		東 京	大田ハイキングクラブ
	岩田 新一		神奈川	藤沢山の会
	宇田川 道恵		埼 玉	大宮勤労者山岳会
	大杖 哲司		兵 庫	メラピーク KOBE
	大和田 英子		東 京	神楽坂アルパインクラブ
	加治 郷子		岡 山	クラブ MONTATA
	三瓶 健		神奈川	山岳素行童人メーグリ家
	清野 嘉樹		青 森	弘前勤労者山岳会
	田上 千俊		東 京	八王子おおるり山の会
	竹本 幸造		静 岡	清水勤労者山岳会 CHC
	野々脇 千沙		兵 庫	神戸中央山の会
	平尾 繁和		京 都	田辺山友会
	三代 一宏		島 根	松江アルペンクラブ
	武笠 真次		埼 玉	わらび山の会
	八木澤 昌通		栃 木	宇都宮ハイキングクラブ
	山本 尚徳		千 葉	かがりび山の会
	山本 裕之		道 央	札幌北稜クラブ
	吉川 幸一		愛 知	名古屋山岳同志会
	吉永 直樹		福 岡	山岳チーム 風はるか
監 事 (2)	田村 廣史		東 京	ポレポレ倶楽部山の子
	渡辺 三男		神奈川	相模アルパインクラブ

日本勤労者山岳連盟 第36期 正副会長

役 職	氏 名	年 齢	地方連盟	所 属 団 体
会 長	浦添 嘉徳		東 京	石神井山の会
副会長	今村 正一		鹿児島	鹿児島勤労者山岳会
	渡邊 健治		岩 手	盛岡山友会

第36期 労山基金運営委員

		氏 名	年 齢	地方連盟	所 属 団 体
1	委員長	臼井 邦徳		東 京	溪嶺会
2	委 員	伊藤 正勝		埼 玉	わらび山の会
3	〃	大澤 辰雄		埼 玉	埜歩歩富士見山の会
4	〃	今野 善伸		栃 木	野木山想会
5	〃	陶山 正		東 京	山の会「かたつむり」
6	〃	武笠 真次		埼 玉	わらび山の会
7					
8					
9					

一般財団法人山岳基金役員

		氏 名	年 齢	地方連盟	所 属 団 体
1	評議員	浦添 嘉徳		東 京	石神井山の会
2	〃	大和田 英子		東 京	神楽坂アルパインクラブ
3	〃	久保 典子		埼 玉	新座山の会
4	〃	高橋 友也		東 京	杉並勤労者山岳会
5	理 事	石川 昌		千 葉	船橋勤労者山の会
6	〃	臼井 邦徳		東 京	溪嶺会
7	〃	川嶋 高志		東 京	神楽坂アルパインクラブ
8	〃	今野 善伸		栃 木	野木山想会
9	監 事	石川 友好		東 京	大田ハイキングクラブ
10	〃	荒川 俊之			税制経営研究所代表社員



〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟
電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
E-mail jwaf@jwaf.jp ホームページ www.jwaf.jp



JWAF